



パソコン各部の名前や仕様一覧も収録!機能や設定など、もっと知りたいあなたに!オプション周辺機器の取り付けに挑戦!



- ・アプリケーションを追加 / 削除する
- ・サービス&サポート窓口紹介

巻末に簡単な操作方法が載っています。

はじめに

このマニュアルは、パソコンの機能全般についての取扱 説明書です。各機能について詳しく知りたいときや周辺機 器を接続したいとき、パソコンの設定を変更したいときな ど、必要に応じて活用してください。

2001年7月 初版

記号

パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

⚠警告	注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可 能性が想定されることを示します。
⚠注意	注意事項を守っていただけない場合、人が損害を負う可能性が想定 されること、または物的損害のみの発生が想定されることを示します。
感電注意	注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または 事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定され ることを示しています。このほかに、毒物注意、破裂注意、高温注意 についても、それぞれ記載しています。

その他の記号

チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。 よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの 消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能 性があります。
★×	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
6 参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

モデル

モデルの呼びかた

ワイヤレスLANモデル	ワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルです。
LANカード添付モデル	LANカードが添付されているモデルです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルです。

対象モデル一覧

型名	表記の区分
LC900J/84DB	Bluetooth™モデル / ワイヤレスLANモデル / LANカード添付モデル
LC900J/84DH	ワイヤレスLANモデル
LC800J/84DH LC800J/84DF	LAN内蔵モデル

LaVie Gシリーズについて

LaVie Gシリーズの各モデルについては、添付の『LaVie Gシリーズをご購入されたお客様 へ」をご覧ください。 操作方法

[]	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを示します。 【 】+【 】はキーを同時に押すことを表しています。
	■は、Enterキーを表しています。
	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。 [例]「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「メモ帳」 「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューか ら「プログラム」を選択し、横に現れるサプメニューから「アク セサリ」「メモ帳」を順に選択することを示します。

コントロールパネルの開きかた

コントロールパネルは次のどちらかの方法で開くことができます。

・「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」

・「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、表示された「マイコンピュータ」画面の「コントロールパネル」アイコンをダブルクリックする

「コントロールパネル」の画面に操作したいアイコンが表示されていない場合は、「すべての コントロールパネルのオプションを表示する。 たクリックしてアイコンを表示させてください。

「サポートセンタ」の開きかた

サポートセンタは次のいずれかの方法で開くことができます。

・本体の【ヘルプ】ボタンを押す

・デスクトップのアクティブメニューNXで「サポートセンタ」をクリックする

・「スタート」ボタン 「NEC電子マニュアル」「サポートセンタ」

「添付ソフトの使い方」

次の方法で「添付ソフトの使い方」を開き、各アプリケーションの使い方を参照することがで きます。

「スタート」ボタン 「NEC電子マニュアル」「添付ソフトの使い方」

記載内容

・イラストや画面は、モデルによって異なることがあります。

・本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。

ソフトウェアなどの正式名称

Windows、 Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 2000 Professional	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
インターネット エクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft⊛ Internet Explorer 5.5
Outlook Express	Microsoft® Outlook® Express 5.5
MS-IME2000	Microsoft® IME 2000
MS-IME2002	Microsoft® IME 2002
DirectCD	DirectCD™ 3
Easy CD Creator	Easy CD Creator™ 4 Standard
スナップショット	スナップショット Ver2.1
VideoStudio	Ulead® VideoStudio® 5 SE Basic
DVDit!	DVDit!™ LE
it-r	i-mode、アイモード



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラ ムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースターブログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進の ための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及 の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対 象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、そ れぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく端末機器の設計についての認証を受けています。申請回線と認証番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

対象機種	認証番号電話回線	
LC900J		
LC800J		
LG10JS	AU1-0482JP	
LG80JS		

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置 です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信 機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱い をしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの 瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、 不都合が生じることがあります。

レーザ安全基準について

このパソコンには、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-R/RW with DVD-ROMドライブが内蔵されています。

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気 づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセン ターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらず いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備 や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害な どが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows® Meは本機でのみご使用ください。 また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(詳細ばソ フトウェアのご使用条件」および、ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の 侵害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。 Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated アドビシステムズ社)の商標です。

携快電話はソースネクスト株式会社の登録商標です。

Ulead、VideoStudioは、Ulead Systems, Inc.の登録商標です。

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

SpeedStepは、Intel Corporationの商標です。

Dolby、ドルビー、Pro logic及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

AdaptecおよびAdaptec社のロゴは、Adaptec, Inc.の登録商標です。

Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec, Inc.の商標です。

cdmaOneは、CDGの登録商標です。

Sonic、Sonic Solutions、DVDit!はSonic Solutionsの商標です。

「メモリースティック」、「マジックゲート」、「マジックゲート メモリースティック」はソニー株式会社の商標です。

「i-mode / アイモード」、「DoPa」は(株)NTTドコモの登録商標です。

「BIGLOBE」SmartGallery」BusBrain」イルミネーション・エンプレム」は、日本電気株式会社の商標 または登録商標です。

Bluetooth™はその商標権者が所有しており、NECはライセンスに基づき使用しております。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2001 日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出に関する注意事項 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が 必要となる場合があります。 必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。 輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product(including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product(including carrying it as personal baggage)may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law.Export without necessary permit is punishable under the said law.Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.



このパソコンの基本機能.....1 表示ランプの名称と役割 5 ワンタッチスタートボタンを使う 9 ワンタッチスタートボタンの設定を変更する 11 キーの名称 13 日本語入力を使う......18 NX パッドの使いかた..... 19 フロッピーディスクドライブの取り付けかたと取り外しかた 32 このパソコンで使用できるフロッピーディスクの種類 33 CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使用するときの注意 39

ディスクのセットのしかたと取り出しかた40
音楽CDやDVD VIDEOディスクを再生する4:
Easy CD Creatorを使う44
DirectCDを使う40
液晶ディスプレイ
画面表示を調整する50
表示できる解像度と表示色 5
バーチャルスクリーン53
バッテリ
バッテリのみで使う54
バッテリを充電する54
バッテリの残量を確認する50
バッテリリフレッシュ 58
バッテリパックを交換する 55
省電力機能 63
省電力機能とは6
省電力機能を使用するときの注意 64
スタンバイ状態(サスペンド)6
休止状態(ハイバネーション)68
Intel®SpeedStep™テクノロジ
セキュリティ機能
このパソコンのセキュリティ機能
パスワードを設定してパソコンの使用者を制限する 73
その他のセキュリティ機能を使う76
サウンド機能
音量を調節するには 78
音量調節つまみを使う 78
ボリュームコントロールを使う78
ビープ音を設定する 81
光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力機能について8
音楽CDのデジタル出力設定 82
FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)83
FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)をオンにする8
FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)をオフにする84
周波数を変えるには 85

Ρ	А	R	1
	4		

通信機能	8 7
モデム	88
内蔵のモデムを利用する	88
インターネットへの通信環境を切り替える	
携帯電話/PHS接続機能	
携帯電話またはPHSと接続する	92
携帯電話 / PHS接続機能を使用するときの注意	94
接続先を設定する	
ダイヤル設定のしかた	94
いろいろなデータ通信を行う	
携帯電話連携機能	100
携帯電話連携機能とは	100
携帯電話に登録してある情報を編集する	100
iモード機能を備えている携帯電話と連携して使う	101
LAN(ローカルエリアネットワーク)	104
LANへの接続	104
運用上の注意	105
ユニバーサル管理アドレス(MACアドレス)	107
CATVでインターネットを利用する	107
ワイヤレスLAN	108
Bluetooth™機能	109
ADSLについて	
ADSLの特長	110
ADSLを利用するにあたって	

PART 3

マルチメディア機能 113
音楽の再生 / 編集機能 114
音楽を再生するには 114
CDプレイモードで音楽CDを再生する
Windows Meを起動して音楽CDや音楽データを再生する 117
編集してオリジナルMDを作る 117
編集してオリジナル音楽CDを作る 119
映像の再生/編集機能 120
映像を再生する120
映像を取り込む、ダビングする

映像を編集する124	ŀ
画像ファイルや映像ファイルを活用する	
DVD形式のビデオデータ作成機能 132	
DVD形式のビデオデータの作成のしかた	2
DVDit!で編集できるデータにする 134	ļ
DVDit!で仕上げる136	i
DVD形式のビデオデータを保存する)
作成したDVD形式のビデオデータを再生する 141	
マルチメディアファイルの管理機能144	•
SmartGalleryとは 144	ļ
SmartGalleryを起動する 144	ļ
SmartGalleryについて145	,
基本的な使いかた148	;
SmartGalleryを活用する 152	!
周辺機器を使う163	,
このパソコンに接続できる周辺機器164	
本体前面 / 左側面 164	,
本体背面 / 右側面 165	j
本体底面 166	;
周辺機器を接続する前に 167	,
周辺機器を利用する167	,
周辺機器を利用するときの注意167	,
周辺機器を使えるようにセットアップする)
プリンタ	
このパソコンで使用できるプリンタ	
プリンタを使う準備 171	
プリンタを設定する 172	!
マウス176	i
別売のマウスの設定方法 176	ì
NXパッドを使用する設定に戻す 178	;
他社製のマウスドライバを使用するときの注意 179)
外部ディスプレイを使う 180)
CRTディスプレイを使う 180)
プロジェクタを使う 181	

<u>PART</u>



テレビを使う	182
表示するディスプレイを切り替える	182
複数のディスプレイに同時表示する	183
接続した外部ディスプレイを設定する	185
「メモリースティック」や「SDメモリーカード」を使う	186
メディア用ポケットのアダプタについて	186
インナーシートホルダーについて(LC800J/84DFの場合)	186
PCカード	189
PCカードとPCカードスロットを使う	189
PCカードを使用するときの注意	190
PCカードのセットのしかたと取り出しかた	190
ኦቺሀ	194
メモリを増設する(LC800J/84DFのみ)	194
増設RAMボードを取り扱うときの注意	194
増設RAMボードの取り付けかたと取り外しかた	195
IEEE1394コネクタ	201
IEEE1394とは	201
IEEE1394対応機器を接続する	201
IEEE1394コネクタでファイルを転送する	203
USB対応機器	204
USBとは	204
USBコネクタに接続する	204
このパソコンのUSBコネクタ	205
USBポートバーを使用してさまざまな周辺機器を使う	209
ヘッドホン / オーディオ / 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子 .	210

Ρ	А	R	Τ
	5)	

BIOSセットアップメニュー 2	11
BIOS セットアップメニュー	212
BIOSセットアップメニューを使ってできること	212
BIOSセットアップメニューを使う	212
BIOSセットアップメニューを終了する	213
購入時の値に戻す	214
設定項目一覧	214

<u>PART</u>付録

큜		219
	パソコンのお手入れ	. 220
	用意するもの	. 220
	パソコンのお手入れをはじめる前に	. 220
	お手入れのしかた	. 221
	Windows 2000 Professionalを使う	. 222
	Windows 2000 Professionalを使うための手順	. 222
	機能一覧	. 223
	本体	. 223
	LaVie Gシリーズ	. 226
	内蔵FAXモデム	. 229
	携帯電話/PHS接続機能	. 231
	内蔵LAN機能	. 232
	FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)	. 232
	割り込みレベルとDMAチャネル	. 233
	割り込みレベルとDMAチャネルについて	. 233
	補足情報	. 235
	サウンド機能について	. 235

索引	1
----	---



このパソコンの基本機能

このパソコンの各部の名称とおもな機能について 説明しています。

本体の各部の名称

本体前面



本体背面



本体底面



表示ランプ

表示ランプの名称と役割



電源ランプ(1)

ランフ	f	状態
43	点灯	電源が入っている
命來	点滅	スタンバイ状態
#4	点灯	バッテリ容量が少ない
更巴	点滅	スタンバイ状態でバッテリ容量が少ない
±1.5.5%	点灯	バッテリ容量が残りわずか
オレンシ	点滅	スタンバイ状態でバッテリ容量が残りわずか
消灯		電源が切れている、または休止状態

バッテリ充電ランプ(1)

ランス	ື່	状態
+1 \	点灯	バッテリ充電中
オレノシ	点滅	バッテリのエラー
消灯		ACアダプタが接続されていない、または充電完了

: バッテリを取り付けなおしてもエラーが出るときは、バッテリリフレッシュを行って ください(p.58)

メール着信ランプ(2)

ランプ	状態
緑点灯	メール着信あり
消灯	メール着信なし

ワイヤレスランプ(•)

ランプ	状態
緑点灯	FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)/ワイヤレスLAN/Bluetooth [™] 機能 が使用可能
消灯	FMトランスミッダ(ワイヤレスオーディオ)/ワイヤレスLAN/Bluetooth [™] 機能 が使用不可

CD/DVDアクセスランプ(@)

ランプ	状態
緑点灯	CD-ROMやDVD-ROMなどのディスクにアクセス中
消灯	CD-ROMやDVD-ROMなどのディスクにアクセスしていない

ハードディスクアクセスランプ(日)

ランプ	状態
緑点灯	ハードディスクにアクセス中
消灯	ハードディスクにアクセスしていない

キャップスロックキーランプ() ()

ランプ	状態
緑点灯	【Caps Lock】がロックされている(英字を入力すると大文字になります)
消灯	【Caps Lock】がロックされていない(英字を入力すると小文字になります)

ランプ	状態	
緑点灯	【Scr Lock】がロックされている	
消灯	【Scr Lock】がロックされていない	

ニューメリックロックキーランプ(1)

ランプ	状態
緑点灯	【Num Lock】がロックされている (キーを押すとキー前面の文字が入力されます)
消灯	【Num Lock】がロックされていない (キーを押すとキー上面の文字が入力されます)

イルミネーション・エンブレム™

イルミネーション・エンブレム™は、液晶ディスプレイに搭載されているランプで す。イルミネーション・エンプレム™には、誰からのメールが到着したのか、どこの ホームページが更新されたのかをランプの色で知らせる機能があります。また、イ ンテリア感覚で常時ランプを点灯させておくこともできます。



イルミネーション・エンブレム™の設定をする

イルミネーション・エンブレム™は、7種類(赤、緑、黄、青、紫、水、白)の色に点灯 させることができます。また点灯の方法として次のような設定ができます。

- ・1色を点灯させる
- ・定期的に色を変更しながら点灯させる
- Windows起動時に点灯させる

1色を点灯させる

- 1「スタート」ボタン 「プログラム」「イルミネーション・エンブレム(TM)」 「イルミネーション・エンブレム(TM)の設定」をクリックする 「イルミネーション・エンブレム(TM)の設定」が起動します。
- 2 点灯のON/OFFボタン (風)がグレー表示(オフ状態)になっている場合は、 クリックして点灯をオンにする
- 3「定期的に色を変更しながら点灯する」が

 」が

 □になっている場合は、クリックして

 □にする
- 4 点灯させたい色のボタンをクリックする
- 5 OK ボタンをクリックする

定期的に色を変更しながら点灯させる

「定期的に色を変更しながら点灯する を**─**に設定してある場合は、指定した点灯 間隔(1~60秒)ごとに色を変更しながら点灯させることができます。

- 1「スタート」ボタン 「プログラム」「イルミネーション・エンブレム(TM)」 「イルミネーション・エンブレム(TM)の設定」をクリックする 「イルミネーション・エンブレム(TM)の設定」が起動します。
- 2 点灯のON/OFFボタン (風)がグレー表示(オフ状態)になっている場合は、 クリックして点灯をオンにする
- 3「定期的に色を変更しながら点灯する」が□になっている場合は、クリックして□にする
- 4 色を変更する時間を設定する 「点灯間隔」のつまみを左右にドラッグして設定します。

★モ 右へ動かすと点灯間隔が長くなり、左へ動かすと点灯間隔が短くなります。 設定は、最小1秒、最大60秒間隔で1秒ごとに設定できます。

5「OK」ボタンをクリックする

Windows起動時に点灯させる

- 【「スタート」ボタン 「プログラム」「イルミネーション・エンブレム(TM)」 「イルミネーション・エンブレム(TM)の設定」をクリックする 「イルミネーション・エンブレム(TM)の設定」が起動します。
- 2 点灯のON/OFFボタン (風)がグレー表示(オフ状態)になっている場合は、 クリックして点灯をオンにする
- 3「コンピュータ起動時に点灯する」が□になっている場合は、クリックして▼ にする
- 4「OK」ボタンをクリックする

イルミネーション・エンブレム™を使用するときの注意

- ・イルミネーション・エンブレム™は、電源が入っている状態のときに機能します。
 スタンバイ状態または休止状態では機能しません。
- ・自動メール受信ユーティリティを使用してメールの到着確認やホームページの 更新チェックを行っている場合は、自動メール受信ユーティリティの設定が優先 となるため、「イルミネーション・エンブレム(TM)の設定」で行った設定どおりに イルミネーション・エンプレム™を点灯させることはできません。



ワンタッチスタートボタンを使う

このパソコンには次のワンタッチスタートボタンがあります。 ワンタッチスタートボタンは、機能をすばやく実行するためのボタンです。 【インターネット】ボタンと【メール】ボタンは、ボタンの機能をカスタマイズすることもできます(p.11)



セーフモードなど、Windows Meのキーボードドライバが動作しない状態では、ワ
ンタッチスタートボタンの機能は使えません。

【インターネット】ボタン

電源が入っている場合

パソコンの電源が入っている状態で【インターネット】ボタンを押すと、インター ネットへの接続がはじまります。購入時の状態では、「インターネット無料体験」が 起動するように設定されています。設定を変更すると「Internet Explorer」などの インターネットブラウザを起動することができます。

🗋 参照

【インターネット】ボタンの設定 「【インターネット】ボタン /【メール】ボタンの設定をする(p.11)

電源が入っていない場合 / スタンバイ状態の場合 / 休止状態の場合

パソコンの電源が入っていないとき、またはスタンバイ状態や休止状態で、【イン ターネット】ボタンを押すと、電源が入り、インターネットの接続が始まります。購入 時の状態では、「インターネット無料体験」が起動するように設定されています。設 定を変更すると、「Internet Explorer」などのインターネットブラウザを起動するこ とができます。

6 参照

【インターネット】ボタンの設定 「【インターネット】ボタン /【メール】ボタンの設定を する(p.11)

【メール】ボタン

電源が入っている場合

パソコンの電源が入っている状態で【メール】ボタンを押すと、メールソフトが起動します。購入時の状態では、「メールボタン利用のご案内」が表示されます。設定を変更すると、「Outlook Express」などのメールソフトを起動することができます。

6 参照

【メール】ボタンの設定 「【インターネット】ボタン /【メール】ボタンの設定をする」 (p.11)

電源が入っていない場合 / スタンバイ状態の場合 / 休止状態の場合

パソコンの電源が入っていないとき、またはスタンバイ状態や休止状態で、【メール】ボタンを押すと、電源が入り、メールソフトが起動します。購入時の状態では、 「メールボタン利用のご案内」が表示されます。設定を変更すると、「Outlook Express」などのメールソフトを起動することができます。

参照

【メール】ボタンの設定 「【インターネット】ボタン /【メール】ボタンの設定をする」 (p.11)

【ヘルプ】ボタン

パソコンの電源が入っているときに【ヘルプ】ボタンを押すと、「サポートセンタ」 が起動します。 電源が入っていないときやスタンバイ状態、休止状態になっているときには、使う ことはできません。 【FMトランスミッタ】ボタン

パソコンの電源が入っている状態で【Fn】+【F2】を押し【FMトランスミッタ】ボタンを押すと、FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)機能を使うことができます。 電源が入っていないときやスタンバイ状態、休止状態になっているときには、使う ことはできません。

● 参照 FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)機能について このPARTの「FMトランス ミッタ(ワイヤレスオーディオ)(p.83)

ワンタッチスタートボタンの設定を変更する

【インターネット】ボタン / 【メール】ボタンの設定をする

【インターネット】ボタン / 【メール】ボタンの設定は、「ワンタッチスタートボタンの 設定 を使って行います。

「ワンタッチスタートボタンの設定」を起動する

1 「スタート」ボタン 「プログラム」「ワンタッチスタートボタンの設定」 「ワンタッチスタートボタンの設定」をクリックする 「ワンタッチスタートボタンの設定」画面が表示されます。

第ワンタッチスタートボタンの設	1			×
ポタン設定	オンスクリーン設定			
設定名(N)			初期驗定	に戻す(0)
記載加 ボタン設定(B)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			
ボタン 1	ボタン 2			
単独	単独			
x=n	128-701			
ウィザード(型)				
	OK	キャンセル	渔用	~かせ(思)

チェック

ショートカット(拡張子が. Inkのファイル)で、プロパティの「ショートカット」タブの「リンク先」に何も表示されていないファイルは、ワンタッチスタートボタン に登録してもショートカットが表示されません。

登録後正常に実行されない場合は、そのショートカットを右クリックし、プロパ ティの内容を確認してください。

✓ メモ インジケータ領域、タスクトレイ)にある をダブルクリックして起動することもできます。



ワンタッチスタートボタンの設定 「添付ソフトの使い方」-「ワンタッチスタートボ タンの設定」または「スタート」ボタン 「プログラム」「ワンタッチスタートボタ ンの設定」、「ワンタッチスタートボタンの設定 ヘルプ」

ワンタッチスタートボタンの有効 / 無効を切り替える 次の操作でワンタッチスタートボタンの有効 / 無効を切り替えることができます。

- 1「スタート」ボタン「プログラム」、「ワンタッチスタートボタンの設定」で、 「ワンタッチスタートボタンを無効にする」または「ワンタッチスタートボタンを有効にする」をクリックする ワンタッチスタートボタンが無効の状態の場合は、「ワンタッチスタートボタンを有効 にする」が表示され、有効の状態の場合は、「ワンタッチスタートボタンを無効にする」が表示されています。
- 2 ワンタッチスタートボタンを有効または無効にするメッセージが表示された ら「はい」ボタンをクリックする
- 3 再起動のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする Windowsが再起動します。

再起動後、ワンタッチスタートボタンの有効 / 無効が切り替わります。

チェック

- ・ワンタッチスタートボタンが無効に設定されているときにワンタッチスタートボタンを操作すると、ボタンの設定と異なる機能が働くことがあります。これはWindows Meの標準的な動作です。
- ・ワンタッチスタートボタンが無効に設定されている場合は、「ワンタッチスタート ボタンの設定」で登録したボタン設定、オンスクリーン表示や、CD/DVDプレー ヤボタンによるJet-Audio Playerの制御は無効になります。
- ・ワンタッチスタートボタンを無効に設定すると、メモリリソースの消費を軽減する ことができます。

このパソコンの基本機能

キーボード

キーの名称



- ①【Esc】: エスケープキー
- ②【F1】~【F12】: ファンクションキー
- ③【Ins】: インサートキー
- ④【Del】: デリートキー
- ⑤【Pause】: ポーズキー
- ⑥【Num Lock】: ニューメリックロックキー
- ⑦【Back Space】: バックスペースキー
- ⑧【Enter】: エンターキー(リターンキー)
- ⑨【Home】: ホームキー
- ①【PgUp】: ページアップキー
- ①【PgDn】: ページダウンキー
- 12【Shift】: シフトキー
- 13【 】 】 】 】: カーソル移動キー

- (A) 【Ctrl】: コントロールキー
- 15【 🗟 】: アプリケーションキー
- 16【Alt】:オルトキー
- ①【カタカナ ひらがな】: かなキー
- 18【変換】: 変換キー
- 19 スペースキー
- 20【無変換】: 無変換キー
- ②【 田 : Windows+-
 - 22【Fn】: エフエヌキー
 - 23 【Caps Lock】: キャップスロックキー
 - 24 【Tab】: タブキー
 - ⑧【半角/全角】:半角/全角キー

キーの使いかた

特殊なキーを使う

キー操作	説明			
【Num Lock】	ー度押すとニューメリックロックキーランプ(①)が点灯し、 キー前面に青で表示されている数字や記号が入力できるようになります。もう一度押すとランプは消灯し、キー上面の文 字が入力できるようになります。			
[Shift]+[Caps Lock]	ー度押すとキャップスロックキーランプ(⑥) が点灯し、アル ファベットを入力すると大文字が入力されます。もう一度押す とランプは消灯し、アルファベットを入力すると小文字が入力 されます。			
【Alt】+【半角/全角】 または 【半角/全角】	押すごとに、日本語入力システムのオン / オフが切り替わり ます。			
【Alt】+ 【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すとか な入力モードになり、キー上面のかな文字で日本語を入力で きるようになります。もう一度押すとローマ字入力モードにな り、キー上面のアルファベットの組み合わせで日本語を入力 できるようになります。			
【Caps Lock】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すと英数字を入力できるようになります。			
【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっていて英数字が入力され るモードになっているとき、一度押すとひらがなやカタカナを 入力できるようになります。			
【Fn】	他のキーと組み合わせて機能を実行します(p.15)。			
[]	右クリックするのと同じ機能があります。			
	「スタート」ボタンをクリックするのと同じ機能があります。			
【 🗃]+ [R]	「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。			
(🗃)+ (M)	現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化します。			
【Shift】+【 🗃 】+【 M 】	【 🗃 】 + 【 M 】でアイコン化したウィンドウを元に戻します。			
【 🗃]+【F1]	Windowsのヘルプを表示します。			
【 🗃]+【F]	ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示します。			
【Ctrl】+【 🖽 】+【F】	コンピュータを検索するウィンドウを表示します。			
【 🗄]+【Tab】	タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替えます。			

ホットキー機能を使う

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、パソコンの設定をキー操作で簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。

組み合わせが可能なキーとその機能のアイコンは、【Fn】と同じ色(青)でキー上面に印刷されているものもあります。

キー操作	機能	説明
[Fn]+[F2]	ワイヤレス機能のオン / オフ(🔹)	FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディ オ)/ワイヤレスLAN/Bluetooth [™] 機 能を使用する/使用しないを切り替え ます。
[Fn]+[F3]	ディスプレイの切り替え (_//回)	別売のCRTディスプレイが接続されて いるとき、キーを押すごとに、「液晶ディ スプレイとCRTの同時表示」「テレ ビ」「液晶ディスプレイ」「CRT」の 順に切り替わります(p.182)。
【Fn】+【F5】	画面の伸縮	低解像度時に、ディスプレイの画面を 拡大表示する/しないを切り替えます。
【Fn】+【F6】	ビープ音のオン / オフ (གྱ)/གྱ)	ビープ音のオン / オフを設定します(p.81)。
【Fn】+【F8】	輝度を上げる (▲〇)	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの 輝度が増加します(8段階)(p.50)。
【Fn】+【F9】	輝度を下げる (▼☆)	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの 輝度が低下します(8段階)(p.50)。
【Fn】+【F12】	スクロールロック	【Scr Lock】の役割
【Fn】+【Ins】	プリントスクリーン	【Prt Scr】の役割
【Fn】+【Del】	システムリクエスト	【Sys Rq】の役割
【Fn】+【 🖽 】	右Windows	右【日】の役割
[Fn]+[Pause]	Break	【Break】の役割
【Fn】+【Home】	End	【End】の役割

:テレビが接続されているときのみ切り替わります。

✓ メモ 【Fn】+【F3】~【F12】で設定した内容は、電源を切ったり再起動したりすると解 除されます(【Fn】+【F8】、【F9】を除く)。 1 「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする 「キーボードのプロパティ」画面が表示されます。

+-π−F0/D/5γ ? ×
速度 言語
文字の入力②
表示までの)将5時間(D) 長く
AL 表示の間隔®: 選 速
このボックス内でキーを押し続けて、文字の入力をテストしてください①
カーソルの点滅速度(目)
I #
OK キャンセル 通用(<u>G</u>)

「キーボードのプロパティ」では、ウィンドウ左上の「速度」「言語」の各タブを選ぶと、次のような設定を行うことができます。

- ・文字入力時のくりかえし入力のタイミング調節
- ・カーソルの点滅速度の調節
- ・日本語入力システムの選択
- ・レイアウトの設定

「速度」タブでの設定

表示までの待ち時間

一つのキーを押し続けたときに、入力のくりかえしがはじまるまでの時間を調節します。

表示の間隔

一つのキーを押し続けたときに、文字の入力がくりかえされる間隔を調節します。

カーソルの点滅速度

カーソルの点滅間隔を調節します。

「言語」タブでの設定

追加

「追加」ボタンをクリックして「入力言語の追加」または「言語の追加」画面を表示 させ、追加したい言語を選びます。 プロパティ

ー覧から日本語入力システムを選んで、「プロパティ」ボタンをクリックすると、環 境設定の画面が表示されます。「ローマ字 / かな入力」、「入力モード / 方式」、「句 読点の種類」などを設定できます。

削除

削除したい言語を一覧から選んで、「削除」ボタンをクリックすると、その言語が一 覧から削除されます。

キーの設定

入力言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選ぶことができます。

タスクバー上に状態を表示(MS-IME2000の場合)

「タスクバー上に状態を表示」の上をクリックして」にすると、日本語や日本語入 カシステムを簡単に切り替えることができるメニューをタスクバーに表示できま す。

言語バーをデスクトップ上に表示する(MS-IME2002の場合)

「基本設定」欄の「言語バー」ボタンをクリックして「言語バーをデスクトップ上に 表示する」の「をクリックして」「にすると、日本語や日本語入力システムを簡単 に切り替えることができるメニューをデスクトップに表示できます。

別売のキーボードやテンキーボードを使うには

別売のテンキーボードやUSB対応のキーボードを接続して使用することができます。 USB対応のキーボードを使う場合は、このパソコンのUSBコネクタ(→←→)に接続 することができます。別売のPS/2タイプのテンキーボードを接続して使用するに は、別売のUSBポートバー(PK-UP012S/PK-UP012NS/PK-UP012US)が必要 になります。



USB対応機器の接続 PART4の「USB対応機器(p.204)

日本語入力を使う

このパソコンでは、日本語入力システムとしてMS-IME2002またはMS-IME2000 を使用できます。

日本語入力システムのオン / オフを切り替える

日本語入力システムのオン / オフを切り替えるときは、【半角 / 全角】または【Alt】 +【半角 / 全角】を押します。日本語入力システムがオンになると、日本語入力シ ステムのツールバーが表示されます。オン / オフは、キーを押すごとに切り替える ことができます。

-**-** × -

MS-IME2000の場合は、インジケータ領域、タスクトレイ)にある 🎤 をクリック して表示されるメニューでオン / オフを切り替えることもできます。日本語入力 システムがオンのときは、 🎤 は 🔐 になっています。

日本語を入力する

日本語入力システムの詳しい使いかたは、日本語入力システムの「ヘルプ」を利 用してください。

6 参照

日本語入力の練習をする 「パソコンのいろは」-「ステップ4 日本語の入力」

MS-IME2002の「ヘルプ」を使う

- 1 MS-IME2002のツールバーから ☑ をクリックする
- 2 メニューの「Microsoft(R) IME スタンダード 2002」をクリックする
- 3 メニューの「目次とキーワード」をクリックする
- 4 表示されたヘルプ画面で、調べたい項目をダブルクリックする ヘルプを終了したいときは、 ▼ をクリックします。

MS-IME2000の「ヘルプ」を使う

- 1 MS-IME2000のツールバーから 🔃 をクリックする
- 2 メニューの「目次とキーワード」をクリックする
- 3 表示されたヘルプ画面で、調べたい項目をダブルクリックする ヘルプを終了したいときは、 ★ をクリックします。

NXパッド

NXパッドの使いかた

このパソコンにはポインティングデバイスとしてNXパッドが内蔵されています。

名称と役割



パッドのみを使って操作する

NXパッドではクリックボタンを使わずにパッドのみを使って操作することもできます。

タップとダブルタップ

指先で軽くパッドをたたく操作です。1回たたくことを「タップ」、2回続けてたたくことを「ダブルタップ」といい、それぞれクリック、ダブルクリックするのと同じことです。



ドラッグ

アイコンやフォルダの上にポインタを合わせた状態で、パッドに2回続けて触れ、 2回目に触れたときにパッドから指を離さずにすべらせるとドラッグできます。



参照

NXパッドの使いかたを練習する「パソコンのいろは」-ステップ1の「NXパッドに慣れる」

スクロールスライドスイッチを使う

スクロールスライドスイッチを使うと、画面を上下左右にスクロールさせたり、画面 を拡大縮小させることができます。



画面を上下方向にスクロールさせる

- 1 アプリケーションの上下スクロールバーがある画面をクリックする
- 2 スクロールスライドスイッチをパッド側、または手前にスライドさせる パッド側にスライドさせると画面が上にスクロールし、手前にスライドさせると画面 が下にスクロールします。 また、スクロールスライドスイッチをスライドさせたままにすることで、連続して画面 をスクロールさせることができます。


チェック スクロールスライドスイッチを押した状態でスライドさせようとしてもスクロールしないことがあります。スクロールさせるときは、スクロールスライドスイッチを押さずに軽く指をおいてスライドさせてください。

画面を上下、左右方向にスクロールさせる

- 1 スクロールさせたい画面にポインタを移動する
- 2 スクロールスライドスイッチを押す ポインタの形が(・2)や(・2)に変わります。



チェック スクロールスライドスイッチを押すときは、スイッチをスライドさせないように注意 してください、スライドさせた場合、通常の上下方向のスクロール機能が働きます。

3 ポインタの形が変わったら、パッドを使ってスクロールさせる パッド上で指をすべらせた方向にスクロールします。 パッドによるスクロールを終了したい場合は、もう一度、スクロールスライドスイッチ を押してください。ポインタの形が元に戻ります。

チェック
 ・アプリケーションによってスクロールできる方向は異なります。

・ポインタの形が、のときは、上下方向にのみスクロールできます。

ズーム機能を使う

・ アプリケーションによってはこの機能は使用できません。

- 1 拡大、縮小したい画面にポインタを動かす
- 2 キーボードの【Ctrl】を押したまま、スクロールスライドスイッチをパッド側、 または手前にスライドさせる パッド側にスライドさせると画面の表示が拡大され、手前にスライドさせると縮小されます。

NXパッドの一時的なオン / オフ機能として使う

スクロールスライドスイッチを使って、NXパッドを一時的にオンまたはオフにする ことができます。

NXパッドの設定をする

WindowsでNXパッドをより使いやすく設定することができます。

1「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする 「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

マウスのプロパティ				21:
ポタン ポインタ 身	がに(タッピング)ジェン	ミチャー その他	1	
	左末的(Q) (2022) (24-10)パン(2) (24-10)パン(2-3- スライトゼンなどのが(D) (オートスカール スライトジン(パン(パントカ向い) (上スカール スライトジン(パントカ向い) (下スカール	× × •	 ダウルジック通知で ラスト ラスト 連点 スロール様能(1) 戸 スロール特徴(1) 戸 スロールの対 連度185 	2) 38.1 685502 802.
7746+(<u>D</u>)			N	IEC
		OK	キャンセル	適用(4)

「マウスのプロパティ」画面では、ウィンドウの左上の各タブを選ぶと、次のような 設定を行うことができます。

- ・ボタンの設定
- ・オートスクロール機能
- ・オートジャンプの設定
- ・タッピングの調節
- ・ポインタデザインの選択 ・ジェスチャーの調節(NKパッド使用時のみ設定可能)
- ・NXパッドの動作の調節
- ・その他

「ボタン」タブの設定

ボタン設定

左右のクリックボタンの設定や、スクロールスライドスイッチ(スライドスイッチ)の設定ができます。

ダブルクリック速度

ダブルクリックのクリック間隔の調整を行います。

スクロール機能

スクロール中にスライドスイッチを押すことで、スクロールを継続させるスクロール ロック機能の設定や、スクロールの速度の設定ができます。スクロールロック機能 は、クリックボタンやスライドスイッチを押すか、タップすることで解除できます。

チェック

スクロールロック機能を解除しないと、自動的にスタンバイ状態にならない場合が あります。 「ポインタ」タブの設定

デザイン

ポインタのデザインを変更することができます。

「動作」タブの設定

速度と加速度

ポインタの動作速度を調節します。

アクヤラレーション

パッドトで指をすばやく動かすことで、ポインタの移動速度を「速度」で設定した 以上に速くすることができます。パッド上でゆっくり指を動かしたときは、「速度」で 設定した速度で動きます。

オートジャンプ

ウィンドウやダイアログボックスを開いたときに、ポインタをボタンの上に自動的 に合わせるように設定できます。

動跡

「表示する」の 🥅 をクリックして 🔽 にすると、ポインタの軌跡が表示されます。

「タッピング」タブの設定

タッピング

▶ をクリックして ▶ にすると、タップが効かないように設定できます。

タッピング速度

タップする速度を調節します。タップの間隔、指をパッドに触れてから離すまでを 調整することで、間違って触れただけではタップにならないように設定できます。

ドラッグロックの設定

パッド上でドラッグをしている場合のドラッグロックの設定ができます。ドラッグして いる途中でパッドから指を離しても、ドラッグしたままの状態を保つことができます。

タイピング

キー入力時に間違ってタップされたり、ポインタが移動するのを防ぐことができます。

「ジェスチャー」タブの設定

コーナータップ

パッドの左上角や右上角をタップする動作に、次の機能を割り当てることができ ます。

- ・ショートカットメニューの表示 ・ 全ウィンドウ最小化
- ・オートスクロール

- ・イージーキャプチャー
- ・最近使ったファイルの表示
- お気に入りの表示
- ・ディスプレイジャンプ

NXパッド 23 - XE

- ・イージーキャプチャーは、「ペイント」などのアプリケーションを起動しなくても、 NXパッドを操作して簡単な絵を作成し、起動中のアプリケーションに貼り付ける ことができる機能です。
- ・ディスプレイジャンプ機能は、デュアルディスプレイ実行中、画面間でポインタ を移動させる機能です。

ブラウザ補助機能

パッドの上端を左右どちらかになぞって指を離すと、ブラウザの「進む」 戻る」の 操作ができます。

スクロール機能

「スクロール機能を使う」の「「をクリックして「」にすると、パッドの右端、下端をな ぞって上下、左右にスクロールすることができます。

また、以下の設定を行うことで、機能をより使いやすくすることもできます。

・スクロール速度

スクロールする速度を設定することができます。

・スクロール領域 パッド上のスクロール機能で使用する部分を「スクロール領域」といいます。 スクロール領域の広さを変更することができます。

「その他」タブの設定

トレイアイコン

「タスクバーにアイコンを表示する」の↓をクリックして↓ にすると、インジケー タ領域、タスクトレイ)にNXパッドのアイコンが表示されなくなります。

IMEキャプチャー

IMEパッドの手書き入力エリアでタップすると、絶対座標モードで入力できるよう になります。「使用する」の■をクリックして▼ にすると、この機能が有効になります。

イージーキャプチャーの設定

「イージーキャプチャーの設定」ボタンをクリックすると、次の各設定を変更できます。 イージーキャプチャーは、「ジェスチャー」タブの中の「左(または右)コーナータッ プ」で割り当てることができます。

・キャンバスサイズ
 使用するキャンバスの幅、高さを変更できます。

・線の種類 使用する線の太さ、色を変更できます。

・オプション

「前回のイメージを保持する」の「をクリックして」「にすると、イージーキャプ チャーで描いたイメージが保存され、次回イージーキャプチャーを開いたときに 表示されます。

ハードディスク

ハードディスクを使用するときの注意

ハードディスクとは

ハードディスクとは、Windows Meやアプリケーションなどのソフトウェア、または それらで作成したデータを記録し、読み出すための装置です。非常に精密な機械 なので、強い衝撃や過度の重量などが加わらないように注意してください。



データのバックアップについて

ハードディスクが故障すると、大切なデータが失われてしまうことがあります。特に、自分で作成したデータなどは再セットアップしても元通りにはできません。 大切なデータは、フロッピーディスクやCD-R、CD-RWなどのハードディスク以外の媒体にこまめにバックアップ(コピー)をとっておくことをおすすめします。



バックアップの取りかた 『困ったときのQ&A 』PART1の「トラブルの予防」、または「サポートセンタ」、「トラブルの予防」、「大事なデータはバックアップを取ろう」

ハードディスクの購入時の状態

このパソコンは購入時、ハードディスク全容量の75%がCドライブ、残りの25%が Dドライブに割り当てられています。

ハードディスクの領域の確保とフォーマット

ハードディスクの領域を削除した場合や、新たにハードディスクを増設した場合な どには、ハードディスクの領域の確保とフォーマットが必要です。 ハードディスクの領域の確保とフォーマットは、「容量の確認」「領域の確保」 「フォーマット」の順に行います。

ハードディスクの容量の確認

はじめに、領域を確保しようとしているハードディスクの容量を確認します。

1「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「MS-DOSプロンプト」 をクリックする 次のように表示されます。



2次のように入力する



「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」と表示されます。

_		メモ
	^r FD I	SK

「FDISK」コマンドは「領域の確保」領域の削除」ハードディスクの状態の 確認」を行うプログラムです。

- 3「Y」を選んで【Enter】を押す 「FDISKオプション」の画面が表示されます。
- 4「4」を入力し、[Enter]を押す
- 5 表示された画面でハードディスクの容量を確認する
- 6 [Esc]を押す
- 7 【Esc 】を押す 次のように表示されます。



ハードディスクの領域の確保

- 1 次のように入力する
 - ・ハードディスクの総容量が8,192Mバイト以下の場合

FDISK	/x	

・ハードディスクの総容量が8,193Mバイト以上の場合



「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」と表示されます。

2「Y」を入力し【Enter】を押す

FAT32ファイルシステムで領域を作成します。 より効率よく大容量ハードディスクを利用することができます。 「N」を入力した場合は、FAT16ファイルシステムで領域を作成します。 最大2Gバイトまでの容量をひとつのドライブとして扱えます。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

- 「1」を入力し【Enter】を押す 領域を作成する画面が表示されます。
- 4「2」を入力し【Enter】を押す

「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください 拡張MS-DOS領域を作ります」と表示されます。



確保される領域は、入力した領域サイズよりも大きくなる場合があります。例 えば、FAT16で2,047Mバイトを取得しようとすると、2,052Mバイトなどの値に なり、FAT16で取得できない場合があります。このような場合は、2,047Mバイ トより小さい値で入力してください。

5 [Enter]を押す

「拡張MS-DOS領域を作成しました .」と表示されます。

6 [Esc]を押す

- 7 サイズを入力して【Enter】を押す
- 8 拡張MS-DOS領域がなくなるまで手順7をくりかえし、すべての拡張MS-DOS領域を論理ドライブに割り当てる
- **9** 【Esc 】を3回押す 次のように表示されます。



10次のように入力する

EXIT	

Windows Meの画面に戻ります。

11「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で▼をクリックして「再起動」を選 び、「OK」ボタンをクリックする Windowsが再起動します。

ハードディスクをフォーマットする

領域を確保したら、続いてハードディスクをフォーマットします。

- 1 マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする
- 2 新たに領域を確保したドライブをクリックする
- **3**「ファイル」メニュー 「フォーマット」をクリックする 「フォーマット」の画面が表示されます。
- 4「通常のフォーマット」をクリックする
- 5 「開始」ボタンをクリックする 確認の画面が表示されます。
- 6「OK」ボタンをクリックする フォーマットがはじまります。 しばらくすると、フォーマットが終了してフォーマットの結果が表示されます。
- 7「閉じる」ボタンをクリックする スキャンディスクの実行をうながす画面とヘルプが表示されます。

- 8「OK」ボタンをクリックする
- 9「フォーマット」の画面をクリックする
- 10 「閉じる」ボタンをクリックする
- 11 ヘルプにしたがって、スキャンディスクを実行する 複数のドライブをフォーマットしたいときは、手順2~11の操作をくりかえしてくだ さい。

FAT32ファイルシステムの利用

FATとは

FAT(File Allocation Table)ファイルシステムとは、MS-DOSやWindowsで、ディ スクのどの場所にどのようなファイルがあるかを記録/管理するシステムのこと です。Windows Meでは次の2つのFATファイルシステムをサポートしています。

FAT32

FAT16を拡張したファイルシステムです。FAT32では理論上2Tバイト(2,048Gバ イト)までの容量を扱うことができます。またFAT16よりも効率よく大容量ハード ディスクを利用することができます。

参照

FAT32に関する情報 「Windows」フォルダのGENERAL.TXT

FAT16

MS-DOSや従来のWindowsで使われている基本的なファイルシステムです。最 大2Gバイトまでの容量をひとつのドライブとして扱うことができます。

FAT32ファイルシステムを使用するときの注意

FAT32を使用するときは、次の注意事項を確認してから使用してください。

- ・FAT32はこのパソコンにインストールされているWindows Meでのみ使うこと ができます。
- ・購入時の状態では、FAT32ファイルシステムでハードディスクの領域が確保されています。購入時の状態で使用する場合は、ここでFAT32の設定を行う必要はありません。
- ・別売のアプリケーションによっては正しく動作しないことがあります。
- ・スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、「アクセサリ」の「システムツール」にあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、「ドライブスペース」でFAT32のドライブを圧縮することはできません。

「FDISK」コマンドでFAT32の領域を作成する

- 1「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「MS-DOSプロンプト」 をクリックする 「MS-DOSプロンプト」画面が表示されます。
- 2次のように入力する
 - ・ハードディスクの総容量が8,192Mバイト以下の場合

FDISK /x 💶

・ハードディスクの総容量が8,193Mバイト以上の場合



ハードディスクの容量が512Mバイト以上のときは、次のような大容量ディスクのサポートを行うかどうかを確認するメッセージが表示されます。

512 MG以上のディスクがあります。このバージョンのWindowsでは、大容量のディスク のサポートが強化され、ディスク領域を有効に使えるようになりました。2 GB以上の ドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます。
●要素:大容量ディスクのサポートを使用可能にして、このディスクに新しいドライブ を作成した場合、15かのオペレーティング システムを使ってこの部いトドライブに アクセスすることはできません(Windows 95とWindows NTの特定のバージョン、 以前のバージョンのWindowsとNe-000を含む)、また、FAT02フテイルシステム 用に認計されていないティスクユーティリティは、正常に動作しません このディスクでほかのオペレーティングシステムやUN期のディスクコーティリティ にアクセスする必要がある場合、大容量ドライブのサポートは使用しないでくたさい、
大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)? [1]

参照

ハードディスクの容量を確認する 「ハードディスクの容量の確認 (p.26)

- 3【Y】を押して【Enter】を押す
- 4 領域を作成する

512Mバイト以上の領域を作成すると、その領域にはFAT32が適用されます。作成した領域が512Mバイトよりも小さいときには自動的にFAT16が適用されます。

5 領域の作成が終了したら、【Esc】を押す

6次のように入力する



- **7**「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で▼をクリックして「再起動」を選び、「OK」ボタンをクリックする Windowsが再起動します。
- 8 作成したドライブをフォーマットする(p.28)

フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクドライブの取り付けかたと取り外しかた

このパソコンでフロッピーディスクを使用する場合は、添付のフロッピーディスクドライブをUSBコネクタに取り付けてください。

フロッピーディスクドライブの取り付けかた

 添付のフロッピーディスクドライブのプラグをパソコンのUSBコネクタに 接続する
 4つあるUSBコネクタのうち、どのコネクタに接続しても使用することができます。

← マークのある方を上にして、カチッと音がするまで軽く押し込んでください。



フロッピーディスクドライブを取り外す

- 1 インジケータ領域 タスクトレイ)にある 「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。
- 2 取り外したい機器名をクリックして「停止」ボタンをクリックする
- **3**「ハードウェア デバイスの停止」画面で取り外したい機器名をクリックして 「OK」ボタンをクリックする 安全に取り外すことができるという内容のメッセージが表示されます。

4「OK」ボタンをクリックする

5 「閉じる」ボタンをクリックして「ハードウェアの取り外し」画面を閉じる

6 フロッピーディスクドライブのプラグを、本体のUSBコネクタから取り外す

各部の名称と役割

このパソコンで使用できるフロッピーディスクの種類

このパソコンのフロッピーディスクドライブでは、次の形式のフロッピーディスクを使うことができます。

作業内容 フォーマット	データの読み書き	フォーマット	ディスクコピー
640Kバイト	-	-	-
720Kバイト			
1.2Mバイト	-	-	-
1.44Mバイト			

:使用可

- : 使用不可

フロッピーディスクドライブを使用するときの注意

- このパソコンでは、PC-9800シリーズのパソコンでフォーマットされたフロッピー ディスクを使ってシステムを起動することはできません。
- ・Windowsの「ディスクのコピー」、またはMS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドでコピーを行うときは、コピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたものを使用してください。
- ・フォーマットしていないフロッピーディスクをマイコンピュータなどで選択すると、 フロッピーディスクアクセスランプが点灯し続けたり、フォーマットしようとすると フォーマット開始までの時間が長くかかる場合があります。これは、フロッピー ディスクの種類を判別しているためなので、処理が開始されるまでしばらくお待 ちください。
- ・MS-DOS Ver.6.2以前のFORMATコマンドでフォーマットしたフロッピーディス クを、MS-DOSプロンプトからDISKCOPYコマンドでディスクコピーすることは できません。「マイコンピュータ」の「3.5インチFD」アイコンを右クリックし、「メ ニュー」から「ディスクのコピー」を実行してください。
- ・2DDのフロッピーディスクを720KBでフォーマットした場合、いったんフロッピー ディスクを取り出し、もう一度入れ直してから使用してください。フォーマット後 に、フロッピーディスクを入れ直さずにファイルを書き込もうとすると、フォーマッ トが正常に終了していても、エラーが発生する場合があります。 クイックフォーマットされたフロッピーディスクの場合は、この手順は必要ありま せん。
- ・フロッピーディスクドライブの上に重いものを置いた状態で保管したり使用した りしないでください。破損したり、故障の原因になることがあります。
- ・1.2Mバイトでフォーマットされたフロッピーディスクを1.44Mバイトでフォーマットしなおすことはできません。

フロッピーディスクのセットのしかたと取り出しかた

フロッピーディスクをセットする

1 カチッと音がするまでフロッピーディスクをゆっくりと水平に差し込む フロッピーディスクがセットされるとイジェクトボタンが少し飛び出します。



フロッピーディスクを取り出す

チェック

フロッピーディスクを書き込み中、または読み取り中は、フロッピーディスクア クセスランプが点灯します。アクセスランプ点灯中は、絶対にフロッピーディ スクを取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因とな ります。

1 イジェクトボタンを押す フロッピーディスクが少し飛び出します。



2 フロッピーディスクをゆっくりと水平に引き出す

フロッピーディスクをフォーマットする

- 1 フロッピーディスクをセットする
- **2**「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする 「マイコンピュータ」画面が開きます。
- **3**「3.5インチFD」アイコンをクリックする
- **4**「ファイル」メニュー 「フォーマット」をクリックする 「フォーマット」画面が表示されます。
- 5 「フォーマットの種類」から実行するフォーマットの種類を選ぶ はじめてフォーマットをするフロッピーディスクのときは「通常のフォーマット」を選 んでください。
- 6 「開始」ボタンをクリックする フォーマット作業が始まります。

1 このパソコンの基本機能

CD-R/RW with DVD-ROMドライブ

名称と役割



▼メモ イジェクトボタンやアクセスランプ、非常時ディスク取り出し穴の位置や形状 は、イラストと多少異なることがあります。

使用できるディスク

再生可能なディスク 音楽CD、ビデオCD、フォトCD、DVD VIDEOディスク 読み込み可能なディスク CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM 書き込み可能なディスク CD-R、CD-RW 書き換え可能なディスク CD-RW CD-RやCD-RWへの書き込み

使用できるCD-RおよびCD-RWは、ISO9660に準拠したディスクです。書き込み できる容量は、使用するアプリケーションによって異なりますので、詳しくはアプリ ケーションのヘルプをご覧ください。

CD-RまたはCD-RWに書き込みするときは、「Easy CD Creator」または 「DirectCD」というアプリケーションを使用します。それぞれの機能や使用方法に ついては、「Easy CD Creatorを使う(p.44 またば DirectCDを使う(p.46) をご覧ください。

- CD-RやCD-RWへ書き込むときの注意
 - ・お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどからのコピー作成およびその利用のための著作権を所有していなかったり、著作権の所有者からコピーの許可を得ていない場合は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの際は、オリジナルのCDの使用許諾条件、複製に関する注意事項にしたがってください。
 - ・Easy CD Creatorなど、Track at once(トラック アット ワンス)方式やDisk at once(ディスク アット ワンス)方式で書き込みを行うアプリケーションでは、CD-R、CD-RWへのデータ書き込み中に、他のアプリケーションを使用したり、自動的に省電力機能や一定時間が経過してスクリーンセーバーが働いたり、メールの自動受信プログラムなどが常駐していると、書き込みエラー(バッファアンダーラン)が発生する場合があります。書き込みエラーの発生を抑えるため、データ書き込みの際は、他の動作プログラムを閉じ、省電力機能や常駐するプログラムを無効(オフ)にすることをおすすめします。
 - ・バッテリの残量がなくなると、書き込みエラーの原因になります。バッテリのみで パソコンを使用している場合は、書き込みを行う前にACアダプタを接続して、 ACコンセントから電源を供給してください。
 - ・パソコンに振動や衝撃をあたえないでください。書き込みエラーの原因となります。

-**T** ×t-

- ・ディスクにデータを書き込むために、パソコンはCD-R/RW with DVD-ROMF ライブにデータを転送しています。転送されてきたデータはバッファ(データのー 時的な蓄積場所)に貯められてからディスクに書き込まれますが、途中で割り込 んでくる操作(たとえばスクリーンセーバーの起動など)があると、バッファへの データの転送に遅れが生じてバッファが空になってしまい、ディスクへの書き込 みに失敗してしまうことがあります。このような現象を「バッファアンダーラン」と 呼びます。
- ・DirectCDなど、Packet Write(パケット ライト)方式で書き込みを行うアプリケーションでは、書き込みエラー(バッファアンダーラン)は起こりません。
- ・書き込みに失敗したCD-Rは再生できなくなります。書き込みの失敗によるCD-R の補償はできませんので注意してください。
- ・DirectCDを使って、データの書き込みや削除をくりかえすと、CD-Rの空き容量 が減っていきます。

- フォーマット形式などによっては、他のCD-ROMドライブなどでは使用できない 場合があります。
- 市販されているCD-RおよびCD-RWの一部に規格外のものがあります。規格 外のCD-RおよびCD-RWでは正常に読み込めない場合があります。
- ・データを書き込んだCD-RWを他のパソコンで読む場合、マルチリード対応の CD-ROMドライブを使用してください。マルチリード対応CD-ROMドライブの確 認は、各メーカーにお問い合わせください。

マルチリード対応のCD-ROMドライブとは、CD-RWを読み出せるようにした CD-ROMドライブのことです。CD-RWはCD-ROMに比べて光の反射率が低い ため、マルチリードに対応していないCD-ROMドライブでは読み出すことがで きません。

CD-R/RW with DVD-ROMドライブを使用するときの注意

- ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ内のレンズには触れないでください。指紋 などの汚れによってデータが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
- アクセスランプが点灯しているときは、ディスクを絶対に取り出さないでください。故障の原因となります。
- ・ディスクの盤面にはラベルやテープなどを貼らないでください。故障の原因となることがあります。また、ラベルやテープが貼られているなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、操作中に手に振動を感じることがあります。

ディスクのセットのしかたと取り出しかた

ディスクをセットする

◆ メモ パソコンの電源が入っていない場合は、ディスクをセットすることはできません。 パソコンの電源を入れるか、オーディオ電源スイッチを押してCDプレイモードに
してください(p.116)。

1 CD-R/RW with DVD-ROMドライブのイジェクトボタンを押す ディスクトレイが少し飛び出します。



2 手でディスクトレイを静かに引き出す



3 ディスクのデータ面(文字などが印刷されていない面)を下にして、傷など付けないようディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりはめ込む



4 CD-R/RW with DVD-ROMドライブのイジェクトボタンに触れないように ディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイを元の位置に戻す



ディスクを取り出す

メモ
 パソコンの電源が入っていない場合は、ディスクを取り出すことはできません。
 パソコンの電源を入れるか、オーディオ電源スイッチを押してCDプレイモードに
 してください(p.116)。

- 1 CD-R/RW with DVD-ROMドライブのイジェクトボタンを押す ディスクトレイが少し飛び出します。
- 2 手でディスクトレイを静かに引き出してから、ディスクを取り出す
- **3** CD-R/RW with DVD-ROMドライブのイジェクトボタンに触れないように ディスクトレイの前面を押して、ディスクトレイを元の位置に戻す

ディスクを取り出せなくなったときは

ソフトウェアの暴走など不慮の原因で、CD-R/RW with DVD-ROMドライブの イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこなくなった場合は、非常時ディ スク取り出し穴に太さ1.3 mm程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出すこ とができます。針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。



CD-R/RW with DVD-ROMドライブのイジェクトボタンを押してもディスクトレイ が出てこない、といった非常時以外は、非常時ディスク取り出し穴を使わないよう にしてください。

音楽CDやDVD VIDEOディスクを再生する



DVD VIDEOディスクは、リージョンコード(国別地域番号。日本は2です)によって 管理されているため、リージョンコードが2もしくはフリーに設定されているディスク のみ再生することができます。海外で購入したDVD VIDEOディスクについては、 特にこの点に注意してください。

Jet-Audio Playerを使う

このパソコンには、音楽CDやDVD VIDEOディスクを再生するためのアプリケー ションとして、「Jet-Audio Player」がインストールされています。Windows Meが 起動しているときに音楽CDなどのディスクをセットすると、自動的にJet-Audio Playerが起動して再生がはじまります。



- ・Jet-Audio Playerを起動すると、「DVD再生の性能は、他のアプリケーションの 起動状態等ご利用の環境により異なる場合があります」というメッセージが表示 されます。この画面を起動時に表示させないようにするには、表示された注意事 項をお読みのうえ、「今後、この画面を表示しない」の「をクリックして」にして 「閉じる」ボタンをクリックしてください。 次回起動時から、この画面が表示されなくなります。
- 次回起動時から、この画面か表示されなくなります。
- デュアルディスプレイ機能(p.184)の実行中や、このパソコンの液晶ディスプレイとテレビに画面を同時表示しているときには、DVD VIDEOディスクを再生することはできません。

6 参照

- ・「Jet-Audio Player」の使いかた 「添付ソフトの使い方」-「Jet-Audio Player」、または 「スタート」ボタン 「プログラム」「Jet-Audio Player」 「使い方マニュアル」
- ・CD/DVDプレーヤボタンでJet-Audio Playerを操作するには PART3の「音楽の再 生 / 編集機能」の「音楽を再生するには (p.114)

CDプレイモードで音楽CDを再生する

このパソコンの電源が入っていないとき、またはスタンバイ状態や休止状態のときに、Windowsを起動することなく音楽CDを再生することができます。



Easy CD Creatorを使う

Easy CD Creatorは、CD-RやCD-RWにデータを書き込むことができるアプリ ケーションです。データを書き込む以外にも、音楽CDを作成したり、CD全体の バックアップなどの機能があります。ここでは、基本的なデータを書き込む操作に ついて説明します。そのほかの機能について詳しくは、ヘルプをご覧ください。



データを書き込む

ここでは、CD-Rを使ったデータの書き込みについて説明します。 はじめに、CD-Rを用意しておいてください。なお、CD-RWの場合でも同様の手順 で利用できます。その際はCD-RをCD-RWに読み替えてください。

1 CD-RをCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットする 次の画面が表示されます。



2 メニューから「データ」をクリックし、「データCD」をクリックする

3 画面の上段で、書き込みたいデータがあるフォルダを選び、データのファイル名を表示させる



4 書き込みたいデータのファイル名を選んで、画面の下段にドラッグ&ドロッ プする

書き込むデータが画面の下段に表示されます。このとき、まだ書き込みは開始していません。





⁵ cD の作成)ボタンをクリックする

- 6「CD作成セットアップ」画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックする 書き込みを開始します。 「コンパティビリティの警告」画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックして ください。
- 7書き込み終了後、「CD作成が成功しました。」と表示されたら「OK」ボタンを クリックする 「CDレイアウトの変更を無題に保存します。」というメッセージが表示されます。 書き込みが正常に終了した場合は保存の必要がないので、「いいえ」ボタンをク リックしてください。書き込みに失敗した場合や同じデータを別のCD-Rに書き込 む場合は、「はい」ボタンをクリックして保存してください。
- 8 画面右上の 🗵 ボタンをクリックし、Easy CD Creatorを終了する

DirectCDを使う

DirectCDを使うと、フロッピーディスクやハードディスクと同じような感覚で、CD-RやCD-RWにデータを保存したり移動したりすることができます。簡単にデータ を保存することができるので、データのバックアップなどに適しています。 ここでは、DirectCDを使ってCD-RまたはCD-RWにデータを書き込むときの基本 的な操作を説明しています。

そのほかの機能や使いかたについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。

準備をする

DirectCDで使用するCD-RまたはCD-RWは、フォーマットされている必要があります。データを書き込む前に、次の手順でフォーマットしてください。すでにフォーマットされたCD-RまたはCD-RWを使用する場合は、この手順は必要ありません。次の「DirectCDで書き込む(p.47)の手順でデータの書き込みを行ってください。

1 CD-RまたはCD-RWをCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットする 次の画面が表示されます。



フォーマット済みのCD-RまたはCD-RWをセットした場合、「CDの準備ができました」と表示されます。次の「DirectCDで書き込む」の手順2に進んで、データの書き込みを行ってください。

- 2 メニューから「データ」をクリックし、「DIRECTCD」をクリックする Adaptec DirectCD ウィザードの画面が表示されます。
- 3 「次へ」ボタンをクリックする レコーダ情報の画面が表示されます。
- 4「次へ」ボタンをクリックする CDのフォーマットの画面が表示されます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックする CD名を付ける画面が表示されます。
- 6「CD名」欄にCD名を入力して、「完了」ボタンをクリックする CD名を付けておくと、あとから何のデータが入っているCDかを検索したいとき に便利です。特に付ける必要がない場合は、何も入力しないで「完了」ボタンをク リックしてください。
- 7 処理時間を確認する画面が表示された場合は、処理時間を確認して「OK」 ボタンをクリックする フォーマットが始まりますので、そのまましばらくお待ちください。 フォーマットが終了すると「CDの準備ができました」と表示されます。

8「OK」ボタンをクリックする CD-R/RW with DVD-ROMドライブの画面が自動的に開いた場合は、 X ボタ ンをクリックして画面を閉じてください。

これで、CD-RまたはCD-RWをDirectCDで使用するための準備ができました。 このまま続けてデータの書き込みを行う場合は、次の「DirectCDで書き込む」の手 順3に進んでください。

DirectCDで書き込む

- 1 DirectCDでフォーマットしたCD-RまたはCD-RWをCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットしていない場合はセットする 「CDの準備ができました」と表示されます。
- **2**「0K」ボタンをクリックする

3 CD - RまたはCD - RWにデータを書き込む フロッピーディスクやハードディスクと同じように、「マイコンピュータ」や「エクスプ ローラ」を使ってデータを書き込むことができます。

CD-RまたはCD-RWを取り出す

DirectCDを使用しているときは、ディスクによって取り出しかたが異なります。

CD-Rを取り出す

CD-Rを取り出すときは、DirectCDで書き込んだCD-RをほかのパソコンのCD-ROMドライブで読み出すことができるようにするかどうかを選ぶ必要があります。

1 CD-R/RW with DVD-ROMドライブのイジェクトボタンを押す 「CDの取り出し」画面が表示されます。

メモ
インジケータ領域、タスクトレイ)に表示されている
金を右クリックし、表示
されたメニューから「取り出し」をクリックしても同様の操作ができます。

2 CD-Rに、ほかのパソコンのCD-ROMドライブでも読み出せるように処理 を行うかどうかを選ぶ

次もDirectCDで使用する場合は、「次回、このCDへはDirectCDで読み書きを行 います。」が・・のになっていることを確認してください。

ほかのパソコンのCD-ROMドライブで読み出したい場合は、「Windows 95/98、 Windows NT 4.0(SP3以上)およびWindows 2000のCD-ROMドライブで読 み込めるようにCDを構成します。」の ②をクリックして ③にします。また、必要で あれば 再び書き込みができないように、CDを書き込み禁止にする」の □をクリッ クして ☑にしてください。

XT

「Windows 95/98、Windows NT 4.0(SP3以上)およびWindows 2000の CD-ROMドライブで読み込めるようにCDを構成します。」を選んで取り出 した後、再度DirectCDで書き込みを行いたい場合は、一を右クリックして 「書き込み可能にする」を選び、設定を行ってください。

3 完了」ボタンをクリックする

「CDは取り出されました。」と表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。自動的にディスクトレイが少し飛び出します。

4 表示されているメッセージを確認して、「OK」ボタンをクリックする

チェック

書き込んだCD-Rを読み出すことができる環境についてのメッセージが表示 されています。表示されたメッセージ以外の環境では、このCD-Rを読み出す ことはできません。

- **5** CD-R/RW with DVD-ROMドライブからCD-Rを取り出し、ディスクトレイ を元の位置に戻す
- CD-RWを取り出す
 - 1 CD-R/RW with DVD-ROMドライブのイジェクトボタンを押す しばらくすると、「CDは取り出されました。」と表示され、ディスクトレイが少し飛び 出します。

メモ インジケータ領域、タスクトレイ)に表示されている。2を右クリックし、表示 されたメニューから「取り出し」をクリックしても同様の操作ができます。

2 表示されているメッセージを確認して「OK」ボタンをクリックする

チェック
書き込んだCD-RWを読み出すことができる環境についてのメッセージが表
示されています。表示されたメッセージ以外の環境では、このCD-RWを読み
出すことはできませんので注意してください。

3 CD-R/RW with DVD-ROMドライブからCD-RWを取り出し、ディスクトレイ を元の位置に戻す

液晶ディスプレイ

画面表示を調整する

キーボードの【Fn】を使って画面表示の調整ができます。

表示を調整する

このパソコンでは、キーボードを使って輝度や画面の伸縮の調整を行います。

機能	キー操作	説明
画面の伸縮	【Fn】+【F5】	低解像度時に、ディスプレイの画面を拡大表 示する / しないを切り替えます。
輝度を上げる(▲☆)	【Fn】+【F8】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が 増加します(8段階)。
輝度を下げる(▼○)	【Fn】+【F9】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が 低下します(8段階)。

▼メモ 解像度とは、ディスプレイの画面上に表示できる文字や図面などの情報量を表 すものです。この数字が大きくなるほど、画面上に一度に多くの情報を表示する ことができ、より細かな表現ができます。

このパソコンでは、標準で次の解像度と表示色を表示できます。

解像度 (ドット)	表示色	液晶 ディスプレイ のみに表示	別売のCRT ディスプレイ のみに表示	液晶 ディスプレイ と別売のCRT ディスプレイ の同時表示 ¹	т∨のみ
640 × 480	26万色中256色				
	65,536色				
	1,677万色 ²	4		4	
800 × 600	26万色中256色				
	65,536色				
	1,677万色 ²	4		4	
1,024 × 768	26万色中256色				
	65,536色 ³				
	1,677万色 ²				
1,280×1,024	26万色中256色				-
	65,536色				-
1,600×1,200	26万色中256色				-
	65,536色				-

: 画面のまわりが黒く表示される(【Fn】を押しながら【F5】を押して拡大表示可能)

:フルスクリーン表示可能

:バーチャルスクリーン(p.53)でのみ表示可能

- : 表示不可

1: 別売のCRTディスプレイ未接続時は、このパソコンの液晶ディスプレイのみに表示される

2: このパソコンの液晶ディスプレイでは、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現

3:購入時の設定

X =-

4: 表示色を1,677万色に設定しているときは拡大表示不可

320×200ドット、320×240ドット解像度対応のアプリケーションなどは、このパ ソコンでは画面のまわりが黒く表示されます。 解像度と表示色の設定

ディスプレイの解像度と表示色はコントロールパネルで設定します。

1「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」が表示されます。

画面のプロパティ ?	×
皆県 スクリーン セーバー デザイン 効果 Web ScreenScan 設定	
Lavi	
壁紙に使用する画像や HTML ドキュメントを選択して(ださい(S):	
個LV8_1024 <u>参照(版).</u> 第11v8 800	
■ NEC-3 24 20 Extension ■ 存任化	
OK キャンセル 通用(<u>G</u>)	

2「設定」タブをクリックする

3「画面の領域」または「色」を変更する

・画面の領域の変更をする場合

「画面の領域」欄でつまみを「大」の方向へドラッグすると高解像度に、「小」の方向へドラッグすると低解像度になります。

チェック 設定により、マニュアルに記載されていない解像度を選択することができる 場合がありますが、動作を保証するものではありません。必ずマニュアルに記 載されている解像度で使用してください。

・色の変更をする場合

「色」欄で ▼ をクリックし、選択一覧から変更します。この選択一覧には、使用 している液晶ディスプレイとディスプレイアダプタが対応しているカラーパレットが 一覧表示されます。

High Colorとは65,536色のことで、True Colorは1,677万色のことです。

4 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックする このあとは、画面の指示にしたがって操作してください。

バーチャルスクリーン

バーチャルスクリーンとは、実際に表示可能な解像度よりも大きい解像度を使用 できるようにするための仮想画面のことです。バーチャルスクリーンでは、仮想画 面全体のサイズが実際のディスプレイの画面より大きくなるので、ディスプレイに は常に仮想画面の一部が表示されている状態となります。画面をスクロールする と、ディスプレイの画面上で見えていない部分を表示することができます。

*****×t

バーチャルスクリーンでは、「スタート」ボタンがディスプレイの画面上から外れ、 表示されないことがあります。ディスプレイの画面上の見えていない部分を見る には、ポインタをディスプレイの画面の端に移動させます。ポインタの移動した 方向に画面がスクロールし、見えなかった部分が表示されます。

バーチャルスクリーンモードの設定方法

- **1**「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」画面が表示されます。
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- **3**「モニタ」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。
- 4「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」の◎をクリックして
 て○にし、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするド ライバを選択する」の〇をクリックして〇にし、「次へ」ボタンをクリックする
- 6「すべてのハードウェアを表示」の○をクリックして○にする
- 7 「製造元」欄で「(標準モニタの種類)」を選び、「モデル」欄の「Super VGA 1600×1200」をクリックする
- 8 「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする

10「OK」ボタンをクリックする これで設定が完了しました。

このあとは、画面の指示にしたがって操作してください。上記の設定をしたあとは、 「設定」タブで、次の解像度を設定できるようになります。

640×480ドット / 800×600ドット / 1,024×768ドット / 1,280×1,024ドット / 1,600×1,200ドット

バッテリ

バッテリのみで使う

このパソコンは、ACアダプタを使用せずにバッテリだけで駆動することができます。バッテリだけでの駆動時間は限られていますので、長時間使用する場合は、 省電力機能を使用することをおすすめします。



省電力機能について このPARTの「省電力機能(p.63)

さらに次のような点に気をつけると、バッテリパックを長持ちさせることができます。

- ・バッテリの残量をできるだけなくしてから充電する
- ・充電はフル充電(バッテリ充電ランプが消灯)になるまで中断しない
- ・定期的にバッテリリフレッシュを実行する(p.58)
- ・このパソコンを1カ月以上使わないときは、バッテリパックを取り外して、涼しい ところに保管する



バッテリは自然放電していますので、使用していない場合でも2~3カ月に一度 は充電することをおすすめします。

バッテリを充電する

チェック

- ・バッテリの充電中は、バッテリパックをパソコンから取り外さないでください。
 ショートや接触不良の原因になります。
- ・購入直後や長時間放置したバッテリでは、バッテリ駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリ残量が正しく表示されないことなどがあります。必ずフル充電してから使用してください。
- ・充電を行う際にはできるだけフル充電するようにしてください。バッテリ残量が少ない場合などに少量の充放電を何度もくりかえして使用すると、バッテリ残量に 誤差が生じることがあります。

バッテリの充電のしかた

バッテリパックを取り付けてACアダプタをACコンセントに接続すると、自動的に バッテリの充電がはじまります。

パソコンの電源を入れて使用しているときでもバッテリは充電されます。

◆ メモ 充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。また、高温になると充 電が中断されることがありますので、18~28 での充電をおすすめします。

6 参照

バッテリの充電時間について PART6の「機能一覧(p.223)

充電状態を表示ランプで確認する

バッテリの充電状態を、バッテリ充電ランプ(🦳)で確認することができます

(p.5),

ランフ	Ĵ	状態
+1.5.05	点灯	バッテリ充電中
オレンシ	点滅	バッテリのエラー
消灯 ACアダプタが接続されていない、または充電完		ACアダプタが接続されていない、または充電完了

: バッテリを取り付けなおしてもエラーが出るときは、バッテリリフレッシュを行ってください(p.58)。

バッテリの残量を確認する

バッテリ残量は、次の3つの方法で確認することができます。

インジケータ領域(タスクトレイ)にある 📋 の上にポインタを合わせる

/301	残り 100%	r6

アイコンはバッテリの残量により異なります。

インジケータ領域 タスクトレイ)の ■をダブルクリックして、表示された「電源 メーター」画面を見る



「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックして、表示された「電源の管理のプロパティ」画面の「電源メーター」タブを見る

「雷源設定」アラ	ティ ーム 電源メーター 詳細設定 休	上状態	<u>? ×</u>	
○ 溶パッテリの 電源の状態	(大服を表示する(日)			
21 21	現在の電源: バッテリ電源の残容量の合計:	パッテリ 93%		
9	38			
₽¥/	細情報を表示するには、各バッテリをク	リックしてください		
		キャンカリト 消	Erron 1	
バッテリ駆動中にバッテリ残量が少なくなったときは

バッテリの残量が少なくなると、電源ランプ(②)が黄色に点灯します。 この場合は、状況に応じて次の操作を行ってください。

ACコンセントから電源を供給できる場合

ACアダプタを接続してACコンセントから電源を供給してください。ACコンセントから電源を供給すると、バッテリ充電ランプ()」が点灯し、バッテリの充電がはじまります。また、バッテリを充電しながらパソコンを使用することもできます。

ACコンセントが使えない場合 使用中のアプリケーションを終了して、パソコンの電源を切ってください。

上記の操作をしないでそのままにしておくと、再度バッテリ残量が少ないというメッ セージが表示され、しばらくすると自動的に休止状態(p.68)になります。 また、パソコンをバッテリのみで使用している場合は、バッテリ残量が少なくなっ たときにパソコンをどのような状態にするかを設定しておくこともできます。設定の しかたは、次の「バッテリ残量が少なくなったときの動作の設定」をご覧ください。

りチェック

フロッピーディスクやハードディスクの読み書き中にバッテリ残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、フロッピーディスクやハードディスクのデータが失われたり、壊れたりすることがあります。

バッテリ残量が少なくなったときの動作の設定

バッテリのみで使用している場合、バッテリ残量が少なくなったとき、どのような動 作をさせるかを設定します。設定の手順は次のとおりです。

- 1 コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする
- 2「アラーム」タブをクリックする
- 3 バッテリ残量が少ないとき(バッテリ低下の警告)と、バッテリ残量がわずかなとき(バッテリ消耗の警告)に、それぞれどのような動作をするようにしたいかを設定する 「警告の動作ボタンをクリックすると、動作を選ぶことができます。
- 4「OK」ボタンをクリックする

バッテリリフレッシュ

バッテリリフレッシュは、一時的に低下したバッテリの性能を回復させるときに行 います。次のようなときには、バッテリリフレッシュを実行してください。

バッテリでの駆動時間が短くなった

バッテリを完全に使い切らない状態で充電をくりかえしていると、バッテリの充電 可能容量が目減りして、駆動時間が短くなる場合があります。これをバッテリの「メ モリ効果」と呼びます。

購入直後や、長期間の放置で、バッテリの性能が一時的に低下した

バッテリの残量表示に誤差が生じている

バッテリリフレッシュの実行

- 1 パソコンを使用中の場合は、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で▼を クリックして「終了」を選び、「OK」ボタンをクリックして電源を切る
- 2 バッテリパックを取り付けていない場合は、バッテリパックを本体に取り付ける(p.62)
- 3 パソコンにACアダプタを接続していない場合は、ACアダプタを接続し、電源コードをACコンセントに接続する
- 4 バッテリ充電ランプが点滅している場合は、一度バッテリパックを本体から 外して、再度取り付ける
- 5 バッテリをフル充電(バッテリ充電ランプが消灯した状態)まで充電する
- 6 BIOSセットアップメニューを起動する(p.212)
- 7 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本体から取り外す
- 8 【 】を使って「終了」メニューを選び、【 】を使って「バッテリリフレッシュ」 を選んでから【Enter】を押す
- 9「実行しますか?」と表示されたら、「はい」を選んで【Enter】を押す 次のような画面が表示されます。

Refresh battery program Press Y to start refresh, N to exit <ESC> to shutdown system

10【Y】を押す

次のような画面が表示され、バッテリリフレッシュが始まります。



チェック

- ・バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。
- ・バッテリリフレッシュの所要時間の目安は、標準バッテリ使用時フル充電状態でニッケル水素バッテリの場合は約100分、リチウムイオンバッテリの場合は約3時間です。

バッテリリフレッシュが完了し、バッテリ内の電力がなくなると自動的にパソコン の電源が切れます。

バッテリリフレッシュを中断する

バッテリリフレッシュを中断するときは、次の手順で行ってください。

1 【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押す Windowsが再起動します。

電源スイッチを4秒以上押し続けてもバッテリリフレッシュを中断することがで きます。この場合は、パソコンの電源が切れます。

バッテリパックを交換する

XŦ

交換の目安

フル充電(バッテリを充電してバッテリ充電ランプ(____)が消灯した状態)にして も使用できる時間が短くなったら、バッテリリフレッシュ(p.58 を行ってください。 それでも使用できる時間が回復しないときは、新しいバッテリパックを購入して交換してください。

交換用のバッテリパック

このパソコンに取り付けられる交換用バッテリパックは次の2種類です。

- ・PC-VP-WP34 バッテリパック(ニッケル水素)
- ・PC-VP-WP35 バッテリパック(リチウムイオン)

◆ メモ リチウムイオンバッテリパックを取り付けると、ニッケル水素バッテリパックを取 り付けた場合よりも、バッテリ駆動時間が30%程度長くなります。

バッテリパックの交換のしかた



濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

チェック

- ・バッテリスロットの端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因 となります。
- スタンバイ状態のときにバッテリパックを交換すると、作業中のデータが失われます。電源ランプ(②)が点滅しているときには、一度スタンバイ状態から復帰し、作業中のデータを保存してからWindowsを終了し、パソコンの電源を切ってください。
- ・特に必要でない限り、バッテリパックの取り付けや取り外しをしないでください。 故障の原因になります。

- 1 パソコンを使用中の場合は、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で、 をクリックして「終了」を選び、「OK」ボタンをクリックして電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本体から取り外す
- 3 液晶ディスプレイを閉じて、本体を裏返す
- 4 バッテリパックの横にあるバッテリアンロック(■) を矢印の方向にスライドさせる スライドさせたままの状態で、そのまま次の手順へ進んでください。



5 バッテリパックを矢印の方向に取り外す



6 新しいバッテリパックを端子の位置に注意してバッテリスロットにセットする



7 図の矢印の方向にバッテリパックを倒し込む



省電力機能

省電力機能とは

省電力機能とは、CPUやハードディスク、ディスプレイといった、パソコンの主要 な部分への電力供給を停止することで、本体の消費電力を抑える機能です。また、作業を一時的に中断したいときや、中断した作業をすぐに再開したいときにも 便利な機能です。

このパソコンの省電力機能

このパソコンの省電力機能には、「スタンバイ状態(サスペンド)」、「休止状態(ハ イバネーション)」、「Intel® SpeedStep™テクノロジ」があります。「スタンバイ状 態」と「休止状態」を合わせて「スリープ状態」と呼ぶこともあります。このパソコン での省電力機能の設定は、「コントロールパネル」の「電源の管理」で行います。

スタンバイ状態(サスペンド)

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、消費電力を抑える機能です。スタン パイ状態のことを「サスペンド」と呼ぶこともあります。データはメモリに保存され ているため、すぐに元の状態に戻すことができます。元の状態に戻すことを「復帰 (レジューム)」と呼びます。

● 参照 スタンバイ状態にする「スタンバイ状態(サスペンド)(p.65)

休止状態(ハイバネーション)

作業中のデータをハードディスクに保存し、電源を切る機能です。休止状態のこ とを「ハイバネーション」と呼ぶこともあります。普通に電源を切るのとは異なり、次 に電源を入れるときに、Windowsを起動する操作をせずに、すぐに元の状態に戻 すことができます。元の状態に戻すことを「復帰(レジューム)」と呼びます。 データを保持するための電力を消費しないので、長時間作業を中断するときなど に便利です。

6 参照

休止状態にする 「休止状態(ハイバネーション)(p.68)

Intel[®] SpeedStep[™]テクノロジ 電源の種類によって、動作性能を切り替えることができます。 BIOSセットアップメニューで設定する方法と、Windows Meのコントロールパネ ルで設定する方法の2種類があります。

1 参照

Intel[®] SpeedStep[™]テクノロジの設定をする 「Intel[®] SpeedStep[™]テクノロジ」 (p.70)

省電力機能を使用するときの注意

スタンバイ状態または休止状態を利用できないとき

次のようなときには、スタンバイ状態または休止状態にしないでください。パソコンが正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがあります。

- ・プリンタへ出力中
- ・通信用アプリケーションを実行中
- ・電話回線を使って通信中
- ・音声または動画を再生中
- ・ハードディスク、CD-ROMなどのディスク、フロッピーディスクなどにアクセス中
- ・「システムのプロパティ」画面を表示中
- ・Windowsの起動/終了処理中
- ・スタンバイ状態または休止状態に対応していないアプリケーションを使用中
- ・スタンバイ状態または休止状態に対応していないPCカード、USB対応機器、 IEEE1394対応機器を使用中
- スタンバイ状態または休止状態を使用するときの注意

スタンバイ状態または休止状態にするときは、次のことに注意してください。

- ・スタンバイ状態では、ネットワーク機能が一旦停止します。ネットワークを使用するアプリケーションによっては、スタンバイ状態になった時にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、システム管理者に確認のうえ、スタンバイ状態を使用してください。
- ・バッテリのみで使用している場合は、あらかじめバッテリの残量を確認しておいてください。また、バッテリ駆動時にバッテリ残量が少なくなってきたとき、パソコンをどのような動作にさせるかなどの設定もできます(p.57)。
- ・スタンバイ状態または休止状態への移行中は、各種ディスクやPCカードの入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあります。
- ・スタンバイ状態または休止状態のときに、PCカードを入れ替えるなどの機器構成の変更をすると、スタンバイ状態から正しく復帰できなくなることがあります。
- ・「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックすると表示される「画面のプロパティ」の「スクリーンセーバー」タブで設定できるディスプレイの省電力機能を利用する場合は、スクリーンセーバー機能もあわせて使用してください。スクリーンセーバー機能を使用しない場合、MS-DOSプロンプト使用時に省電力機能は利用できません。
- ・このパソコンにフォトCDをセットしたままスタンバイ状態または休止状態にした 場合、復帰に時間がかかることがあります。

- ・SCSI PCカードを使用している場合、SCSI PCカードと接続されている機器の 組み合わせによってはスタンバイ状態または休止状態から正しく復帰できない 場合があります。このような場合は、スタンバイ状態または休止状態にしないで ください。
- ・フロッピーディスクやCD-ROMをセットしたまま休止状態から復帰すると、正しく復帰できずにフロッピーディスクやCD-ROMから起動してしまうことがあります。休止状態にする場合は、フロッピーディスクやCD-ROMを取り出してから休止状態にしてください。また、フロッピーディスクを使用しているときは、必要なファイルを保存してからフロッピーディスクを取り出してください。

スタンバイ状態または休止状態から復帰するときの注意

スタンバイ状態または休止状態から復帰させるときには、次のことに注意してください。

- ・スタンバイ状態または休止状態にしてからすぐに復帰させたいときは、パソコン に負担がかからないよう、スタンバイ状態または休止状態になった後、約5秒以 上たってから操作してください。
- ・スタンバイ状態または休止状態のときにPCカードの入れ替えや周辺機器の取 り付け/取り外しなどの機器構成の変更をすると、正常に復帰できなくなること があります。
- ・スタンバイ状態または休止状態からの復帰時にパスワードを入力するように設 定してある場合は、パスワード入力画面でパスワードを入力してください。
- ・タイマ、LAN、FAXモデムの自動操作、および液晶ディスプレイを開いてのスタンバイ状態からの復帰を行った場合、本機はスタンバイ状態から復帰していますが、液晶ディスプレイに何も表示されない状態になります。この場合はNXパッドを操作するかキーボードのキーを押すことによって液晶ディスプレイを表示することができます。

スタンバイ状態(サスペンド)

スタンバイ状態にする

購入時の状態では、次のいずれかの方法でスタンバイ状態にすることができます。 スタンバイ状態になると、電源ランプ(⑫)が緑色に点滅します。

「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で をクリックして「スタンバイ」を選び、 「OK」ボタンをクリックする バッテリ駆動時、キーボードやNXパッドからの入力がなくなってから一定時間経 過後、自動的にスタンバイ状態にする

ほかにも、設定を行うことにより次のような方法でスタンバイ状態にすることもできます。

電源スイッチを押す

電源スイッチを押してスタンバイ状態にするには、「コントロールパネル」を開き、 「電源の管理」アイコンをダブルクリックすると表示される「電源の管理のプロパ ティ」の「詳細設定」タブで、「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「スタンバ イ」に設定します。

液晶ディスプレイを閉じる

液晶ディスプレイを閉じたときにスタンバイ状態にするには、「コントロールパネ ル を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックすると表示される「電源の管 理のプロパティ」の「詳細設定」タブで「ポータブル コンピュータを閉じたとき」を 「スタンバイ」に設定します。



- ・ATAカードをセットした状態でスタンバイ状態にすると、スタンバイ状態になるまでに時間がかかる場合があります。
- ・「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックすると表示される 「画面のプロパティ」の「Web」タブで、「Active DesktopにWebコンテンツを表示」が「マになっていると、自動的にスタンバイ状態にできない場合があります。 この場合は、「Active DesktopにWebコンテンツを表示」の左の「マをクリック して」「にしてください。

スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から元の状態に戻すことを「復帰」または「レジューム」といいます。 スタンバイ状態からの復帰は次の方法で行うことができます。

電源スイッチを押す

TX XT

スタンバイ状態にする前の元の状態が表示されます。

液晶ディスプレイを閉じてスタンバイ状態にした場合、液晶ディスプレイを開けることによって復帰することができます。また、タスクスケジューラを使って、時刻を指定してスタンバイ状態から復帰することもできます。タスクスケジューラについて詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

スタンバイ状態の設定をする

「電源設定」で設定をする

「コントロールパネル」の「電源の管理」の「電源設定」では、スタンバイ状態にするまでの時間を変更したり、ACアダプタ駆動時にもスタンバイ状態になるように設定することができます。

また、あらかじめ設定されている電源設定モードを選んでスタンバイ状態にするま での時間を設定することもできます。購入時には「LaVie/VersaPro」のモードに設 定されています。モードは「常にオン」ホーム / オフィス デスク」ポータブル / ラップトップ」 LaVie/VersaPro」の4つのモードがあります。

- **1**「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする 「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
- 2「電源設定」タブをクリックする
- 3「電源設定」欄でモードを選ぶか、または画面の下段でそれぞれの時間を 設定する

電源の管理のプロパティ		<u>? ×</u>
電源設定 アラーム 電源メーター	詳細設定 休止状態	1
ンピュータの使い方には 変更すると、違択された	8も適した電源設定を選打 電源設定も変更されます	Rしてください。下の設定を 。
-電源設定(Q)		
LaVie/VersaPro		
	名前を付けて保存(5) 育明余(<u>D</u>)
LaVie/VersaProの電源の設定 -		
コンピュータ:	電源に接続	() バッテリ使用
モニタの電源を切る(<u>M</u>):	25 分後 💌	2分後 💌
ハード ディスクの電源を切るの:	なし	3 分後 💌
システム スタンバイ(II):	なし・	5分後 💌
システム休止状態(円):	なし 💌	15 分後 👤
	OK ++	でした 道用(品)

項目	説明
モニタの電源を切る	入力が何も行われないまま指定した時間が経過すると、モニ タの電源を切ります。
ハードディスクの 電源を切る	指定した時間ハードディスクへのアクセスがないと、ハード ディスクの電源を切ります。
システム スタンバイ	指定した時間何の入力もなく、またハードディスクへのアクセスがないと、パソコンがスタンバイ状態になり、消費電力を抑えます。
システム休止状態	指定した時間何の入力もなく、またハードディスクへのアク セスがないと、パソコンが休止状態になり、電源が切れます。



4 「適用」ボタンをクリックして、「OK」ボタンをクリックする

新しいモードを作成する

パソコンの利用状態に合わせて、モードを新たに登録することができます。

- **1**「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする 「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
- 2「電源設定」タブをクリックする
- 3「モニタの電源を切る」ハードディスクの電源を切る」システムスタンバイ」システム休止状態」のそれぞれの時間を設定する
- 4 「名前を付けて保存」ボタンをクリックする
- 5 任意の保存名を入力し、「OK」ボタンをクリックする これで、新しいモードが登録されました。
- 6 「適用」ボタンをクリックして、「OK」ボタンをクリックする

休止状態(ハイバネーション)

休止状態にする

次のいずれかの方法で休止状態にすることができます。 休止状態になると、電源ランプ(①)が消灯し、パソコンの電源が切れます。

「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「マをクリックして「休止状態」を選び、 「OK」ボタンをクリックする

バッテリ駆動時、キーボードやNXパッドからの入力がなくなってから一定時間経 過後、自動的に休止状態にする

ほかにも、設定を行うことにより次のいずれかの方法で休止状態にすることができます。

電源スイッチを押す

電源スイッチを押して休止状態にするには、「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックすると表示される「電源の管理のプロパティ」の 「詳細設定」タブで、「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「休止状態」に設定します。

液晶ディスプレイを閉じる

液晶ディスプレイを閉じたときに休止状態にするには、「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックすると表示される「電源の管理のプロ パティ」の「詳細設定」タブで、「ポータブル コンピュータを閉じたとき」を「休止状態」に設定します。

上記の方法で休止状態にするためには、次の「休止状態を利用するための準備」 の手順を行ってください。

休止状態を利用するための準備

電源スイッチを押して休止状態にする

- **1**「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする 「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
- 2「休止状態」タブをクリックする
- **3**「休止状態をサポートする」が✓になっていることを確認する
- 4 「電源の管理のプロパティ」画面で「詳細設定」タブをクリックする
- 5「電源ボタン」欄の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」で「休止状態」 を選ぶ
- **6**「適用」ボタンをクリックして、「OK」ボタンをクリックする

液晶ディスプレイを閉じたときに休止状態にする

- 1 電源スイッチを押して休止状態にする」の手順1~4を行う
- 2「電源ボタン」欄の「ポータブル コンピュータを閉じたとき」で「休止状態」 を選ぶ
- **3** 「適用」ボタンをクリックして、「OK」ボタンをクリックする

- ・ATAカードをセットした状態で休止状態にすると、時間がかかる場合があります。
- 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックすると表示 される「画面のプロパティ」の「Web」タブで、「Active DesktopにWebコン テンツを表示」が「●になっていると、自動的に休止状態にできない場合が あります。この場合は、「Active DesktopにWebコンテンツを表示」の左の
 「●をクリックして」にしてください。

休止状態から復帰する

休止状態から元の状態に戻すことを「復帰」または「レジューム」といいます。休止 状態からの復帰は次の方法で行います。

電源スイッチを押す

XŦ

「Retuning to Windows ...」の表示とともに、作業状況を示す棒グラフが表示され、復帰が完了すると、元の状態(休止状態に入る前)の画面が表示されます。

Intel[®] SpeedStep[™]テクノロジ

Intel[®] SpeedStep[™]テクノロジのセットアップ

Intel[®] SpeedStep[™] テクノロジを使用できるようにするには、次の手順でセット アップを行う必要があります。

- 1 デスクトップ上の濃(SpeedStep)をダブルクリックする
- 2「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 3「ライセンス契約」の内容を読み、内容に同意できる場合には「はい」ボタン をクリックする
- 4「セットアップの完了」画面で、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」 を選んで「完了」ボタンをクリックする

Windowsが自動的に再起動します。

Intel® SpeedStep™テクノロジの設定をする

チェック バッテリ駆動時はクロック周波数が下がります。バッテリ駆動時のクロック周波数 は次のとおりです。 LG10JS:1.0GHz 700MHz LC900J:900MHz 700MHz LC800J, LG80JS:800MHz 650MHz

BIOSセットアップメニューで設定する

BIOSセットアップメニューの「詳細」メニューの「Intel(R) SpeedStep(TM)テ クノロジの設定」で設定できます。

モード	機能
自動	AC電源で駆動中にこのパソコンを使用する場合、 最高性能で動作します。
バッテリ	常にバッテリ最適性能で動作します。
使用しない	本機能が、無効になります。

:購入時の設定

1 参照

「詳細」メニューの設定 PART5の「BIOSセットアップメニュー」

コントロールパネルの「電源の管理」で設定する

- **1**「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする 「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
- **2**「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」タブをクリックする

電源の管理のプロパティ	? ×
電源設定 アラーム 電源メーター 詳細設定 休止状態 Intel(R) SpeedStep(TM) 79/ロジ	: 1
Intel SpeedStep テウノロン'オフ%4ン. IF 電源が変更されたときにハウォーマンスを自動的に変更。] Intel.	
 パフォーマンスを自動的に変更する前に確認。 コンピューがが: パッデリモードの場合 	
パッテガルに合わせたパフォーマンス - (推奨) AC 電源の場合	3
最大ハウォーマンス - (推奨) 現在の設定:最大ハウォーマンス 詳細。]
 	4)

メモ
 インジケータ領域、タスクトレイ)の
 アをダブルクリックしても起動すること
 ができます。

パソコンをバッテリのみで使用するときと、AC電源で使用するときの設定を行います。

バッテリモードの場合

「バッテリに合わせたパフォーマンス」に設定されています。この項目は変更で きません。

AC電源の場合

「バッテリに合わせたパフォーマンス」、またば「最大パフォーマンス」のどちらか を選択できます。

をクリックして選んでください。

X-

- ・「電源が変更されたときにパフォーマンスを自動的に変更」が
 ↓
 になっていると バッテリ駆動からAC駆動に変更した場合、自動的に「AC電源の場合」で設定 した動作に変わります。
- ・「パフォーマンスを自動的に変更する前に確認」が
 が□になっているとバッテリ駆動からAC駆動に変更した場合に、パフォーマンスを自動的に変更するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- ・「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」タブでの設定内容は、このパソコンの 終了時にBIOSセットアップメニューに反映されます。

セキュリティ機能

このパソコンのセキュリティ機能

セキュリティ機能を利用すると、パソコンの不正使用やデータの盗難を防止する ためのパスワードを設定したり、起動に必要なファイルを保護したりすることがで きます。

チェック

セキュリティ機能を使用している場合でも、「絶対に安全」ということはありません。 重要なデータなどの管理や取り扱いには十分注意してください。

パスワードを設定してパソコンの使用者を制限する

パスワードを設定することで、このパソコンの使用者を制限するとともに、不正使 用を防止することができます。パスワードはBIOSセットアップメニューで設定しま す。パスワードを設定することにより、次のような機能を制限することができます。 ・パソコンの起動

・BIOSセットアップメニューの起動と設定変更

チェック

- ・設定したパスワードを忘れないようにしてください。パスワードは再セットアップしても解除できません。パスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。
- ・ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにこのパソコンの修理 を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。

🗋 参照

パスワードを忘れてしまった 『困ったときのQ&A』PART2の「パスワード」

パスワードの種類

設定可能なパスワードには、「スーパバイザパスワード」と「ユーザパスワード」があります。

スーパバイザパスワード

スーパバイザパスワードは、おもに管理者用のパスワードで、管理者以外の不正 な使用や設定の変更を防止したり、このパソコンの使用者を制限するために設定 します。また、使用者の使用できる機能を制限することもできます。 パスワードを設定しておくと、BIOSセットアップメニュー起動時にパスワードの入 力画面が表示され、パスワードを入力しないかぎりBIOSセットアップメニューを起 動できなくなります。

ユーザパスワード

ユーザパスワードは、スーパバイザパスワードが設定されていないと設定できないパスワードです。おもに使用者のためのパスワードで、パスワードを入力しない とパソコンを使用できなくなります。

パスワードを使った管理

たとえば、管理者がスーパバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定し、 通常の利用者にはユーザパスワードのみを通知します。このように設定しておくと、 管理者以外はB10Sセットアップメニューの設定を変更できなくなります。また、ど ちらのパスワードも通知されていない人は、パソコンを起動することもできません。

パスワードを設定する

スーパバイザパスワードとユーザパスワードは、BIOSセットアップメニューで設定 します。パスワードを設定後にBIOSセットアップメニューを起動するときは、設定 したパスワードを入力しなければ、BIOSセットアップメニューを起動することがで きなくなります。

1 BIOSセットアップメニューを起動する(p.212)

- 2「セキュリティ」メニューを選ぶ
- 3 【 】を使って「スーパバイザパスワード設定」または「ユーザパスワード設定」を選ぶ

● チェック スーパバイザパスワードを設定していないと、ユーザパスワードを設定するこ とはできません。

4【Enter】を押す

パスワード設定の画面が表示されます。

5 パスワードを入力する

↓ チェック ニューメリックロックキーランプ(1)が消灯していることを確認し、パスワードの文字列を8文字以内で設定してください。使用できる文字は、半角英字の A ~ Z 大文字 / 小文字の区別はありません と半角数字の0~9だけです。

- 6 [Enter]を押す
- 7 手順5で入力したパスワードを、もう一度入力する
- 8 [Enter]を押す

9 「セットアップ通知」画面が表示されるので、いずれかのキーを押す

10 設定を保存して、BIOSセットアップメニューを終了する

チェック 設定したパスワードを忘れないようにしてください。パスワードは再セットアップして も解除できません。パスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。

パスワードを入力するタイミング

パスワードを設定しておくと、BIOSセットアップメニュー起動時にパスワードを入力するように要求されます。BIOSセットアップメニュー起動時以外にも、次のようなタイミングに設定できます。

パソコンの起動時

パソコンの起動時に常にパスワードを入力するように設定するには、次の手順で 行います。

- **1** BIOSセットアップメニューを起動する(p.212)
- 2「セキュリティ」メニューの「起動時のパスワード」を選ぶ
- 3 使用する」を選ぶ
- 4 BIOSセットアップメニューを終了する

パスワードを入力する

パスワードを設定しているときの電源の入れかた

BIOSセットアップメニューの「セキュリティ」メニューの「起動時のパスワード」が 「使用する」に設定されている場合は、次の手順で電源を入れます。

1 パソコンの電源を入れる 次のようなパスワードを入力する画面が表示されます。



2 設定されているパスワードを入力する

3 [Enter]を押す

正しいパスワードが入力されると、Windowsが起動します。



- ・誤ったパスワードが入力されると、警告が表示されます。パスワードの入力に3回 失敗すると、パスワードが入力できなくなります。このときは、電源スイッチ(()) を押して電源を切ったあと、もう一度手順1からやり直してください。
- ・スーパバイザパスワードとユーザパスワードの両方が設定されている場合、どち らのパスワードでも復帰することができます。
- ・誤ったパスワードが入力されると復帰できません。

その他のセキュリティ機能を使う

ハードディスク起動セクタへのウイルス感染防止

ハードディスクの起動セクタを書き込み禁止に設定できます。起動セクタ部分が 削除されたり、書き換えられたりすると、パソコンを正常に起動することができなく なります。書き込み禁止に設定すると、起動セクタをコンピュータウイルスなどか ら保護できます。

起動セクタへのウイルス感染防止の設定は、BIOSセットアップメニューで行います。

6 参照

ハードディスク起動セクタを保護する PART5の「セキュリティ」メニューの設定 (p.217)

盗難防止用ロック

本体の盗難防止用ロックに別売の「セキュリティケーブル(PK-SC/CA01)を取り付けると、本体の盗難を防止できます。



盗難防止用ロック このPARTの「本体の各部の名称」の「本体背面(p.3)

サウンド機能

音量を調節するには

このパソコンにはスピーカが内蔵されています。スピーカからの再生音量は、本体 の「音量調節つまみ」や、「ボリュームコントロール」を使って調節できます。「ボ リュームコントロール」では再生音量だけでなく、録音時の入力レベルなども調節 できます。

音量調節つまみを使う

音量を上げたいときはつまみを本体の背面側に回し、下げたいときは本体の前面 側に回します。



ボリュームコントロールを使う

ボリュームコントロールでは、内蔵音源の再生音量や録音するときの入力レベル を調節することができます。

ボリュームコントロールを起動する

1「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「エンターテイメント」 「ボリュームコントロール」をクリックする 「Volume Control」画面が表示されます。

Kolume Control オプション(P) ヘルプ	?(H)				<u> </u>	
Volume Control	Wave	SW Synth	CD Player	Line In	PC Beep	
						→ 各音源で、左右の人 ピーカのバランスを調
音量:	音量:	音量:	音量:	音量:	音量:	節できる
「 全ミュート(<u>M</u>) SoundMAX Digital A	□ ミュート(M) udio	<u>□</u> ≷1-⊦(M)	∏ ≷ı-⊦(M)	▼ ≥1-+(M)	<u> </u>	

2 一や二をドラッグして調節する

チェック

ディスプレイの解像度を低解像度に設定しているときにボリュームコントロールを 表示させると、ボリュームコントロールのすべての音源コントロールが表示されな い場合や右端の音源コントロールの表示が一部欠ける場合があります。このよう なときには、ディスプレイの解像度を変更する(p.52 か、または、プロパティ」画 面の「表示するコントロール」欄で、使用しない音源の選択を解除し、必要な音源 コントロールが表示されるように変更してください。なお、ディスプレイの解像度を 変更する場合は、ボリュームコントロールをいったん終了し、解像度を変更後に再 度ボリュームコントロールを起動してください。

表示項目を切り替える

ボリュームコントロールに表示させる項目を切り替えることができます。

 メニューバーの「オプション」「プロパティ」をクリックする 「プロパティ」が表示されます。

プロパティ		? ×
ミキサー デバイス(<u>M</u>):	SoundMAX Digital Audio	•
音量の調整		
 再生 		
C 錄音		
0 その他		V
表示するコントロール :		
Volume Control		<u> </u>
Wave Still Synth		
Stereo Wide		T I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
	ОК	**>\tri

2「再生」録音」のどちらかを C にする 表示項目が切り替わります。

設定項目一覧

項目	再生コントロール	録音コントロール	説明
Volume Control			スピーカから出力されるすべての音量を 調整します。
Wave			WaveなどのPCM音源の音量を調整しま す。
SW Synth			MIDIデバイスとして ^w Microsoft GS Wavetable SW Synth を選択した場合 のMIDIの音量を調整します。
Stereo Wide			3Dエンハンスメントの効果を調整します。3Dエンハンスメントはステレオ音声 に対して効果があります。
CD Player			CD-ROMで再生した音楽CDを再生 / 録音するときの音量を調整します。
Microphone			マイクロフォン端子から入力される音声 をスピーカから出力するとき、または録音 するときの音量を調整します。
Aux			本機では使用できません。
Line In			オーディオ入力端子に接続した機器から 入力される音をスピーカから出力すると き、または録音するときの音量を調整しま す。
PC Beep			PCMCIA、Modemなどからのビープ音の 音量を調整します。
Wave Out Mix			スピーカから出力されるすべての音を録 音するときの音量を調整します。

チェック

そのほかに表示される項目については、このパソコンでは使用できません。

マイクの感度を調整する

- 1 「Volume Control」画面に「Microphone」が表示されていることを確認し、 メニューバーの「オプション」「トーン調整」をクリックする 「Volume Control」画面の「Microphone」の項目に「トーン」ボタンが追加表示されます。
- **2**「トーン」ボタンをクリックする 「Microphoneの詳細設定」画面が表示されます。

・ チェック このパソコンの「Microphoneの詳細設定」画面では、「トーン調整」の設定は できません。

- **3**「+20db Gair(1)」の□をクリックして▼にする マイクの感度が上がります。
- 4 「閉じる」ボタンをクリックする

ビープ音を設定する

キーボードを使ってビープ音のオン / オフの設定ができます。

1 [Fn]+[F6]を押す キーを押すごとに、ビープ音のオン / オフを切り替えることができます。

光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力機能について

このパソコンには、ヘッドホン / オーディオ / 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出 力端子が用意されており、光デジタル入力を持ったオーディオ機器に接続して音 を聞いたり、オーディオ機器にデジタル録音できます。



光デジタル入力端子を持つオーディオ機器として、MDデッキやAVアンプなどがあります。

ヘッドホン / オーディオ / 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子からは、 WAVE出力、MIDI出力、音楽CDなどのデジタル再生音のみを出力することがで きます。

初期状態では、光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力機能はオフになっています。 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力機能を使う場合は、次のように設定してくだ さい。

- **1**「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 2「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の左の<</p>
- **3**「SoundMAX Integrated Digital Audio」をクリックし、「プロパティ」ボタン をクリックする

4 Settings タブをクリックする

5 「AC-3 or PCM Audio」をクリックする

6「OK」ボタンをクリックする

7「OK」ボタンをクリックする

これで、光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力機能を使えるようになりました。

音楽CDのデジタル出力設定

音楽CDからのデジタル出力を、ヘッドホン / オーディオ / 光デジタルオーディオ (S/PDIF)出力端子から光デジタルで出力する場合は、次の手順で設定を変更してください。

- 1 コントロールパネルを開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」の左の手をクリックする
- 3 表示されるCD-ROMデバイスをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック する
- 4「プロパティ」タブの「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」の■をクリックして▼にする
- 5「OK」ボタンをクリックする
- 6「OK」ボタンをクリックする



このパソコンは、FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)を内蔵しており、パ ソコンで再生した音楽をFM電波で送信することができます。 お持ちのラジカセやオーディオコンポなどを利用して、パソコンに保存した MP3のデータや音楽CDのデータをワイヤレスで楽しむことができます。

FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)をオンにする

FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)機能をオンにしてFM電波を送信するには、次のように操作してください。

- 1 ワイヤレスランプ(・・・)が点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を押す ワイヤレスランプが点灯します。
- 2【FMトランスミッタ】ボタン(斎)を押す



設定した周波数帯で電波が発信されます。

3 FMチューナー内蔵のAV機器で、FMラジオを受信できる状態にする

- 4 AV機器のラジオの周波数をパソコンで設定した周波数に合わせる
- 5 パソコンで音楽データを再生する

パソコンで再生した音楽がAV機器から出力されます。

参照
 音楽の再生について PART3の「音楽の再生 / 編集機能 (p.114)

チェック

- ・本製品は電波法で定められている微弱電波局規定に準拠した製品です。
- ・このパソコンのFMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)から出力される FM電波到達距離は5mですが、使用環境によっては、外来ノイズの影響を 受け、再生音にノイズがのったり、FM電波の到達距離が短くなる場合があ ります。

 メモ
 ・FMトランスミッダ(ワイヤレスオーディオ)機能をオンにしている場合、パソ コンの内蔵スピーカからも同時に音声が出力されます。

FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)をオフにする

FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)機能をオフにしてFM電波の送信を止めるには、次のように操作してください。

1 パソコンの【FMトランスミッタ】ボタン(斎)を押す



電波の発信が止まります。

周波数を変えるには

ご購入時の状態では、周波数は88.0MHzに設定されています。 FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)の周波数を変えるには、以下の設定が 必要です。

- 1 ワイヤレスランプ(・・。)が点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を押す ワイヤレスランプが点灯します。
- **2**「スタート」ボタン 「プログラム」「ワイヤレスオーディオ」「ワイヤレス オーディオ ユーティリティ」をクリックする 「ワイヤレスオーディオ ユーティリティ」画面が起動します。
- 3 使用する周波数帯の左の○をクリックして○にする

🗩 xt 周波数は、7種類の中から選ぶことができます。

4「ワイヤレスオーディオ ユーティリティ」画面の「ワイヤレスオーディオの開始 / 停止」ボタンが (オン)になっていることを確認し、「○K」ボタンをクリックする これで設定が完了しました。

チェック 「ワイヤレスオーディオ ユーティリティ」画面が表示されている場合は、p.83 の操作でFMトランスミッダ、ワイヤレスオーディオ をオンにすることはできま せん。あらかじめ「ワイヤレスオーディオ ユーティリティ」画面を閉じておいて ください。

Axt

FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)機能は、「ワイヤレスオーディオ ユーティリティ」画面でオン / オフを切り替えることもできます。「ワイヤレ スオーディオの開始 / 停止」ボタンをクリックして (オン)と(オフ)を切 り替え、「適用」ボタンをクリックしてください。



通信機能

このパソコンを、一般の電話回線、携帯電話、PHS などに接続して使う方法を説明します。

モデム

内蔵のモデムを利用する

内蔵モデムと電話回線を接続すると「インターネットに接続する」メールの送受信をする」FAXの送受信をする」などができるようになります。

電話回線に接続するときは

使用する電話回線の種類によってはすぐに接続できない場合があります。

電話回線の種類	対処方法
モジュラージャック方式	このパソコンに付属しているモジュラーケーブルを使って接続してください。
3ピンプラグ式コンセント	そのままでは接続できません。市販の3ピンプラグ変換アダプタを使用するか、NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。
直結配線方式	そのままでは接続できません。モジュラージャックに変更す る必要があります。NTTにモジュラージャックの取り付けをご 相談ください。

電話回線に接続する

このパソコンと電話回線とを接続するときは、添付のモジュラーケーブルを使用 して、本体の電話回線用モジュラーコネクタと電話回線を接続してください。 接続について詳しくは、『はじめにお読みください』をご覧ください。

参照

電話回線に接続する 『はじめにお読みください』の「インターネットに接続しよう」

🗩 xə

このパソコンに付属のモジュラーケーブルの長さが足りないときには、十分な長 さの市販のモジュラーケーブルを購入してください。

チェック

内蔵のFAXモデムは、加入電話回線に適合するように設計されています。加入電話回線以外と接続すると、うまく動作しないことや、内蔵FAXモデムやパソコン本体などを破損するおそれがあります。

1つの電話回線のモジュラージャックをパソコン以外の機器(たとえば電話機な ど)と共用する場合は、機器を使用するごとにケーブルの接続や取り外しが必要に なります。パソコンと電話機などを両方とも電話回線に接続したままにしたいとき は、次の「1つの電話回線にパソコンと電話機の両方を接続する。をご覧ください。

接続先を設定する

プロバイダなどへの接続先をモデムを使用した接続設定にするときは、「ダイヤル アップネットワーク」で「新しい接続」を作成するときに、「モデムの選択」で 「Lucent Technologies Soft Modem AMR」を選んでください。

1つの電話回線にパソコンと電話機の両方を接続する

電話回線のモジュラージャックが1つの場合、パソコンで通信している間は、電話 機のモジュラーケーブルの接続を取り外す必要があります。電話機のモジュラー ケーブルを取り外したくない場合は、市販の分岐アダプタを利用することができ ます。

⚠警告



雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の 接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがありま す。

⚠注意



モジュラージャックの端子に触れないでください。電話回線と接続してい るモジュラージャックを抜いたときに電話がかかってくると、電話回線上 に電圧がかかるため、端子に触れると感電することがあります。

1 分岐アダプタをモジュラージャックに接続する



- 2 モジュラーケーブルを、分岐アダプタの一方と内蔵モデムのモジュラージャックに接続する
- 3 電話機と分岐アダプタのもう一方のモジュラージャックを接続する



- ・分岐アダプタを使用しても、パソコンと電話機が同時に電話回線を使用することはできません。
- ・パソコンで通信中は、電話機の受話器を外さないでください。通信が妨害 され、切断されることがあります。

✓ メモ 分岐アダプタの2つのモジュラージャックは同じものです。電話機とパソコ ンのどちらも接続可能です。

内蔵モデム使用上の注意

- ・このパソコンでは、データ通信、ファクシミリ通信、インターネット通信の各機能 が使えますが、これらの機能は添付のアプリケーション以外では動作しない場 合があります。これらの機能の詳しい使用方法については「サポートセンタ」を ご覧ください。
- ・内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
- ・構内交換機(PBX)の種類によっては、内蔵FAXモデムが使用できない場合が あります。
- ・加入電話回線がトーン式かパルス式かわからないときは、NTTに確認してください。
- ・回線の状態によっては、接続しにくかったり、通信時に雑音が入ることがあります。
- ・キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。
- ・ダイヤルアップネットワーク接続の場合、Internet Explorerを終了しても回線 が接続されたままになっている場合があります。回線を切断する必要がある場 合は、インジケータ領域、タスクトレイ)の「ダイヤルアップネットワーク」アイコ ンを右クリックし、表示されたメニューから「切断」をクリックしてください。
- ・コードレスホンや親子電話などの加入電話回線以外の回線を使っている場合 は、正常なデータの送受信ができなくなる場合があります。
- ・回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できない場合があります。
- ・電話局の交換機の種類によっては、14400bpsでのファクシミリ通信ができないことがあります。この場合には、通信速度を9600bpsにしてください。
- ・データ通信を行う場合、フロー制御はRTS/CTSに設定してください。それ以外 に設定すると、データ抜けが生じる可能性があります。
- ・通常の電話回線を使用する場合、送信レベルは購入時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合には、送信レベルの調整が必要なことがあります。送信レベルの調整は、工事担任者以外が行うことは法律で禁じられていますので、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。
- ・このパソコンに内蔵されているモデムは、海外では使用できません。
- ・回線を使って通信中は、スタンバイ状態や休止状態にしないでください。

- ・ハイパーターミナルなどを使って通信する場合、ATコマンドが必要です。
- ・内蔵FAXモデムで通信を行う場合は、使用していないアプリケーションを終了 してください。

🚺 参照

ATコマンドについて 「サポートセンタ」-「ハードウェア情報」-「ATコマンド一覧」

インターネットへの通信環境を切り替える

このパソコンに添付されている「インターネット設定切替ツールを使うと、複数の ダイヤルアップ接続を使い分けたり、ダイヤルアップ接続からLAN接続へ切り替 えたりと、利用シーンに応じて通信環境を切り替えることができます。 パソコンを携帯して、外出先でインターネットを利用するときなどに便利な機能です。



「インターネット設定切替ツール」の詳しい使いかた 「添付ソフトの使い方」-「インター ネット設定切替ツール」

携帯電話 / PHS 接続機能

携帯電話またはPHSと接続する

このパソコンに携帯電話やPHSを接続して、屋外でもインターネットや電子メールを利用することができます。 このパソコンに携帯電話やPHSを接続する場合には、次のような別売の携帯電話接続ケーブルやPHS接続ケーブルが必要です(LaVie Gシリーズで、それぞれのケーブル添付のモデルを購入された場合を除く)。

- ・携帯電話(DoPa/PDC)接続ケーブル(PC-VP-WK05)
- ・cdmaOne接続ケーブル(PC-VP-WK06)
- ・PHS(NTTドコモ / アステル)接続ケーブル(PC-VP-WK07)
- ・PHS(DDIポケット)接続ケーブル(PC-VP-WK08)

◆ メモ 接続できる携帯電話またはPHSについては、NECのホームページ 「121ware.com(ワントゥワンウェアドットコム)」をご覧ください。 http://121ware.com/

接続の方法

このパソコンに携帯電話またはPHSを接続する方法は、次のとおりです。


1 携帯電話接続ケーブルまたはPHS接続ケーブルのプラグを、携帯電話またはPHS本体に接続する プラグの向きに注意し、カチッと音がして止まるまで軽く押し込んでください。



2 パソコンのUSBコネクタ(←)に、接続ケーブルのプラグを接続する プラグの向きに注意して、止まるまで軽く押し込んでください。



携帯電話 / PHS接続機能を使用するときの注意

- ・このパソコンの携帯電話 / PHS接続機能で使用できるアプリケーションは、購入時にインストールまたは添付されているもののみです。携帯電話またはPHS 用に市販されているアプリケーションを使用することはできません。
- ・ハイパーターミナルなどを使って通信する場合、ATコマンドが必要です。



ATコマンドについて 「サポートセンタ」-「ハードウェア情報」-「ATコマンド一覧」

接続先を設定する

プロバイダなどへの接続先を、携帯電話またはPHSを使用した接続設定にする ときは、「ダイヤルアップネットワーク」で「新しい接続」を作成するときに、「モデム の選択」で「SunComm MultiMobile3 USB」を選んでください。



お使いの携帯電話またはPHSによっては、電話機側に設定が必要な場合や専用 のアクセスポイントへの接続が必要な場合があります。詳しくは、携帯電話または PHSのマニュアルをご覧ください。また専用のアクセスポイントについては、イン ターネットのサービスプロバイダにお問い合わせください。

ダイヤル設定のしかた

携帯電話またはPHSを接続して、屋外などでインターネットや電子メールをご利用 になる場合、近くのアクセスポイントを使えば電話料金を節約することができます。



ここでの説明は、すでにプロバイダとの契約が終わっていることが前提となって います。

このパソコンには、「インターネット設定切替ツール」が添付されていますので、モ バイルする場所にあわせて最適な設定へ簡単に切り替えることができます。 購入時の状態では、「インターネット設定切替ツール」はインストールされていませ ん。「インターネット設定切替ツール」を使う場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしてください。

参照

「インターネット設定切替ツール」のインストール方法 「サポートセンタ」-「アプリケーションの追加と削除」

「インターネット設定切替ツール」でアクセスポイントなどの設定を切り替えるに は、まず自分が使用する予定の場所の市外局番やダイヤル方法、アクセスポイ ントを設定しておく必要があります。

ー度設定すると、接続先を選ぶだけでインターネットエクスプローラやメールソフト の設定など、インターネットへの接続環境をすべて同時に変更することができます。 外出先でも快適に利用するために、以降の説明を読んで必要な設定を行ってく ださい。

外出先に最も近いアクセスポイントをあらかじめ調べておく

「インターネット設定切替ツール」でアクセスポイントを登録する

外出先に最も近いアクセスポイントを設定します。
BIGLOBE会員の方は、「BIGLOBEかんたん接続ナビ」で最も近いアクセ
スポイントを設定することができます。

「インターネット設定切替ツール」で接続先を切り替える

これで外出先でインターネットやメールを楽しむことができます。



- アクセスポイントを変更しなくてもインターネットやメールを楽しむことはできますが、アクセスポイントまでの電話料金がたくさんかかることになります。最も近いアクセスポイントに変更することによって電話料金をおさえることができます。
- ・「BIGLOBEかんたん接続ナビ」でアクセスポイントを変更する 「添付ソフトの 使い方」-「インターネットするならBIGLOBE」

🗋 参照

「インターネット設定切替ツール」の詳しい使いかた 「添付ソフトの使い方」-「インター ネット設定切替ツール」をご覧ください。 設定を元に戻す

外出先でインターネットやメールを楽しんだあとは、変更した設定を元に戻す必要 があります。

外出時にインターネット接続に関する設定を変更しなかった場合は、そのままイン ターネットやメールを楽しめます。

インターネット接続の設定を元に戻す 「インターネット設定切替ツール」でインターネット接続の設定を自宅の設 定に戻します。

自宅のインターネット接続の設定を「インターネット設定切替ツール」に登録して いない場合は、p.95のフローチャートを参考にして、「インターネット設定切替ツー ル」に自宅でのインターネット接続の設定を登録してください。



「インターネット設定切替ツール」の詳しい使いかた 「添付ソフトの使い方」-「インター ネット設定切替ツール」

いろいろなデータ通信を行う

このパソコンの携帯電話 / PHS接続機能では、通常のデータ通信のほかに、次のようなデータ通信を行うことができます。

cdmaOneでデータ通信を行う

cdma0ne電話機のデータ通信モードを「Async」に設定して、接続すると cdma0neでデータ通信が利用できます。

cdmaOne電話機のデータ通信モードを「Packet」に設定してUSBコネクタに接続すると、cdmaOneでPacket通信が利用できます。「Async」モードおよび「Packet」モードの切り替えは、cdmaOneの取扱説明書をご覧ください。

チェック

cdmaOneを使用するには、別売のcdmaOne接続ケーブル(PC-VP-WKO6)が必要です(LaVie GシリーズのcdmaOne接続ケーブル添付のモデルを購入された場合を除く)。

NTTドコモのDoPaサービスでデータ通信を行う

次の手順を行うとNTTドコモのDoPaサービス(パケット通信サービス)を利用できます。

チェック NTTドコモのDoPaサービスを使用するには、別売の携帯電話(DoPa/PDC)接続 ケーブル(PC-VP-WK05)が必要です(LaVie Gシリーズの携帯電話(DoPa/PDC)接続ケーブル添付のモデルを購入された場合を除く)。

- 1 NTTドコモのDoPaサービスが利用可能な携帯電話を、携帯電話(DoPa/ PDC) 接続ケーブルを使ってパソコンのUSBコネクタに接続する
- 2「ダイヤルアップの接続」画面で、電話番号の最後に「##02」を追加する



- ・DoPaによる通信をする場合には、DoPa対応のアクセスポイントに接続す る必要があります。
- DoPaサービスを利用せずに9600bpsデータ通信を行う場合、「##02 を追加する必要はありません。

NTTドコモのドッチーモでPIAFS32Kのデータ通信を行う

次の手順を行うとNTTドコモのドッチーモでPIAFS32Kの通信が利用できます。

チェック

NTTドコモのドッチーモでPIAFS32Kのデータ通信を使用するには、別売の携帯 電話(DoPa/PDC)接続ケーブル(PC-VP-WK05)が必要です(LaVie Gシリーズ の携帯電話(DoPa/PDC)接続ケーブル添付のモデルを購入された場合を除く)

- **1** ドッチーモを、携帯電話 DoPa/PDC)接続ケーブルを使ってパソコンの USBコネクタに接続する
- 2「ダイヤルアップの接続」画面で、電話番号の最後に「##3」を追加する



- ・ドッチーモでPIAFS32K通信を行う場合には、ドッチーモの待ち受けモードを「PHS専用」に切り替える必要があります。
- ・NTTドコモ、アステル、DDIポケットのPHSをお使いの場合、「##3」を追加 する必要はありません。

NTTドコモのPHS(64K対応)またはドッチーモでPIAFS64Kのデータ通信を行う 次の手順を行うとNTTドコモのPHS(64K対応)またはドッチーモでPIAFS64Kの 通信が利用できます。



- ・NTTドコモのPHSを使用するには、別売のPHS(NTTドコモ / アステル)接続 ケーブル(PC-VP-WK07)が必要です(LaVie GシリーズのPHS(NTTドコモ / アステル)接続ケーブル添付のモデルを購入された場合を除く)。
- NTTドコモのドッチーモでPIAFS64Kのデータ通信を使用するには、別売の携帯電話(DoPa/PDC)接続ケーブル(PC-VP-WK05)が必要です(LaVie Gシリーズの携帯電話(DoPa/PDC)接続ケーブル添付のモデルを購入された場合を除く)。
- 1 NTTドコモのPHS(64K対応)またはドッチーモを、接続ケーブルを使って パソコンのUSBコネクタに接続する
- 2「ダイヤルアップの接続」画面で、電話番号の最後に「##4」を追加する



- ・ドッチーモでPIAFS64K通信を行う場合には、ドッチーモの待ち受けモードを「PHS専用」に切り替える必要があります。
- PIAFS64K通信モードで、PIAFS32K専用のアクセスポイントへあやまっ て接続した場合、いったん接続した後で切断されることがあります。
 PIAFS64Kで通信を行う場合は、必ずPIAFS64K対応のアクセスポイント に接続してください。

DDIポケットの電話機(32K対応)でPIAFS32Kのデータ通信を行う

チェック

DDIポケットの電話機を使用するには、PHS(DDIポケット)接続ケーブル(PC-VP-WK08)が必要です(LaVie GシリーズのPHS(DDIポケット)接続ケーブル添 付のモデルを購入された場合を除く)。

- 1 DDIポケットの電話機(32K対応)を接続ケーブルを使ってパソコンのUSB コネクタに接続する
- 2「ダイヤルアップの接続」画面で、電話番号の最後に「##3」を追加する



DDIポケットの電話機を使ってPIAFS32Kデータ通信を行う場合には、 PIAFSに対応したアクセスポイントに接続する必要があります。 DDIポケットのH"(エッジ)でPIAFS64Kのデータ通信を行う

チェック DDIポケットのH"を使用するには、PHS(DDIポケット)接続ケーブル(PC-VP-WK08)が必要です(LaVie GシリーズのPHS(DDIポケット)接続ケーブル添付 のモデルを購入された場合を除く)。

1 H"(電話機)を接続ケーブルを使ってパソコンのUSBコネクタに接続する

2「ダイヤルアップの接続」画面で、電話番号の最後に「##4」を追加する



- ・電話番号の最後に「##4」を追加せずに発信すると32Kbpsでの接続になります。
- ・一部の地域では64Kbpsでのデータ通信ができない場合がありますが、 32Kbpsでのデータ通信は可能です。
- ・回線の混雑具合により、32Kbpsで接続される場合があります。

携帯電話連携機能

携帯電話連携機能とは

このパソコンには、携帯電話をより便利に使うためのアプリケーションがインス トールされています。携帯電話に登録してある情報を編集したり、パソコンで入力 した予定表や連絡先、パソコンで作成した画像などのデータを、iモード機能を備 えている携帯電話で閲覧することができます。

携帯電話に登録してある情報を編集する

このパソコンと携帯電話を接続して、携帯電話に登録してある電話番号や連絡 先などの情報をパソコン上で編集することができます。編集作業にば 携快電話 4N」を使います。また、携快電話4Nでは、着信メロディやメールの編集に利用す ることもできます。

携快電話4Nを使う

携快電話4Nを使うためには、次の装置が必要です。

市販の携帯電話

携帯電話接続ケーブル

このパソコンと携帯電話を接続するためのケーブルです。

LaVie Gシリーズの携帯電話 DoPa/PDC)接続ケーブル添付のモデル、LaVie GシリーズのcdmaOne接続ケーブル添付のモデルには携帯電話接続ケーブルが添付されています。

上記以外のモデルをお使いの場合は、別売の携帯電話(DoPa/PDC)接続ケー ブル(PC-VP-WK05)またはcdma0ne接続ケーブル(PC-VP-WK06)が必要で す。携帯電話の機種によって接続できるケーブルが異なりますので、購入の際に 確認してください。

携快電話4Nが使える携帯電話の機種、注意事項などの情報は、NECのホーム ページ「121ware.com(ワントゥワンウェア ドット コム)」やReadmeファイルを ご覧ください。

- ・ホームページのアドレス http://121ware.com/
- ・「スタート」ボタン 「プログラム」「携快電話4N」「お読みください」をク リックすると表示される携快電話4NのReadmeファイル

6 参照

携快電話4Nの詳しい使いかた 携快電話4Nのヘルプまたは「添付ソフトの使い方」-「携快電話4N」

iモード機能を備えている携帯電話と連携して使う

予定表や連絡先をホームページ上で入力したり、作成した画像データなどをあら かじめホームページに登録しておき、そのデータをiモード機能を備えている携帯 電話を使って閲覧することができます。 携帯電話でデータを閲覧できるようにするためには、次の装置が必要です。

iモード機能を備えた市販の携帯電話

携帯電話でデータを閲覧するには

次の図のような流れでデータを登録し、携帯電話で閲覧します。

自分のホームページを使用する場合



NEC PCオーナーズスケジューラを使用する場合



インターネットに接続できる環境にする

プロバイダに入会してインターネットに接続できるように設定しておきます。

🗋 参照

インターネットに接続する 『はじめにお読みください』の「インターネットに接続しよう」 または『使っておぼえるパソコンの基本』または「添付ソフトの使い方」-「インターネット をはじめたい」

閲覧したいデータを置いておく場所を確保する 携帯電話から閲覧したいデータを置いておく場所を確保するには、自分のホーム ページスペースを確保しておく方法と、NEC PCオーナーズスケジューラを利用 する方法があります。

・自分のホームページスペースを開設する FTPプロトコル(インターネット上でファイル転送するための規格)に対応した、 インターネットに公開可能なホームページスペースを開設しておきます。 ホームページの開設方法は、各プロバイダに確認してください。

×±

ここでいうホームページスペースとは、プロバイダに入会して開設した個人ホームページのことです。開設した個人ホームページに自分の予定表や好きな画像などのデータを登録し、携帯電話からその場所を閲覧します。

 NEC PCオーナーズスケジューラに登録する
 NEC PCオーナーズスケジューラは、予定表、アドレス帳などの情報をインター ネット上でまとめて管理するためのホームページです。
 NEC PCオーナーズスケジューラの基本サービスへの登録は無料です。

NEC PCオーナーズスケジューラのURL http://www.biglobe.ne.jp/nec_pc/imodel/schedule/



LAN(ローカルエリアネットワーク)

ここでは、LANカード添付モデル/LAN内蔵モデルについての説明をしています。

LANへの接続

このパソコンのLANインターフェイスでは、100BASE-TXまたは10BASE-Tネットワークシステムに接続することができます。

- × -

100BASE-TXは、従来のEthernet(10BASE-T)の環境で転送速度100Mbpsを 実現したネットワークです。従来のネットワーク構成を変更せずに既存のハプや リンクケーブルを変更するだけで、高速化がはかれます。このパソコンは、どち らの環境にも接続することができます。

LANの設置

はじめて100BASE-TXネットワークを設置するためには、配線工事などの技術が 必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせくださ い。また、このパソコンに接続するケーブル類やハブなどは、弊社製品を使用して ください。他社製品を使用し、システムに異常が発生した場合の責任は負いかね ますので、ご了承ください。

接続方法

既存のネットワークに、端末としてこのパソコンを接続する場合について説明します。

ネットワークへの接続には、リンクケーブルが必要です。 このパソコンのLANインターフェイスは、100Mbpsで動作する100BASE-TX基 準を満たしています。100BASE-TX(100Mbps)で使用するときには、必ずカテゴ リ5のリンクケーブルを使用してください。10BASE-T(10Mbps)で使用するときに は、カテゴリ3または5のリンクケーブルを使用してください。

チェック

このパソコンを稼働中のLANに接続するには、システム管理者またはネットワーク管理者の指示にしたがって、ネットワークの設定やリンクケーブルの接続を行ってください。

- 1 パソコンを使用中の場合は、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で▼を クリックして「終了」を選び、「OK」ボタンをクリックして電源を切る
- **2** リンクケーブルの一端を、このパソコンのLAN用モジュラーコネクタに、奥までしっかり差し込む



3 リンクケーブルのもう一方を、ネットワーク(100BASE-TXハブなど)に接続

する ネットワーク側の接続や設定については、接続した機器のマニュアルをご覧ください。

LANカード添付モデルの場合

添付の『LaVie(LANカード添付モデルをご購入のお客様へ」をご覧ください。

運用上の注意

LANに接続してこのパソコンを使用するときは、次の点に注意してください。

- ・システム運用中は、ハブからリンクケーブルを外さないでください。ネットワークが切断されます。ネットワーク接続中にリンクケーブルが外れたときは、すぐに接続することで復旧し、使用できる場合もありますが、使用できない場合は、このパソコンを再起動してください。
- ・LAN回線を接続してネットワーク通信をするときには、このパソコンにACアダプ タを接続して使用するようにしてください。バッテリパックのみで使用すると、使 用時間が短くなります。
- ・ネットワーク(LAN)に接続して通信状態のときは、スタンバイ状態や休止状態 にしないでください。このパソコンが正常に動かなくなることがあります。
- ・100BASE-TX/10BASE-Tシステムの保守については、ご購入元または当社指 定のサービス窓口にお問い合わせください。

電源回復(スタンバイ状態からの復帰)の設定(LAN内蔵モデルのみ)

次の設定を行うと、このパソコンをネットワークに接続して使用している場合、電源回復イベントが発生したときに、パソコンをスタンバイ状態から自動的に復帰 させることができます。

🔊 ×=-

電源回復イベントには、従来からサポートされているMagicPacket検出に加えて、電源回復フレーム検出(例えば、ARPリクエスト、NETBIOS名検索、コン ピュータに直接送られてきたIPフレームなどの検出)が追加されています。

ARPリクエスト、NETBIOS名検索、コンピュータに直接送られてきたIPフレーム などは、コンピュータをネットワークに接続して使用していると、他のコンピュー タから不定期に送られてくるため、パソコンをスタンバイ状態にしておくと、これ らが検出されたときに、不定期にスタンバイから復帰することがあります。

チェック

電源回復イベントの設定を行った場合は、購入時の設定で使う場合にくらべて、パ ソコンのバッテリの消費量が大きくなります。バッテリ駆動時間を優先してパソコ ンを使いたい場合は、電源設定は行わずに出荷時の設定で使用してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- **2**「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 3「ネットワークアダプタ」の左の∃をクリックして、表示されたLANアダプタ をダブルクリックする
- 4「電源の管理」タブをクリックする

5 以下の設定を行う

 ・「節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるように する」が▼になっていることを確認する

・「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」の
 しゅクして
 しょうして

ユニバーサル管理アドレス(MACアドレス)

ユニバーサル管理アドレスは、IEEE(米国電気電子技術者協会)で管理されて いるアドレスで、主に他のネットワークに接続するときなどに使用します。ユニバー サル管理アドレスは、次の方法で確認することができます。

MS-DOSプロンプトで、次のコマンドを入力してください(ただし、TCP/IPプロトコ ルが必要です)。 Winipcfa.exe[Enter]

CATVでインターネットを利用する

このパソコンのLANインターフェイスから、CATVインターネットを利用することが できます。

CATVインターネットとは

CATVインターネットは、CATVのケーブルを利用したインターネット接続サービスです。

約500Kbps ~ 約10Mbps(モデムの約10 ~ 100倍)の高速な接続が可能です。また、電話回線を利用しないため、電話料金がかかりません(ただしCATVインター ネットのサービス会社への接続料金はかかります)。

~メモ―

データの転送速度は、CATVインターネットのサービス会社によって異なります。 また、データの転送速度は、回線の混雑の状況、データを転送する状況(アップ ロード時か、ダウンロード時か)によって変化することがあります。

CATVインターネットを利用するには

CATVインターネットを利用するには、CATVインターネットのサービス会社(最寄 リのCATV局)と契約が必要です。最寄りのCATV局に、インターネットの接続サー ビスを行っているか、確認してください。

CATVインターネットへの接続方法や設定方法については、CATVインターネットのサービス会社に確認してください。

CATVインターネットのサービス会社によっては、ユニバーサル管理アドレス(MAC アドレス)が必要になります。ユニバーサル管理アドレス(MACアドレス)について は、前述の「ユニバーサル管理アドレス(MACアドレス)をご覧ください。

ワイヤレスLAN

ここでは、ワイヤレスLANモデルについての説明をしています。 ワイヤレスLAN機能を使うと、次のようなことができます。

- ・他のパソコンとのファイルやプリンタの共有
- ・無線LANネットワークの構築

ワイヤレスLANについて詳しくは『ワイヤレスLAN(無線LAN)について』をご覧ください。

Bluetooth[™]機能

ここでは、Bluetooth™モデルについての説明をしています。 Bluetooth™機能を使うと、次のようなことができます。

- ・他のBluetooth™対応パソコンとのワイヤレス通信
- ・Bluetooth™対応周辺機器とのワイヤレス通信

Bluetooth™について詳しくは『Bluetooth™について」をご覧ください。

ADSLについて

ADSLの特長

ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Ling(非対称デジタル加入者回線)))とは、ご家庭にある一般の電話回線(アナログ回線)を使って、インターネットに高速で接続できるようにする技術です。ADSLには次のような利点があるため、普及が大いに見込まれています。

- ・ご家庭にある一般の電話回線(アナログ電話回線)で利用できる(専用の回線 が不要)
- ・アナログモデムやISDN回線(INSネット64)の約10倍~20倍のスピード²で接続できる
- ・インターネットに常時接続でき、定額料金のため、いつでも好きなだけ利用できる³
- ・一つの回線で電話とインターネットを同時に利用できる(「電話共用タイプ」の場合)⁴
 - 1 下り方向(インターネットからパソコンへデータをダウンロードする)の速度と、上り方向(パソコンからインターネットへデータをアップロードする)の速度が違うためこう呼ばれます。
 - 2 下り方向の最高速度は1.5Mbps、上り方向の最高速度は512Kbpsとなります。この速度は最大速度(最大回線速度)であり、実際の接続速度を保証するものではありません。回線の状況によっては、最大速度に達しない場合があります。
 - 3 プロバイダ、ADSL回線接続業者とのご契約形態によります。
 - 4 ADSL回線使用中、FAXモデムボードにモジュラーケーブルを接続して、ダイヤルアップ接続をすることはできません。



ADSLを利用するにあたって

ADSLを利用するためには、ご利用の地域がADSLサービスの提供区域内である ことを確認してください。 また、ADSLの利用には、別売のADSLモデムが必要です。

ADSLについては、以下のホームページの情報をご覧ください。

http://www.biglobe.ne.jp/service/adsl/



マルチメディア機能

このパソコンで、音楽や映像の再生や編集を行う 方法を説明します。



音楽を再生するには

このパソコンで音楽CDや音楽データを再生するには次のような方法があります。 CDプレイモードで音楽CDを再生する(p.116)

✓ メモ CDプレイモードとは、電源が入っていない状態、またはスタンバイ状態や休止 状態のときに、パソコンをオーディオ機器としてのみ使用するためのモードで す。パソコンの電源が入っていない、またはスタンバイ状態や休止状態のとき に、オーディオ電源スイッチを操作することによりCDプレイモードになります。

Windows Meを起動して音楽CDや音楽データを再生する(p.117) ・Jet-Audio Playerを使う

音楽を再生するときに便利なボタン

CD/DVDプレーヤボタンを使って音楽CDの操作ができます。



オーディオ電源スイッチ

スイッチを押すとCDプレイモードが起動します。CDプレイモードを終了するときは、スイッチをもう一度押します。

✓ メモ パソコンの電源が入っているときはCDプレイモードにはなりません。

LCDインジケータ

LCDインジケータには次のような内容が表示されます。

状態	表示内容
再生中	現在のトラックナンバー(曲番)
一時停止中	現在のトラックナンバー(曲番)が点滅
停止時	1
ディスクが入っていない / 音楽CD以外のディスクが セットされている	
スリープモード(節電モード)	S P

▼ ×モ LCDインジケータは、トラックナンバー以外はCDプレイモードでのみ表示され ます。

CD/DVDプレーヤボタン

CD/DVDプレーヤボタンには次の機能があります。

ボタン	機能
44	前のトラックへ戻る 押し続けると巻き戻し
	次のトラックへ進む 押し続けると早送り
	停止
►II	再生 / 一時停止

チェック

- ・Windows Meが起動している場合、CD/DVDプレーヤボタンは、このパソコン にインストールされている「Jet-Audio Player」でのみ使うことができます。
- ・ワンタッチスタートボタンが無効に設定されているときには、CD/DVDプレーヤ ボタンでJet-Audio Playerを操作することはできません。

音楽再生機能を使用しているときの注意

- ・CDプレイモードで音楽CDを再生中に電源スイッチを押すと、CDプレイモード は停止し、Windows Meが起動します。
- ・バッテリのみで使用中に、CDプレイモードで音楽CDを再生していると、バッテ リがなくなった時点で電源が切れます。このとき、バッテリ容量が残り少なくなっ たことを知らせる警告音は鳴りません。
- ・CDプレイモードでの音楽CDの再生が終了すると、約2分後にCDプレイモードはスリープモードに変わります。このとき、LCDインジケータには「SP」と表示されます。CDプレイモードがスリープモードに入っているときは、CD再生ボタン(▶II)を押すとスリープモードから復帰します。再度音楽CDを再生するときは、もう一度CD再生ボタン(▶II)を押してください。

CDプレイモードで音楽CDを再生する

- 1 パソコンの電源が入っていない、またはスタンバイ状態や休止状態のときに、オーディオ電源スイッチを押す
- **2** CD-R/RW with DVD-ROMドライブに音楽CDをセットする(p.40) 音楽CDをセットすると、LCDインジケータに「1」と表示されます。これで再生の準 備ができました。

チェック 音楽CDをセットしてからLCDインジケータに「1」と表示されるまで数秒かか ります。しばらくお待ちください。

3 CD再生ボタン(►II)を押す 音楽CDの再生が始まります。

- XE

- ・トラック(曲を次や前に移動したいときや、再生を停止または一時停止したいときは、CD/DVDプレーヤボタンを利用してください。トラックを移動すると、LCDインジケータに現在のトラックナンバーが表示されます。
- ・音量は、本体左側面にある音量調節つまみで調節します(p.78)。

Jet-Audio Playerを使う

Jet-Audio Plaverは、音楽CDやDVD VIDEOディスクの再生やMP3規格の音 楽データを再生できるアプリケーションです。また、音楽データをWAVEファイル に変換したり、MP3、WAVE、MIDIなどの音楽データをMDに録音することもでき ます。

MP3とは、MPEG1 Audio Laver-3の略で、音楽データを高音質のまま高い圧 縮率で保存できる規格のことです。MP3規格の音楽データは、インターネットな どからダウンロードすることができます。

チェック

l v∓

Jet-Audio Playerを起動すると、「DVD再生の性能は、他のアプリケーションの起 動状態等ご利用の環境により異なる場合があります」というメッセージが表示され ます。この画面を起動時に表示させないようにするには、表示された注意事項をお 読みのうえ、「今後、この画面を表示しない」の□をクリックして□にして「閉じる」 ボタンをクリックしてください。

次回起動時から、この画面が表示されなくなります。

参昭

Jet-Audio Playerの使いかた 「スタート」ボタン 「プログラム」「Jet-Audio Player」「使い方マニュアル」

編集してオリジナルMDを作る

このパソコンのヘッドホン / オーディオ / 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力 端子と、光デジタルオーディオ入力端子をもつ市販のMDデッキを接続すると、音 楽CDやMP3データをパソコンで再生しながら、MDに録音することができます。



- ・パソコンとMDデッキを接続するには、市販の光デジタル接続ケーブルを購入 してください。
- ・MDデッキの機能や録音のしかたなどについては、MDデッキのマニュアルをご 覧ください。
- ・お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどの複製や改変を行う 場合、オリジナルのCD-ROMなどについて著作権を保有していなかったり、著 作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許諾条 件に違反することがあります。複製などの際は、オリジナルのCD-ROMなどの利 用許諾条件や複製などに関する注意事項にしたがってください。

Jet-Audio Playerで再生しながらMDに録音する

Jet-Audio Playerを使って、音楽CDやMP3などの音楽データをMDに録音するときは、次のような操作を行います。

操作の流れ

市販のMDデッキと接続ケーブルを用意する ・光デジタルオーディオ入力端子をもつ市販の録音機能付きMDデッキ ・市販の光デジタル接続ケーブル このパソコンのヘッドホン / オーディオ / 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力 端子の形状と、MDデッキの光デジタル入力端子の形状を確認してください。 光デジタル接続ケーブルを使って、このパソコンとMDデッキを接続する このパソコンのヘッドホン / オーディオ / 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出 力端子とMDデッキの光デジタル入力端子に市販の光デジタル接続ケーブ ルを接続します。 PART4の「ヘッドホン / オーディオ / 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端 子(p.210) お使いのMDデッキのマニュアル 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子から、光デジタルで出力できる設 定になっていることを確認する 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子から音楽データを光デジタル出力 する場合や、音楽CDからのデジタル出力を光デジタルで出力する場合は、出 力できるようになっているかを確認しておいてください。 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力機能について(p.81) 音楽CDのデジタル出力設定(p.82) Jet-Audio Playerを起動し、録音の準備をする Jet-Audio Playerを起動したら、録音する音楽データを選びます。また、音楽 データを録音する順番に並び替えて録音することもできます。 Jet-Audio Playerのオンラインマニュアル

録音する

Jet-Audio Playerで音楽データを再生し、MDデッキでの録音を開始します。 MDデッキによっては、Jet-Audio Playerを再生すると同時に自動的に録音を 開始できるように設定できます。

Jet-Audio Playerのオンラインマニュアル 録音のしかた お使いのMDデッキのマニュアル

編集してオリジナル音楽CDを作る

このパソコンにインストールされているEasy CD Creatorを使うと、音楽CDなどから好きな曲を選んでCD-Rに書き込み、オリジナル音楽CDを作ることができます。Easy CD Creatorを使って作成したオリジナル音楽CDは、家庭用のCDプレーヤー、カーステレオ用のCDプレーヤー、パソコンについているCD-ROMドライブなどで再生することができます。Easy CD Creatorについて詳しくは、Easy CD Creatorのオンラインヘルプをご覧ください。

🗋 参照

Easy CD Creatorのオンラインヘルプを読むには Easy CD Creatorを起動して、画面のメニューバーの「ヘルプ」をクリックする

チェック

お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどの複製や改変を行う場合、オリジナルのCD-ROMなどについて著作権を保有していなかったり、著作権 者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反することがあります。複製などの際は、オリジナルのCD-ROMなどの利用許諾 条件や複製などに関する注意事項にしたがってください。

映像の再生 / 編集機能

映像を再生する

デジタルビデオ機器で撮った画像を再生する

このパソコンでは、外部のデジタルビデオ機器で撮影した映像を取り込んで編集 することができます。また、ハードディスクに保存したり、外部のデジタルビデオ機 器に出力することもできます。ハードディスクに保存した映像はJet-Audio Player を使って再生することができます。

6 参照

・Jet-Audio Playerの使いかた「添付ソフトの使い方」・「Jet-Audio Player」または「スタート」ボタン「プログラム」「Jet-Audio Player」「使い方マニュアル」
 ・外部デジタルビデオ機器の接続と映像の編集 「映像を編集する(p.124)

DVD VIDEOディスクを再生する

「Jet-Audio Player」を使って、DVD VIDEOディスクを再生することができます。 Jet-Audio Playerを起動するには、「スタート」ボタン 「プログラム」「Jet-Audio Player」「Jet-Audio Player」をクリックします。また、再生しているDVD VIDEO ディスクの映像をテレビに表示することもできます。

- XE

DVD VIDEOディスクは、映像と音声を高画質、高音質で記録してあるディスク です。美しい映像や音声を楽しむことができます。また、DVD VIDEOディスクの 中には、利用者の好みに応じた使いかたができるディスクもあります。たとえば、 映画の字幕や音声を数カ国語の中から選んで再生したり、スポーツやコンサー トの映像をアングル 見る角度、視点、を切り替えて再生したりできます。

🗋 参照

- ・Jet-Audio Playerの使いかた 「添付ソフトの使い方」-「Jet-Audio Player」または 「スタート」ボタン 「プログラム」「Jet-Audio Player」「使い方マニュアル」
- ・パソコンにテレビを接続する、DVD VIDEOディスクの映像をテレビに表示する PART4の「外部ディスプレイを使う」の「表示するディスプレイを切り替える(p.182)

DolbyHeadphone機能を使う

参昭

このパソコンには、DoIbyHeadphone機能が搭載されています。このパソコンの ヘッドホン / オーディオ / 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子に市販の ヘッドホンを接続すると、DVD VIDEOディスクの臨場感のあるデジタルサウン ドを楽しむことができます。

Jet-Audio Playerの使いかた 「添付ソフトの使い方」-「Jet-Audio Player」または、 「スタート」ボタン 「プログラム」「Jet-Audio Player」「使い方マニュアル」

> Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号 はドルビーラボラトリーズの商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき 製造されています。

非公開機密著作物。著作権1992 - 1999年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

映像を取り込む、ダビングする

「VideoStudio」を使って、デジタルビデオ機器から映像を取り込むことができます。

また、「SmartGallery/BusBrainを使って、複数のデジタルビデオ機器の簡易操作やダビング操作を行うことができます。

外部ビデオ機器を接続する

このパソコンに映像を取り込むために、デジタルビデオデッキやデジタルビデオ カメラといった外部ビデオ機器を接続します。接続は、このパソコンのIEEE1394 コネクタを使って行います。外部ビデオ機器とIEEE1394ケーブルを用意してお いてください。

×±

- ・接続できる外部ビデオ機器は、IEEE1394での入出力に対応している機器で す。外部ビデオ機器にIEEE1394コネクタがついているかを確認してください。 IEEE1394コネクタはDV端子などの別名で呼ばれていることもあります。詳しく は販売店などで確認してください。
- ・このパソコンのIEEE1394コネクタは4ピンです。パソコン側に接続するケーブルのプラグは4ピンのものを選んでください。外部ビデオ機器側に接続するプラグは、外部ビデオ機器のIEEE1394コネクタの形状に合ったものを用意してください。
- ・IEEE1394コネクタへの接続について詳しくは、PART4の「IEEE1394コネクタ」 (p.201 をご覧ください。

- **1** 外部ビデオ機器のIEEE1394コネクタに、IEEE1394ケーブルのプラグを 接続する
- **2** このパソコンのIEEE1394コネクタに、IEEE1394ケーブルの4ピンのプラ グを接続する(p.202)



- ・ 接続するときには、プラグの向きに注意してください。プラグの向きを間違えるとIEEE1394コネクタやプラグを破損するおそれがあります。
- ・お客様が録画、録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法 上、著作権者に無断で使用できません。

VideoStudioを使って取り込む

ここでは、VideoStudioを使って映像を取り込む方法を説明します。

チェック
 SmartGallery/BusBrainが起動している場合は、「コネクション切断」を行い、
 SmartGallery/BusBrainを終了してください。VideoStudioで動画の取り込み、編集、書き出しができます。

VideoStudioを起動する

チェック

はじめてVideoStudioを起動すると、「ユーザー登録」画面が表示されます。 ここでユーザー登録をする場合は、「今すぐ登録」ボタンをクリックしてください (ユーザー登録をする場合は、インターネットに接続する必要があります)。 ここでユーザー登録をしない場合は、「後で登録」ボタンをクリックしてください。 この操作をした後、インターネットに接続してユーザー登録をする場合は、Video Studioを起動し、 (④、 グローバルコマンド)をクリックして「オンライン登録」をクリッ クしてください。 **1**「スタート」ボタン 「プログラム」「Ulead VideoStudio 5.0」「Ulead VideoStudio 5.0 SE Basic」をクリックする VideoStudioの画面が表示されます。



映像を取り込む

- 1 VideoStudioを起動する
- 2 「 プロジェクトを作成)ボタンをクリックする 「新規作成」画面が表示されます。
- 3「プロジェクト名」欄にプロジェクト名を入力する

- **4**「使用可能なプロジェクト テンプレート」欄から目的のテンプレートを選び、 「OK」ボタンをクリックする
- 5「キャプチャ」ステップになっていることを確認する



- 6 デジタルビデオ機器で映像を再生する
- 7 <u>「「」</u> ビデオをキャプチャ)ボタンをクリックする パソコンへの映像の取り込みが始まります。
- 8 取り込みを終了するときは、 「「」ビデオをキャプチャ)ボタンをクリックするか[Esc]を押す デジタルビデオ機器の再生が停止し、タイムラインまたはストーリーボードに取り込んだ内容が表示されます。

取り込んだ内容を確認する

- 1 タイムラインまたはストーリーボードで、再生したい内容をクリックする プレビュー画面に最初のフレームが表示されます。
- 2「クリップを再生」ボタンをクリックする 映像の再生が始まります。



VideoStudioの詳しい操作方法について 「スタート」ボタン 「プログラム」「Ulead VideoStudio 5.0」「ユーザーガイド」

映像を編集する

ここでは、VideoStudioの機能について説明します。VideoStudioでは、映像の取 り込み、編集、外部ビデオ機器への出力を行うことができます。

VideoStudioを起動する

VideoStudioの起動方法についてはp.122~p.123をご覧ください。



VideoStudioでの編集

VideoStudioでは、画面上部に表示されているステップ(開始 キャプチャ ス トーリーボード 効果 タイトル ボイス ミュージック 完了)の順に作業を進 めていきます。



VideoStudioでは、ステップごとにガイド(ヘルプ)が表示されます。作業内容を 確認しながら作業を進めることができます。

効果

場面転換の効果を設定します。「ライブラリ」に表示される100種類以上の効果を 確かめながら選ぶことができます。

タイトル

画像に文字を入力します。タイトルだけでなく、画面にコメントを入れたりすることができます。「オプションパネル」で、タイトルに使用する文字のフォントやサイズ、 位置や表示される時間などが設定できます。また、「ライブラリ」にはサンプルが表示されており、この中から選ぶこともできます。

ボイス

市販のマイクロホンを使って音声を入力します。編集したビデオファイルを再生しながらリアルタイムに録音できます。また、音声ファイルを取り込むこともできます。

ミュージック

BGMを録音します。CD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットされている音楽 CDを自動的に認識して、「オプションパネル」に一覧が表示されます。表示された 一覧の中から選んで録音することができます。

完了

すべての編集が完了したら、ひとつのビデオファイルとして生成します。「オプショ ンパネル」で、全画面再生を行ったり、いろいろな形式のビデオファイルに保存す ることができます。また、外部ビデオ機器に出力を行ったり、ホームページで見る ことができる形式に保存することもできます。

VideoStudioで保存できる形式には、AVI、ASF、WMV、FLC、FLI、FLX、MOV、 QT、MPG、RM、UISがあります。

🗩 ×=-

VideoStudioの機能や詳しい使いかたについては、VideoStudioのヘルプをご 覧ください。VideoStudioのヘルプは、VideoStudioが起動しているときに【F1】 を押すと表示されます。 VideoStudioを使用するときの注意

VideoStudioでグリーティングカードを作成するときは AVIファイルを使用してグリーティングカードの作成をする場合、作成前にファイ ルの圧縮形式を「DVビデオエンコーダ」以外に設定する必要があります。次の手 順でファイルの圧縮形式を変更してください。

- 1 VideoStudioの「完了」ステップで
 1001 ムービーを作成)ボタンをクリック する
- 2 メニューから「カスタム」をクリックする
- 3 「名前を付けて保存」画面の「オプション」ボタンをクリックする
- **4**「ビデオ保存オプション」画面の「圧縮」タブの中の「圧縮」の設定を「DVビ デオエンコーダ」以外の圧縮形式に変更する
- 5「OK」ボタンをクリックする
- 6 「名前を付けて保存」画面でファイル名を指定して、「保存」ボタンをクリッ クする

VideoStudioでビデオ編集した映像をテープに録画するときに

先頭の数秒が録画されないときは

デジタルビデオカメラの種類によっては、VideoStudioでビデオ編集した映像を デジタルビデオカメラにテープ録画するときに、先頭の数秒が録画されない場合 があります。その場合は、次の手順でMSデバイスコントロールオプションを調整 するか、先頭フレームに4~5秒程のカラークリップを挿入してください。

- ・MSデバイスコントロールオプションを調整する
 - 1 🞯 グローバルコマンド をクリックする
 - 2「デバイスコントロールの選択」をクリックする 「デバイスコントロールの選択」画面が表示されます。
 - **3**「現在のデバイス」欄に「MS 1394 デバイスコントロール」を選択し、「オプ ション」ボタンをクリックする 「MS デバイス コントロール オプション」画面が表示されます。

- 4 次の設定値を正常にテープ録画ができるように調整する
 - ・プリロール時間
 - ・一時停止時間を転送する
 - ・一時停止時間を記録する
 - ・記録時間を遅延する

- ・先頭フレームに4~5秒程のカラークリップを挿入する
 - 1 録画する映像を選択した状態で、メニューバーの「ストーリーボード」をク リックする 「ストーリーボード」ステップに移動します。
 - 2 画面右側にある▼をクリックして、「カラークリップ」を選択する 「カラーライブラリ」が表示されます。表示されている色を変更する場合は、手順3 へ進んでください。そのままの色でよければ手順6へ進んでください。
 - 3 1 (カラークリップを作成)ボタンをクリックする
 - 4「色」のカラーボックスをクリックして「Uleadカラーピッカー」から適当な色 を選択し、「OK」ボタンをクリックする
 - 5 「デュレーション」にカラークリップを入れる時間を入力し、「OK」ボタンをク リックする ライブラリにクリップが挿入されます。必要な経過時間は、デジタルビデオカメラ の種類によって異なります。
 - 6 ライブラリ内のカラークリップをビデオトラックの始まり部分にドラッグ&ド ロップする ドロップしたカラークリップの右端黄色バーを左右に動かすと、カラークリップの経 過時間を調整できます。
- 以上で先頭フレームにカラークリップが挿入できます。

「キャプチャセットプレビューウィンドウに失敗」と表示される場合は デジタルビデオカメラの種類によっては、VideoStudioでデジタルビデオカメラへ テープ録画するときに、「キャプチャセットプレビューウィンドウに失敗」と表示され る場合があります。

その場合は「OK」ボタンをクリックし、デジタルビデオカメラの電源を入れなおして ください。

「録画に失敗しました。」または「出力デバイスへの送信エラー」と表示される場合は

デジタルビデオカメラの種類によっては、VideoStudioでデジタルビデオカメラへ テープ録画するときに、「録画に失敗しました。」または「出力デバイスへの送信エ ラー」と表示される場合があります。

その場合は「OK」ボタンをクリックし、次のどちらかの操作を行ってください。

・「DV録画 - 録画ウィンドウ」画面を閉じて、操作しなおす。

・デジタルビデオカメラのテープを入れなおす。

上記の操作をしても同じメッセージが表示される場合は、アプリケーションをいったん終了してください。次にデジタルビデオカメラにつながっているIEEE1394 ケーブルを接続しなおすか、またはWindowsを再起動してください。

SmartGallery/BusBrainについて

SmartGallery/BusBrainでは、次のような操作ができます。

- ・デジタルビデオカメラなどで録画した映像やビデオ映像を、パソコン上で見る ことができます。
- ・パソコンと接続しているデジタルビデオカメラなどの簡易操作が行えます。
- ・パソコンとIEEE1394機器が複数接続されている場合、どのパソコンがどの機器を使用しているかが分かります。また、自分が使用している機器を他のパソコンから操作されないように、機器の制御権を設定できます。
- ・デジタルビデオカメラ同士で映像をダビングする際に、再生と録画を同期させてダビングできます。

チェック

VideoStudioが起動している場合は、SmartGallery/BusBrainでデジタルビデオ カメラなどの簡易操作ができません。
ダビング操作を行う

SmartGallery/BusBrainを起動する

- Proteine man
- **1**「スタート」ボタン 「プログラム」「SmartGallery」「BusBrain 1.1」を クリックする

- メモ
 SmartGalleryが起動している場合は、
 (1394)ボタンをクリックして「SmartGallery/BusBrainを起動することもできます。

 SmartGallery/BusBrainを起動することもできます。
 - SmartGallery/BusBrainを終了する場合は、画面右上にある
 レてください。

SmartGallery/BusBrainの画面が表示され、パソコンと、パソコンに接続されているIEEE1394対応のデジタルビデオ機器の状態が表示されます。

同期ダビング操作

- 1 ダビングしたいデータのある機器(送信元)のアイコンをクリックする 選んだ機器のアイコンが黄色で表示されます。また、データの受信先として指定 可能な機器が赤で点滅表示されます。
- 2 データを保存したい機器(受信先)のアイコンをクリックする 送信元と受信先の機器の接続(コネクション設定)が完了し、デジタルビデオカメ ラの再生・停止などを行うJモコンが表示されます。



- 3 受信先のリモコンのRECボタンをクリックする 録画一時停止状態になります。
- 4 送信元のリモコンの再生ボタンをクリックする ビュー画面で映像の再生が始まり、録画が開始されます。

リモコンについて



リモコンクローズボタン

クリックすると、リモコンが終了します。

機器名称

接続されている機器の名称が表示されます。

カウンタ

接続されている機器のカウンタ値が表示されます。

コントロールボタン

同期ダビング表示

現在のダビングモードを表示切り替えできます。

ビューボタン

クリックすると、プレビュー画面が表示されます。プレビュー画面で、接続している デジタルビデオ機器の映像を見ることができます。

デジタルビデオ機器とパソコンの接続を解除する

1 接続解除する機器間の線上で右クリックする

2「コネクション切断」をクリックする

これでデジタルビデオ機器との接続(コネクション設定)が解除されます。

6 参照

SmartGallery/BusBrainの詳しい操作方法について 「スタート」ボタン 「プログラム」「SmartGallery」「BusBrain 1.1 ヘルプ」

画像ファイルや映像ファイルを活用する

画像ファイルや映像ファイルを管理する

「SmartGallery を使うと、パソコンに取り込んだ画像ファイルや映像ファイルを整理しておくことができます。画像や映像のファイルはサムネイル(画像を縮小して一覧表示したもの)で見ることができるので、たくさんの画像ファイルの中から見たいファイルを探すときなどに便利です。

🚺 参照

SmartGalleryの使いかた このPARTの「マルチメディアファイルの管理機能」 (p.144)

携帯電話で閲覧できるアルバムを作成する

「スナップショット」を使うと、iモードなどに対応した画像を作成して、インターネットへ掲載することができます。作成した画像は携帯電話の待ち受け画面として利用することができます。

白ヶ照

スナップショットの使いかた 「添付ソフトの使い方」-「スナップショット_♪またはスナッ プショットのヘルプ



チェック

お客様がテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽し むなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

DVD形式のビデオデータの作成のしかた

このパソコンにインストールされている「VideoStudio」や「DVDit!」というアプリ ケーションを使うと、録画した映像を編集したり、編集した映像にタイトルやメ ニュー(目次)をつけてDVDビデオのような作品を作れます。 また、作成した映像はハードディスクやCD-Rに保存して、このパソコンにインス トールされている「Jet-Audio Player」で再生できます。 お気に入りの映像を、DVD形式のビデオデータ(DVDタイトル)に仕上げてみま しょう。

オリジナルのDVD形式のビデオデータを作成する





DVD形式のビデオデータ作成時の注意

- ・MPEG2形式で保存するときに、ビットレートを大きくすると高画質になりますが、 ファイルサイズが大きくなります。また、再生環境によっては、スムーズに再生で きなくなることがあります。通常、ビットレートは4~6Mbpsで利用してください。
- ・MPEG2ファイルの保存には、再生時間の3倍~10倍程度の時間がかかること があります。

XŦ

MPEGは、動画データファイル形式のひとつです。データ圧縮できることが特徴 で、再生品質やデータ量などによって、MPEG1、MPEG2などがあります。 MPEG1はビデオCDで採用されている規格で、再生品質は家庭用ビデオ程度 です。MPEG2はDVD VIDEOで採用されている規格で、MPEG1に比べるとデー タ量は多くなりますが、より高画質になります。

チェック

- ・DVDit!で使用できる動画ファイルはVideoStudioでDVDit!用に保存した MPEG2形式のファイルだけです。
- ・CD-R(650Mバイト)に保存できる映像は20分程度までです。
- ・DVD形式のビデオデータをCD-Rに保存する場合は、プロジェクト名を半角英数 字で入力してください。

DVDit!で編集できるデータにする

1 編集したい映像ファイルをVideoStudioで開く



VideoStudioの使いかた VideoStudioのヘルプ

- 2「完了」ステップをクリックする
- 3 💽 ムービーを作成 ボタンをクリックする
- 4 メニューから「カスタム」をクリックする
- 5「保存する場所」を選び、「ファイル名」を指定して、「ファイルの種類」で 「MPEGファイル」を選択する

◆ メモー 映像を「デスクトップ」「マイドキュメント」「My Pictures」に保存する

映家を「テスクトック」「マイ「トキュスクト」「My Pictures」に保存する と、このパソコンに入っている「SmartGallery」というアプリケーションで データの管理や活用ができます。特別な理由がない限り、映像を「My Pictures」フォルダに保存することをおすすめします。

6 参照

SmartGalleryについて このPARTの「マルチメディアファイルの管理機能(p.144)

- 6 「オプション」ボタンをクリックする 「ビデオ保存オプション」画面が表示されます。
- 7「カスタム設定」タブをクリックする

8「DVDit!」の左の〇をクリックして〇にする



マルチメディア機能

3

「ビデオ」欄のビットレートの設定値により、ファイル容量は以下のようになります。

	ビットレート(Mbps)	ファイル容量(MB/分)
最小設定値	4,094	約30.7
初期設定値	5,994	約45.0
最大設定値	8,000	約60.0

9「OK」ボタンをクリックする

「名前を付けて保存」画面に戻ります。

10 「保存」ボタンをクリックする

MPEG2ファイルの保存がはじまります。保存が終わると、VideoStudioの画面に 戻ります。

11 🛛 をクリックする

MPEG2ファイルの編集について詳しくは「スタート」ボタン 「プログラム」 「Ulead VideoStudio 5.0」「NEC MPEG2プラグイン for Ulead VideoStudio Ver5.0 をご覧ください。

チェック

- ・MPEG2ファイルの保存には、再生時間の3倍~10倍程度の時間がかかる場合 があります。
- ・他のパソコンで作成されたMPEG2ファイルは、正常に動作しない場合があります。

DVDit!で仕上げる

DVDit!を使って、ViedoStudioで作成した映像に、タイトルメニュー画面をつけて みましょう。

ここでは簡単な使いかたのみを説明しています。詳しい使用方法は、「スタート」ボ タン 「プログラム」「DVDit! LE」「DVDit! 版 ユーザーガイド をご覧ください。

DVDit!を起動する

- **1**「スタート」ボタン 「プログラム」「DVDit! LE」「DVDit! LE」をクリッ クする DVDit!が記動します。
- 2「新しいプロジェクトを始める」ボタンをクリックする
- 3「ビデオ様式」には「NTSC」、「ビデオフォーマット」には「MPEG2」が選択されていることを確認して、「設定終了」ボタンをクリックする DVDit!の画面が表示されます。





DVDit!でできるいろいろな編集

ここでは、「DVDit!」の機能について説明します。「パレットウィンドウ」の下にある ボタンをクリックして、各機能を切り替えます。

画面右下にあるボタン(背景 ボタン テキスト メディア 再生)の順に、作業 を進めていきます。

🕥 背景

タイトルメニュー画面の背景になる画像を設定します。「パレットウィンドウ」から背 景にしたい画像を選んで、「ファーストプレイ」の上にドラッグ&ドロップします。

チェック

背景は、SmartGalleryの「イメージ」カテゴリから好きな画像(BMP形式、JPG形式 など、をパレットウィンドウにドラッグ&ドロップして登録することもできます。

6 参照

SmartGalleryについて このPARTの「マルチメディアファイルの管理機能(p.144)

💿 ボタン

タイトルメニューに付けるボタンを設定します。「パレットウィンドウ」から貼りつけたいボタンを選んで、「ビデオモニタ」にドラッグ&ドロップします。

🗊 テキスト

タイトルメニューに書き込む文字の書体を設定します。「パレットウィンドウ」から使 いたい書体を選んで、「ビデオモニタ」にドラッグ&ドロップします。ドラッグ&ドロッ プした文字をダブルクリックして反転表示にして、キーボードから書き込みたい内 容(ボタン名やタイトルなど を入力します。

💿 メディア

DVD形式のビデオデータにする映像などを設定します。「パレットウィンドウ」内を 右クリックして、「テーマにファイルを追加 をクリックし、画面の説明を見ながら VideoStudioで作成した映像を「パレットウィンドウ」に追加します。その後、映像を 選択して、「パレットウィンドウ」から「ビデオモニタ」に作成したボタンにドラッグ& ドロップします。

チェック

- ・DVDit!で使用できる動画ファイルは、VideoStudioでDVDit!用に保存した MPEG2形式のファイルだけです。
- ・1つのDVD形式のビデオデータに使用できるMPEG2ファイルのフレームサイズは、720×480または352×480ドットのどちらか一方です。1つのDVD形式のビデオデータ内で両方のフレームサイズを使うことはできません。
- ・静止画をメディアに設定することもできます。静止画のサイズは、720×480ドットです。

🗋 参照

DVDit!用のファイル このPARTの「DVDit!で編集できるデータにする(p.134)

💽 再生

作成した映像を再生できる「Remote Control」画面が表示されます。ビデオモニ タに作成したボタンをクリックすると、再生がはじまります。作成した映像の確認が できたら、×をクリックして「Remote Control」を閉じてください。

参照

DVD形式のビデオデータの作成のしかたについて詳しくは 「スタート」ボタン 「プログラム」「DVDit!」」「DVDit!版 ユーザーガイド」

DVD形式のビデオデータを保存する

作成したDVD形式のビデオデータを保存しましょう。保存する方法には次の2つ があります。

- ・ハードディスクに保存する
- ・CD-Rに保存する(p.140)

チェック

- ・DVDit!でプロジェクト保存する場合、必ず半角英数字でプロジェクトファイル名 を入力して保存してください。
- ・CD-Rに保存する場合、ディスク名を必ず半角英数字で入力してください。

ハードディスクに保存する

作成した映像をハードディスクにDVD形式のビデオデータとして保存します。

1「ビルド」をクリックして表示されたメニューの「DVDフォルダの作成...」をク リックする 2「パス」の「参照」ボタンをクリックする

DVDの作成	フォルダ 🗵
一般	「詳細
ג-ע	現在のプロジェクト
	タイトルなしdvdit 参照
出力オプシ	
152	○ <u>n-</u> ドディ200トッ ○ ラ その地
	#2325) \$192110 (K)

- **3**「ファイルの場所」欄で▼をクリックし、「デスクトップ」「マイ ドキュメント」「My Pictures」を選択する 「保存する場所」欄に「C:¥My Documents¥My Pictures」が表示されます。
- **4**「OK」ボタンをクリックする
- **5**「C: ¥My Documents ¥My Pictures」が選択されているのを確認して「OK」 ボタンをクリックする
- 6「DVDの作成に成功しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

7 DVDit!を終了する

CD-Rに保存する

作成した映像は、CD-Rにも保存できます。 CD-RへのDVD形式のビデオデータの保存のしかたは、「スタート」ボタン 「プログラム」「DVDit! LE」「DVDit! Help をご覧ください。



- ・CD-R(650Mバイトまたは700Mバイト)に保存できる映像はムービーファイルの ビットレートによって異なります。
 4Mbpsで約20分、6Mbpsで約14分程度の記録ができます。作成する内容により、記録できる時間が短くなることがあります。
- CD-Rへは、1度保存したら、たとえ空き容量があってもそのCD-Rへは保存できなくなります。
- ・DVD形式のビデオデータをCD-Rに保存する場合は、ディスク名を必ず半角英 数字で入力してください。プロジェクト名は「ファイル」「プロジェクト設定」の 「ディスク名」で設定します。
- ・「DVDit!」では、DVD-R、DVD-RAM、CD-RWは使用できません。
- ・CD-Rに保存した場合、環境によってはスムーズに再生できない場合があります。

作成したDVD形式のビデオデータを再生する

「DVDit!」で作成したDVD形式のビデオデータを再生してみましょう。ハードディスクに保存した場合は「SmartGallery」から再生します。CD-Rに保存した場合は、市販のDVD VIDEOディスクのように、自動的に再生できます。

ハードディスクに保存したDVD形式のビデオデータを再生する

保存したDVD形式のビデオデータは、このパソコンのJet-Audio Playerで再生できます。

1 SmartGalleryを起動する



SmartGalleryについて詳しくは このPARTの「マルチメディアファイルの管理機能」(p.144)

2「NEW!」ボタンが点灯している場合は、ボタンをクリックする 更新されたファイルのみが表示されます。



3 🎆 カテゴリ をクリックして、 🎑 ムービー をクリックする

チェック ハードディスクにDVD形式のビデオデータなどの動画ファイルがひとつも保存されていない場合は、

4 作成したDVD形式のビデオデータのサムネイルを右クリックして表示されたメニューから「開く」「Jet-Audio Player」をクリックする サムネイルをダブルクリックしても、Jet-Audio Playerを起動できます。



Jet-Audio Playerが起動して、タイトル画面が表示されます。

チェック

- ・Jet-Audio Playerが起動してもDVD形式のビデオデータが再生されない場合 は、Jet-Audio Playerの起動後にもう一度手順4を行ってください。
- Windows Media PlayerやVideoStudioなど、Jet-Audio Player以外の映像を 表示するアプリケーションが起動していると、Jet-Audio PlayerでDVD VIDEO ディスクやビデオCD、DVD形式のビデオデータなどが再生できない場合があ ります。音楽CD、デジタルオーディオ、MIDIの再生はできます。
- ・DVDit!で作成したDVD形式のビデオデータの再生中は、Jet-Audio Playerの カウンタが動かないことがあります。
- ・DVDit!で作成したDVD形式のビデオデータは、Jet-Audio Player以外のアプ リケーションでも再生することができます。再生できるアプリケーションについて 詳しくは、「DVDit!版 ユーザーガイド をご覧ください。

6 参照

Jet-Audio Playerについて詳しくは 「添付ソフトの使い方」「Jet-Audio Player」 またば スタート」ボタン 「プログラム」「Jet-Audio Player」「使い方マニュ アル」

CD-Rに保存したDVD形式のビデオデータを再生する

CD-Rに保存したDVD形式のビデオデータは、一般のDVD VIDEOディスクの ように、CD-Rをセットすると自動的にJet-Audio Playerが起動して、DVD形式 のビデオデータのタイトル画面を表示します。



- Jet-Audio Playerについて詳しくは 「添付ソフトの使い方」「Jet-Audio Player または、スタート、ボタン 「プログラム」「Jet-Audio Player」「使い方マニュアル」
- ・CD-Rのセットのしかた PART1の「CD-R/RWドライブ with DVD-ROMドライブ」の「ディスクのセットのしかたと取り出しかた (p.40)



SmartGalleryとは

このパソコンには、取り込んだ映像などを活用するためのいろいろなソフトが入っています。このパソコンに入っている「SmartGallery」を使えば、映像などのファイルをまとめて管理でき、再生や編集がスマートに始められます。

「SmartGallery」は、デジタルビデオカメラの映像といった動画や写真などの静 止画、音楽データ、インターネットのホームページなど、マルチメディアファイルを まとめて管理できるアプリケーションです。ファイルをカテゴリ、分類)に分けて表 示したり、「SmartGallery」のサムネイル(画像を一覧表示したもの)から直接いろ いろなアプリケーションを起動して、ファイルを開いたりできます。ファイルの数が 多くなってもすぐに目的のファイルを使えます。



SmartGalleryについて詳しくは SmartGalleryのヘルプ

SmartGalleryを起動する

1「スタート」ボタン 「プログラム」「SmartGallery」「SmartGallery 2.2」 をクリックする SmartGalleryが起動します。

SmartGalleryについて

ここでは、SmartGalleryの画面やボタンの機能について説明しています。

SmartGalleryの画面



参照

SmartGallery SmartGalleryのヘルプ

サムネイル

SmartGalleryでは、ネットワークで接続された他のパソコンに保存してあるマル チメディアファイルもデータベースに登録して、サムネイルで一覧表示することが できます。

マルチメディアファイルの再生、編集が可能かどうかは、サムネイルの左上のア イコンの色で確認することができます。





・ チェック ネットワークで接続されたパソコンに保存してあるマルチメディアファイルをデー タベースに登録する手順については「フォルダ内のファイルを取り込む(p.151 をご覧ください。

ボタンの機能



基本的な使いかた

最新のファイルのみを表示する

SmartGalleryでは、自動登録フォルダに設定されているフォルダ内のファイルが、データベースへ自動的に登録されます。



- ・購入時の設定では、「マイドキュメント」フォルダ、「C: ¥WINDOWS¥Favorites」、
 「C: ¥WINDOWS¥Media」内に保存したファイルがSmartGalleryで表示されます。
 表示するフォルダを変更することもできます。
 詳しくはSmartGalleryのヘルプをご覧ください。
- ・データベースへの登録処理中は、SmartGalleryのウィンドウの右下に「データ ベースの更新中、ESCキーで中止します。」というメッセージが表示されます。

動画や音楽などのファイルを自動登録フォルダに新たに保存すると、データベー スは自動的に更新されます。更新されたファイルだけを表示するには、次の手順 を行います。

1 NEW!)ボタンをクリックする 更新されたファイルだけが表示されます。 表示を戻したいときは、 カテゴリ)ボタンをクリックして表示するカテゴリを選ぶか、 (二)(全表示)ボタンをクリックしてください。



保存したマルチメディアファイルがSmartGalleryの一覧に見あたらない場合は、 「保存したマルチメディアファイルが見あたらないときは(p.161 をご覧になり、 操作を行ってください。 動画ファイルを再生する

動画ファイルでサムネイル表示に再生コントロールバーがあるものは、 SmartGalleryで簡易再生ができます。

チェック 「VideoStudio」「Jet-Audio Player」など、映像を表示するソフトが起動している 場合、動画の簡易再生はできません。 起動しているソフトをいったん終了させたあと、簡易再生をしてください。

音楽ファイルもSmartGalleryで再生できます。



メディアを登録する

CD-R/RWに書き出した音楽や画像を、メディアとしてSmartGalleryに登録して 管理できます。

新規にメディアを登録する

- 1 5 をクリックする
- 2 表示されたメニューの「ファイル」 「メディアの新規登録」をクリックする
- 3 表示された画面で、登録したいメディアの種類を選んで、「OK」ボタンをク リックする 「メディア新規登録」画面が表示されます。
- 4 メディアの情報を入力し、「OK」ボタンをクリックする

ファイルからメディアを登録する

すでにファイルとして登録されているものを、さらにメディアに登録することもできます。

- 1 メディアに登録したいファイルを右クリックする
- **2** 表示されたメニューから「メディアに登録」をクリックする 「メディア登録」画面が表示されます。
- 3 メディアの情報を入力し、「OK」ボタンをクリックする

ファイルを開く

SmartGalleryから動画や音声を再生したり、静止画を表示したりするアプリケーションを起動することができます。

1 開きたいファイルを右クリックする

2 表示されたメニューから「開く」をポイントして、ファイルを開くアプリケーションをクリックする



アプリケーションが起動し、ファイルが開きます。



フォルダ内のファイルを取り込む

フォルダ内のマルチメディアファイルを、まとめてSmartGalleryのデータベース に登録することができます。

- 1 🔜 取込 ボタンをクリックする
- 2「フォルダ」の一覧から検索したいフォルダを選択する
- 3「一覧に追加」ボタンをクリックする 「検索フォルダー覧」に選択したフォルダが追加されます。

登録時に検索したいフォルダをすべて追加するまで、手順2~3をくりかえします。

4「登録」ボタンをクリックする

SmartGalleryの画面の右下に「データベースの更新中、ESCキーで中止しま す。」と表示され、しばらくすると検索されたマルチメディアファイルがサムネイル で表示されます。 これで登録は完了です。



ネットワークに接続された別のパソコンのフォルダも登録することができます。登録するフォルダは、フォルダのプロパティで共有できるように設定してください。

SmartGalleryを活用する

スライドショーを使う

SmartGalleryに登録されているコンテンツをスライドショー表示させることができます。

・ チェック 音楽ファイルなど、一部のファイルはスライドショーで表示することはできません。

スライドショー表示する

SmartGalleryでは、カテゴリを選んでカテゴリ内のすべてのファイルをスライド ショー表示したり、表示したいファイルのみを選んでスライドショー表示すること ができます。

カテゴリを選択してスライドショー表示する

- 1 満 カテゴリ ボタンをクリックし、スライドショー表示したいカテゴリをクリックする
- 2 読 スライド)ボタンをクリックする スライドショー表示がはじまります。

ファイルを選択してスライドショー表示する

1 スライドショー表示したいファイルをクリックする

 ✓ メモ
 【Ctrl】を押しながら表示したいファイルをクリックすると、複数のファイルを 選択することができます。

- 2 読 スライド ボタンをクリックする スライドショー表示がはじまります。
- スライドショーの設定をする

スライドショー表示に効果をつけたり、表示サイズや表示時間を設定することが できます。

1 1 設定)ボタンをクリックする 「設定」画面が表示されます。 2「スライドショーの設定」タブをクリックする

3 効果や表示の設定を行う

・効果の設定

スライドショーに効果をつけることができます。

「効果」のをクリックして、設定したい効果をクリックします。 ・表示の設定

繰り返し表示させたり、表示時間や表示サイズを設定できます。

項目	設定内容
繰り返し表示する	スライドショーに設定したファイルを繰り返 し表示します。
画面サイズにあわせ て拡大 / 縮小する	スライドショー表示するファイルが画面より 大きい場合は縮小し、画面より小さい場合 は拡大して表示します。
表示時間を有効に する	この設定を有効にすると、「表示時間」と「表示スピード」を設定できるようになります。
表示時間	スライドショー表示にしたファイルの表示時間の設定を変更することができます。
表示スピード	スライドショー表示にしたファイルの「効果」 のスピードを変更することができます。

4「OK」ボタンをクリックする

壁紙を設定する

SmartGalleryに登録されているファイルをデスクトップの壁紙に設定することができます。

- 1 壁紙に設定するファイルを右クリックして、表示されたメニューの「壁紙に 設定」にポインタを合わせる
- 2 表示されたメニューから、壁紙を表示する位置を選ぶ 選択したファイルが壁紙として表示されます。

チェック

- ・メディア、およびオフライン状態のファイルは壁紙に設定できません。
- ・サムネイル画像を変更している場合は、壁紙に設定できません。

▼ メモ 動画の好きなシーンをサムネイルに設定しておくと、動画のサムネイルを壁紙 に設定することもできます。

参昭 動画のサムネイルの変更 SmartGallervのヘルプ

アルバムを使う

アルバム機能は、特定の事柄に関するマルチメディアコンテンツをまとめて管理 するための機能です。例えば、スポーツに関するマルチメディアコンテンツをまと めて管理したい場合には、「スポーツ」という名前でアルバムを作成し、そのアル バムにスポーツに関する画像や動画、音楽、ホームページなどを登録しておく、と いった使い方ができます。

アルバムを作成する

アルバムを新規に作成するときは、次の手順で行います。 新規にアルバムを作成する場合は、そのアルバムに登録するファイルをまず1つ 決めてください。

- 1 アルバムに登録するファイルのサムネイルを右クリックする
- 2「アルバムに登録」をクリックし、「新規作成」をクリックする 「アルバムの新規作成」画面が表示されます。
- 3 「アルバム名」欄にアルバムにつける名前を入力し「登録」ボタンをクリック する



これで入力した名前で新規にアルバムが作成されます。 アルバムには手順1で選択したファイルが登録されています。 アルバムにファイルを登録する

作成済みのアルバムにファイルを追加登録するときは、次の手順で行います。

- 1 アルバムに登録するファイルのサムネイルを右クリックする
- 2 アルバムに登録」をクリックする
- **3** ファイルを登録したいアルバムの名前をクリックする アルバムにファイルが追加登録されます。
- アルバムを表示する

アルバムに登録されているファイルのサムネイルを表示するには、次の手順を行 います。

- 1 🞆 カテゴリ ボタンをクリックする
- 3 表示したいアルバム名をクリックする アルバムに登録されているファイルのサムネイルが表示されます。

アルバムにファイルを自動登録する

アルバムへのファイルの登録を自動化することができます。 自分で登録のルールを決め、そのルールに沿ったファイルを自動的にアルバム に登録するように設定できます。

- 1 🎥 設定 ボタンをクリックする
- 2「その他の設定」タブをクリックし、「アルバム」ボタンをクリックする 「アルバムの設定」画面が表示されます。
- 3 表示されたリストから自動登録の設定をしたいアルバムの名前をクリック する

4「アルバムへの自動登録」欄の「追加」ボタンをクリックする

アルバムの設定	1
アルバハ(1) iSbn(a) 東京の(2) 東東(2) 東京家(2) 育政家(2)	── 自動登録を設定したいアルバムの名前を クリックして選択します。
OK< そやンセル	── 自動登録を設定するアルバムを選択したら このボタンをクリックします。

5 ルールの名前を入力し、ルールの設定をする ファイル名やコンテンツに含まれる文字列、拡張子の種類、フォルダの場所を自 動登録のルールとして設定できます。

27月12日 (加速) ルールス(4) (ルールス(4)	- 自動登録のルール名を入力します。
文字列 抗張子 フォルダ 文字列(L)	ー 自動登録のルールを設定します。
[週加公	

6「OK」ボタンをクリックする

「アルバムへの自動登録」欄のルール一覧に入力したルールが表示されます。

アルバムの設定		x
アルバム① スポーツ		追加(<u>A</u>) 変更(<u>C</u>)
アルバムへの自動登録 ルール(型)		肖明余(R)
x pr - 2r.		変更(E)
1	ОК	##2/2/l

設定した自動登録のルールを一時的に無効にしたい時は、ルール名の左の▼ をクリックして▼にしてください。無効にしたルールを有効に戻すときは、ルール 名の左を▼にしてください。 7 OK ボタンをクリックする

8 OK ボタンをクリックする

これで、設定したルールに沿って自動登録されるようになります。

情報を入力する

SmartGalleryで管理するファイルやメディアに、コメントやジャンルを入力できます。入力した内容でキーワード検索ができます。



- 1 情報を入力したいサムネイルを右クリックして「プロパティ」をクリックする 「プロパティ」画面が表示されます。
- 2「共通項目2」タブをクリックする
- **3**「コメント」欄に情報を入力して、「OK」ボタンをクリックする

プロパティ - Beach.jpg	×
共通項目1 共通項目2 イメージ [JPG]	
<u>র্দা</u> দা	
Beach	
utyre)	_
2001年7月撮影	
	_
PH/iL(<u>A</u>)	
	_
	_
	dan.

- -**-**7 ×-
- ・「コメント」欄に入力する情報は、キーワード検索をするときにわかりやすいもの がいいでしょう、日付、制作者名など)。
- ・「共通項目2」タブの右側にある、各カテゴリ名がついたタブ(上の画面では「イ メージ[JPG]」タブ をクリックすると、さらに細かい情報が入力できます。入力で きる情報は、カテゴリによって異なります。
- ・複数のファイルをまとめて選択すると、共通のコメントを一度に入力することが できます。

表示する画像を変える

購入時の状態では、ホームページのサムネイルは地球のマークのイラストで表示 されています。これを実際のホームページの画像に変えてみましょう。 また、動画のサムネイルを好きな場面の画像にすることもできます。

🗋 参照

動画のサムネイルの変更 SmartGalleryのヘルプ

1 サムネイルを変えたいホームページをダブルクリックして、インターネット に接続する

インターネットエクスプローラが起動し、ホームページが表示されます。



インターネット接続について 『使っておぼえるパソコンの基本』

- 2 サムネイルを変えたいファイルを右クリックして、表示されたメニューから 「プロパティ」をクリックする 「プロパティ」画面が表示されます。
- 3「スクリーンをキャプチャする」の左の○をクリックして○にし、「ボタンを 押してキャプチャ」ボタンをクリックする



マウスカーソルの表示がカメラのアイコンに変わります。

4 手順1で表示しておいた、インターネットエクスプローラの画面の中をクリックする

5 ホームページの画像が表示されていることを確認して、「OK」ボタンをクリッ クする

プロパティ - 121wareuri	<u>x</u>
共通項目1 共通項目2 ホーム	パージ [URL])
∋ <nu< th=""><th></th></nu<>	
911ND	
121ware	
ジャンル(山)	
	`
ポリューム	
WINDOWS ME(2403-1608)	
	サムネイルの設定
	○ デフォルトサムネイルを使用する(型)
	() 町田からキャノナヤする(凹)
Married Constanting of the second sec	0 7747/2/B/E 9 0/E/
Manager and American Street and American Stree	参照(日)
A RECENT OF A RECE	○ スクリーンをキャプチャする(S)
	the stant was also
	ホタンを押してキャプチャ
	UK _ #PD1211

サムネイル表示の画像が変わります。



● メモ 画像ファイルをサムネイルに指定することもできます。その場合は、手順3で 「ファイルを指定する」の●をクリックして●にし、「参照」ボタンをクリックして 表示されるウィンドウで、サムネイルに使いたいファイルを選択してください。

お気に入りの画像を電子メールに添付する

例えば、デジタルカメラで撮った旅行の写真を、一緒に旅行に行った人に電子 メールで送りたい。そんなときは、SmartGalleryを使うと簡単に画像を電子メール に添付して送れます。

しチェック

保存したマルチメディアファイルがSmartGalleryの一覧に見あたらない場合は、 「保存したマルチメディアファイルが見あたらないときは(p.174 をご覧になり、 操作を行ってください。

参照
 最新の情報を表示する このPARTの「基本的な使いかた(p.148)

1 電子メールに添付したい画像を右クリックする

2 表示されたメニューから「メール送信」をクリックする



メールソフト(購入時の設定では「Out look Express」」が起動し、メールに画像が添付されます。あとは送信先を入力し、メッセージを書いて送信しましょう。



白ヶ照

電子メールの使いかた 『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART3 電子メールをはじめよう」

保存したマルチメディアファイルを探す

マルチメディアファイルを検索する

SmartGalleryでは、マルチメディアファイルの拡張子や、タイトル、コメント、ファ イルの更新日などで検索を行うことができます。

- 1 かテゴリ)ボタンをクリックして、検索したい項目をクリックする 保存してあるマルチメディアファイルがサムネイル表示されます。
- 2 最 検索 ボタンをクリックする 「検索 画面が表示されます。
- 3 検索したい項目の €をクリックして €にする
- 4「検索」ボタンをクリックする

選んだ条件のマルチメディアファイルだけが表示されます。

保存したマルチメディアファイルが見あたらないときは

保存したマルチメディアファイルのデータがSmartGalleryの一覧に見あたらな いときは、次の操作を試してください。

- ・一覧に表示させるカテゴリを、表示させたいデータのカテゴリ、または「全て」の カテゴリに変更する。
- ・検索がかかっている場合は、 🕵 全表示)ボタンをクリックして検索を解除する。

上記の操作をしてもマルチメディアファイルが見あたらない場合は、一覧に登録 されるフォルダにファイルが保存されているか確認してください。保存されていな い場合はフォルダにファイルを保存してください。

ー覧に登録されるフォルダは 🥁 設定)ボタン 「 自動登録フォルダ 」タブをク リックして表示される画面で確認することができます。 🔝 NEW!)ボタンが点 灯している場合、 🚉 (NEW!)ボタンをクリックすると、新規に作成されたファイ ルのみが表示されます。



周辺機器を使う

別売の周辺機器の接続方法や注意事項などを説 明しています。

〔このパソコンに接続できる周辺機器〕

本体前面 / 左側面


本体背面 / 右側面



4

周辺機器を使う

本体底面



周辺機器を接続する前に

周辺機器を利用する

プリンタや外部ディスプレイなど、パソコンに接続して使用する機器全般を、周辺 機器といいます。このパソコンには、さまざまな周辺機器を接続するためのコネク タやポートが用意されています。また、別売のUSBポートバー(PK-UP012S/PK-UP012NS/PK-UP012US)を利用して周辺機器を接続することもできます。

周辺機器を利用するときの注意



⚠警告

雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の 接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがありま す。

⚠注意



周辺機器の取り付け / 取り外しをするときは、本機の電源を切ったあと、 本機と周辺機器の電源コードを抜いてください。電源コードがACコンセン トに接続されたまま、周辺機器の取り付け / 取り外しをすると、感電の原因 となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

周辺機器の取り付け / 取り外し時の注意

- ・スタンバイ状態または休止状態のときは、周辺機器を取り付けたり取り外したりしないでください。
 スタンバイ状態または休止状態のときは、復帰させてデータを保存してから電源を切り、周辺機器の取り付けや取り外しを行ってください。
- ・別売の周辺機器を取り付けるときには、その周辺機器がこのパソコンに対応していることを確認してください。また、周辺機器によっては使用上の制限事項がある場合がありますので、周辺機器の説明書などをよく読んで使用してください。当社製以外の周辺機器を使用する場合は、周辺機器の製造元/発売元などに上記の事項を確認してください。
- ・周辺機器の取り付けや取り外しは、周辺機器の取扱説明書にしたがって正しく 行ってください。
- ・周辺機器によっては、専用のケーブルが必要な場合があります。接続する前に 確認して用意しておいてください。

リソースの競合について

周辺機器を増設すると、他の周辺機器とリソースが競合してどちらかが使えなくな ることがあります。この場合は、次の手順でリソースが競合しないように変更して ください。



リソースについて PART6の「割り込みレベルとDMAチャネル(p.233)

- 1 起動しているアプリケーションをすべて終了する
- **2**「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- **3**「デバイスマネージャ」タブをクリックする 「デバイスマネージャ」画面が表示されます。
- 4 ! や★が表示されていて動作しない周辺機器を選び、「プロパティ」ボタンをクリックする
- 5「プロパティ」画面で「リソース」タブをクリックし、「自動設定」の▼をクリックして■にする
- 6 競合しているリソースを「リソースの種類」一覧の中から選び、ダブルクリッ クする 「競合の情報」欄に、競合しているデバイスと、競合しているリソースの種類が表示されます。

7 競合しないリソースの値を設定し、「OK」ボタンをクリックする 「競合するデバイス」欄に競合しているデバイスと競合しているリソースが表示されます。

・ チェック 他の周辺機器がそのリソースを使用している場合や、「この設定のリソースは 変更できません」と表示された場合は、その値への変更はできません。

◆ メモ 選んだ周辺機器によっては「ポート番号」と「Ⅰ/0の範囲」など複数の変更が 必要になることがあります。

- 8 リソースが競合していないことを確認し、「プロパティ」画面で「OK」ボタン をクリックする
- 9「変更不可の環境設定の作成」の画面が表示されるので、「はい」ボタンを クリックする 元の画面に戻るまでに、しばらく時間がかかることがあります。そのままお待ちくだ さい。
- **10**「OK」ボタンをクリックし、「システムのプロパティ」を閉じる
- 11「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で▼をクリックして「再起動」を選 び、「OK」ボタンをクリックする Windowsが再起動します。

周辺機器を使えるようにセットアップする

周辺機器を使うには、接続した周辺機器用のデバイスドライバをパソコンにセットアップする必要があります。デバイスドライバとは、パソコンと周辺機器との仲介をする周辺機器専用のソフトウェアのことで、ドライバと呼ぶこともあります。デバ イスドライバのセットアップ方法は、周辺機器がプラグ&プレイ機能に対応しているかどうかによって異なります。

チェック

デバイスドライバが正しく組み込めなかった場合は、周辺機器が使用できないば かりか、パソコンの動作が不安定になることがあります。その場合は、周辺機器の マニュアルにしたがって、再度デバイスドライバを正しくセットアップしてください。 「プラグ&プレイ機能」対応の周辺機器の場合 周辺機器を接続してWindowsを起動すると自動的にドライバの設定が行われ、 周辺機器が使用可能な状態になります。



「プラグ&プレイ機能」に対応していない周辺機器の場合 周辺機器を接続したあと、ドライバの設定が必要な場合があります。設定の詳細 は、このパソコンやドライバに添付のREADMEファイルや周辺機器のマニュア ルをご覧ください。

◆ メモ READMEファイルは、「メモ帳」などのテキスト形式のファイルが開けるアプリ ケーションで簡単に見ることができます。

周辺機器の電源を入れる / 切る順序

このパソコンに周辺機器を接続しているときには、次の順序で電源を入れたり、 切ったりしてください。

電源を入れるとき

周辺機器 パソコン

電源を切るとき

パソコン 周辺機器

プリンタ

このパソコンで使用できるプリンタ

このパソコンにはUSB対応のプリンタを接続することができます。USB対応のプリンタを接続するときは、プリンタのほかに、このパソコンと接続するための別売のケーブルが必要になります。

使用したいプリンタがパラレルコネクタに接続するタイプのプリンタの場合は、別売のUSBポートバー(PK-UP012S/PK-UP012NS/PK-UP012US)と別売の25 ピンパラレルインターフェイスに対応したプリンタケーブルが必要になります。



プリンタを使う準備

プリンタによっては、接続するだけですぐ使えるものもあります。 プリンタを接続しても何も表示されない場合は、「スタート」ボタン 「設定」「プリンタ」でご購入のプリンタのアイコンが表示されているか確認してください。 ご購入のプリンタのアイコンが表示されている場合は、すぐにプリンタを使うことができます。

USB対応のプリンタ

1 USB対応のプリンタを接続する

6 参照

接続のしかた このPARTの「USB対応機器」の「USBコネクタに接続する」 (p.204)

2 プリンタ用のドライバや必要なアプリケーションをインストールする



インストールのしかた プリンタに添付のマニュアル

3 正しく接続できたかテスト印刷をして確認する

4

パラレルコネクタに接続するプリンタ

1 このパソコンにUSBポートバーを接続する

参照
接続のしかた USBポートバーのマニュアル

- 2 USBポートバーのパラレルコネクタにプリンタを接続する
- 3 下記の「プリンタを設定する」の手順にしたがって、プリンタの設定を行う

プリンタを設定する

パラレルコネクタに接続したプリンタの設定は、使用するプリンタの機種ごとに、 Windowsの「プリンタ」の画面で行います。例えば、会社で使うプリンタと家庭で 使うプリンタの機種が異なる場合は、それぞれの機種に対して設定を行う必要が あります。

プラグ&プレイ機能対応のプリンタを設定する

プラグ&プレイ機能 p.170)に対応したプリンタを設定する場合、プリンタをパ ソコンに接続したあと、プリンタ パソコンの順に電源を入れると、自動的にプリ ンタドライバの組み込みが行われます。

プラグ&プレイ機能を利用しないでセットアップを行う場合

1 プリンタが正しく接続され、プリンタの電源が入っていることを確認する

2「スタート」ボタン 「設定」「プリンタ」をクリックする 「プリンタ」画面が表示されます。 すでに設定済みのプリンタがある場合は、その機種のアイコンが表示されています。 3「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックする 「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されます。

ブリンタの通知ウィザード	
	このパイリートを使うこ、アリンタを同年にインストールにきより。
A second se	イノストールを5回るには、レズヘ3 をジリタクしていたさい。
	< 戻る(日) 次へ> キャンセル

- 4 「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「プリンタはどこに接続されていますか?」と表示された場合は、「ローカル プリンタ」をクリックして「次へ」ボタンをクリックする 「製造元」と「プリンタ」のリストが表示されます。
- 6 表示されたリストの中から、使用するプリンタの製造元とプリンタの機種 または互換性のある機種 を選ぶ

プリンタの追加ウィザード		
ブリンタの製造元とそう は、ビディスク使用を 参照して互換性のある	ルを選択してください。 プリンタにインストール ディス リックしてください。 プリンタが一覧にない場合は、 プ 5プリンタを選択してください。	クが付いている場合 リンタのマニュアルを
製造元(<u>M</u>):	ブリンタ (P):	
OceColor	NEC PICTY180(PC-PR101/J180)	<u> </u>
OKI Okidata	NEC PICTY200 NEC PICTY300	
Olivetti Panasonic	NEC PICTY400 NEC PICTY80L	
PostScript	NEC MultiWriter 1000EW NPDL2	•
		ディスク使用(出)
	〈 戻る(8) 〉 次へ 〉	キャンセル

プリンタにインストールディスク、ドライバディスク)が添付されており、そのインストー ルディスクを使用してセットアップを行う場合は、「ディスク使用」ボタンをクリック します。インストール場所を指定する画面が表示されたら、プリンタのマニュアル をご覧になり、インストールディスクの指定を行ってください。 4

7 「次へ」ボタンをクリックすると、プリンタを使用できるポートのリストが表示 されるので、LPT1を選ぶ

プリンタの追加ウィザード	
- A man	ブリンタで使用するボートを選んで、D欠へ] をクリックしてください。
Charles and an annual sector of the sector o	利用できるポート(<u>A):</u> 「COM1: 通信ポート
And and a second second	COM2: LT Win Modem COM4: 赤外線シリアル (COM) ポート FAXMODEM 不明なローカル ポート
	FLEE ディスクアルタイドBA LATE EGP2Uクタボート LPT3: 赤外線プリンタ(LPT)ボート
	, ボートの設定(©)
	< 戻る(B) 次へ > キャンセル

- 8「次へ」ボタンをクリックし、表示された画面の「プリンタ名」欄に使用するプリンタの名前を付ける この欄には手順6で選んだプリンタの機種名がプリンタ名として表示されるので、 特に名前を付け直す必要がなければ、そのままにしておきます。
- **9**「次へ」ボタンをクリックする

テスト印刷を行うかどうかを選ぶ画面が表示されます。

「はい(推奨)」を選ぶと、テストページの印刷によってプリンタの接続や設定が正常に行われたかどうか確認することができます。この場合は、あらかじめプリンタのマニュアルにしたがって用紙などをセットしておいてください。

	インストール後、ブリンタが正しく設定されたかどうか確認するために、 テスト ページを印刷できます。
	印字テストを行いますか?
and party in the second second	● はい (推奨)(Y)
	C (K)20
	〈戻る(8) 完了 キャンセル

10 設定が終了したら「完了」ボタンをクリックする もし、今までの設定を変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックして前の設定画 面に戻り、設定をやり直します。

このあと必要なファイルのコピーが行われます。ファイルのコピーがすべて終了 すると、設定したプリンタのアイコンが「プリンタ」画面に表示されます。 「Windowsのディスクを挿入してください」というメッセージが表示された場合は、 「C: ¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を指定してください。

4

チェック

NEC製プリンタのMultiWriterシリーズ、MultiImpactシリーズでPrintAgentをお使いの場合は、スタンバイ機能に対応していない場合があります。その場合は、「コントロールパネル」の「電源の管理」の「電源設定」タブで「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。

ネットワーク上の共有プリンタを使うための設定をする

ネットワークに接続されているプリンタを使用する場合は、次のように設定します。 設定するには、あらかじめプリンタのパスを調べておく必要があります。プリンタの パス名など、ネットワークプリンタについては、ネットワークの管理者にお問い合わ せください。

- 1 プリンタを設定する (p.172)の手順1~4を行う
- **2**「ネットワークプリンタ」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする 次のような画面が表示されます。

プリンタの追加ウィザード			
Ananova de la constante de la	プリンタのネットワーク パスまたは印刷キュー名を入力してください。わからない場合は「参照」をグリックすると、利用できるネットワーク プリングが表示されます。 ネットワーク パスまたはキューの名前(空):		
	参照(E) MS-DOS アブリケーションから印刷しますか? C はいひ) C いいえ(Q)		
	〈 戻る(B) 次へ 〉 キャンセル		

- 3 ネットワークパス名を入力する 「参照」ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているプリンタが表示され るので、そこから選ぶこともできます。
- 4「次へ」ボタンをクリックし、あとは画面の指示にしたがってプリンタの設定 を行う

マウス

別売のマウスの設定方法

このパソコンでは、別売のUSBマウスを使用することができます。

● チェック マウスドライバの変更を行うとき、一時的にマウスやNXパッドなどのポインティン グデバイスが使用できなくなる場合があります。その場合でもキーボードによる操 作は可能ですので次の手順でWindowsを再起動してください。

キーボードを使って再起動する

1 【Ctrl 】を押しながら【Esc】を押す

2 カーソル移動キーで「Windowsの終了」を選択し【Enter】を押す

3 カーソル移動キーで「再起動」を選択し、【Enter】を押す

USBマウスを使用する

このパソコンにUSBマウスを接続して使用する場合は、次の手順で設定を行って ください。

チェック

マウスドライバの変更を行うときは、使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

- **1**「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 2「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「マウス」の左の ●をクリックする
- **3**「NX PAD」をクリックし「プロパティ」ボタンをクリックする 「NX PADのプロパティ」画面が表示されます。
- **4**「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。

- 5 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」の ででにし、「次へ」ボタンをクリックする
- 6「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするド ライバを選択する」の○をクリックして○にし、「次へ」ボタンをクリックす る
- 7 「モデル」欄から「標準PS/2ポートマウス」をクリックし、「次へ」ボタンをク リックする



- ・「モデル」欄に「標準PS/2ポートマウス」が表示されていない場合は、「すべてのハードウェアを表示」の()をクリックして(・)にして「製造元」欄から「(標準マウス)」を選択し、「モデル」欄から「標準PS/2ポートマウス」を選択してください。
- ・「ドライバ更新の警告」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリック してください。
- 8 「次へ」ボタンをクリックする 必要なファイルがコピーされます。
- 9「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました。」 と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする 「システム設定の変更」画面が表示されます。

チェック
ポインタが動かなくなった場合は、【Enter】を押してください。

10「はい」ボタンをクリックする Windowsが再起動します。

USBマウスを使用する場合は、Windowsが起動したあとにUSBマウスを接続してください。

NXパッドを使用する設定に戻す

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- **2**「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「マウス」の左の王をクリックす る
- 3 現在使用しているマウスを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックする 現在使用しているマウスのプロパティ画面が表示されます。
- **4**「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。
- 5「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」の◎をクリックして◎にし、「次へ」ボタンをクリックする
- 6「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするド ライバを選択する」の○をクリックして○にし、「次へ」ボタンをクリックす る
- 7「モデル」欄から「NX PAD」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「次へ」ボタンをクリックする 必要なファイルがコピーされます。
- 9 「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました。」 と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 10 「閉じる」ボタンをクリックし、再び「閉じる」ボタンをクリックする
- 11「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で▼をクリックして「再起動」を選 び、「OK」ボタンをクリックする

再起動後、NXパッドが有効になります。再起動してもポインタが動かない場合は、 キーボードを使用してWindowsをもう一度再起動してください。

他社製のマウスドライバを使用するときの注意

他社製のマウスには、独自のマウスドライバが添付されているものがあります。他社製マウスドライバのインストール、アンインストールは次の手順で行ってください。

チェック
 マウスドライバを変更するときは、使用中のアプリケーションをすべて終了させて
 ください。

他社製のマウスドライバをインストールする

- 1「USBマウスを使用する(p.176)の手順1~11を行い、マウスドライバを「標準PS/2ポートマウス」に設定する
- 2 他社製のマウスドライバをインストールする



マウスドライバのアンインストール マウスのマニュアル

他社製のマウスドライバをアンインストールする

1 他社製のマウスドライバをアンインストールする



マウスドライバのアンインストール マウスのマニュアル

- **2**「USBマウスを使用する(p.176)の手順1~10を行い、マウスドライバ を「標準PS/2ポートマウス」に設定する
- **3**「NXパッドを使用する設定に戻す(p.178)の手順にしたがって、NXパッドを使用する設定に戻す

4



CRTディスプレイを使う

このパソコンには別売のCRTディスプレイを接続することができます。CRTディ スプレイの大画面を使った作業が可能になります。

CRTディスプレイ接続時の解像度と表示色

別売のCRTディスプレイでは、次の解像度と表示色を表示できます。

表示解像度	表示解像度 水平走查		表示色		
(ドット)	周波数(KHz)	周波数(Hz)	256色	65,536色	1,677万色
640 × 480	31.5	60			
	37.5	75			
	43.3	85			
800 × 600	37.9	60			
	46.9	75			
	53.7	85			
1,024×768	48.4	60			
	60.0	75			
	68.7	85			
1,280×1,024	64.0	60			-
	80.0	75			-
	91.1	85			-
1,600×1,200	75.0	60			-

:表示可能

-:表示不可

チェック

使用するCRTディスプレイによっては、上の表に記載されている走査周波数や解 像度と異なる場合があります。CRTディスプレイを使用するときは、CRTディスプ レイのマニュアルで、対応している走査周波数や解像度を確認してください。 CRTディスプレイを接続する

- 1 パソコンを使用中の場合は、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で▼を クリックして「終了」を選び、「OK」ボタンをクリックして電源を切る
- 2 ディスプレイ用ケーブルをパソコンの外部CRT用コネクタに差し込み、ネ ジを回して固定する



- 3 CRTディスプレイの電源ケーブルを、ディスプレイ背面の電源コネクタに 差し込む 詳しくはCRTディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- 4 パソコンにACアダプタを接続する
- 5 CRTディスプレイの電源ケーブルとパソコンの電源コードをACコンセント に接続する CRTディスプレイを接続した場合、パソコンはACアダプタで使用してください。

プロジェクタを使う

このパソコンには、別売のプロジェクタを接続することができます。プロジェクタは、プレゼンテーションなどに利用することができます。

プロジェクタと解像度について

別売のプロジェクタを使用する場合は、プロジェクタのマニュアルを参考にして 表示解像度などを確認してください。

● 参照 プロジェクタとの接続のしかた プロジェクタのマニュアル

テレビを使う

このパソコンのS映像出力端子(S)とS映像入力端子を持つテレビやビデオな どの機器を接続すると、パソコンの画面やDVD VIDEOディスクの再生画面をテ レビに出力することができるようになります。



S映像入力端子付きのテレビやビデオと接続する場合は、S映像出力端子に市販のビデオケーブルを接続してテレビやビデオと接続してください。 テレビへの出力のしかたについては、次の「表示するディスプレイを切り替える」 をご覧ください。

🗋 参照

テレビで表示できる表示色と解像度 PART1の「液晶ディスプレイ」の「表示できる解像度と表示色(p.51)

表示するディスプレイを切り替える

別売のCRTディスプレイやテレビなどが接続されているときは、キーボードを使って画面の出力先を切り替えることができます。

1 [Fn]を押したまま[F3]を押す

キーを押すごとに、「このパソコンの液晶ディスプレイとCRTディスプレイの同時表示」「テレビ」「このパソコンの液晶ディスプレイ」「CRTディスプレイ」の順に画面の出力先が切り替わります。



4

複数のディスプレイに同時表示する

パソコンの液晶ディスプレイと接続した外部ディスプレイの両方に同時に画面を 表示させるには、次のような方法があります。

- ・同じ画面を2つのディスプレイに表示する
- ・2つのディスプレイを使ってひとつの画面を表示する(デュアルディスプレイ機能)

チェック

デュアルディスプレイ機能 p.184)の実行中や、このパソコンの液晶ディスプレイとテレビに画面を同時表示しているときには、DVD VIDEOディスクを再生することはできません。

同じ画面を2つのディスプレイに表示する

- 1 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」画面が表示されます。
- 2「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- 3「表示デバイス」タブをクリックする
- 4 「LCD/CRT」の◎をクリックして◎にする
- 5 設定が終了したら「適用」ボタンをクリックする 「Warning Message」画面が表示されます。
- **6**「OK」ボタンをクリックする 「確認」画面が表示されます。
- **7**「OK」ボタンをクリックする
- **8**「OK」ボタンをクリックし、再び「OK」ボタンをクリックする

デュアルディスプレイ機能

デュアルディスプレイ(Dual Display)とは、CRTディスプレイなどの外部ディス プレイを接続したときに、本体の液晶ディスプレイと外部ディスプレイを使ってひ とつの画面として表示できる機能です。液晶ディスプレイと外部ディスプレイを続 き画面として利用できるので、表示できる範囲が広くなります。

● チェック 画面の解像度によっては、デュアルディスプレイ表示にならない場合があります。

デュアルディスプレイ機能を使う

- **1**「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」画面が表示されます。
- 2「設定」タブをクリックする
- **3**「2」と表示されたディスプレイのイラストをクリックする モニタの使用を確認するメッセージが表示されます。
- 4 「はい」ボタンをクリックする
- 5 「適用」ボタンをクリックする これでデュアルディスプレイ機能を使うことができます。

デュアルディスプレイ機能を解除する

- 1 デュアルディスプレイ機能を使う」の手順1~2を行う
- 2「2」と表示されたディスプレイのイラストを右クリックする
- 3 表示されたメニューから「使用可能」をクリックする
- 4「適用」ボタンをクリックする これでデュアルディスプレイ機能は解除されました。

4

接続した外部ディスプレイを設定する

別売のCRTディスプレイを使用したとき、表示されたメッセージが適切でなかった リ、プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合には、次の操作を行って ください。

- **1**「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」画面が表示されます。
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- **3**「モニタ」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。
- 4「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」の○をクリックして○にし、「次へ」ボタンをクリックする
- 5「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするド ライバを選択する」の◎をクリックして◎にし、「次へ」ボタンをクリックす る
- 6 「すべてのハードウェアを表示」の○をクリックして⊙にする
- 7 一覧から「製造元」と「モデル」を選ぶ 一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」欄で「(標準モニタの種類)」を選び、「モデル」欄で接続したディスプレイに対応した解像度を選んでください。
- 8 「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリックする
- 9「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- **10**「OK」ボタンをクリックする これでディスプレイの設定が完了しました。



メディア用ポケットのアダプタについて

このパソコンのメディア用ポケットでは、マジックゲート メモリースティック ア ダプタやSDメモリーカードアダプタを使用し、「マジックゲート メモリースティッ ク」や「SDメモリーカード」を使用することができます。

マジックゲート メモリースティック アダプタやSDメモリーカードアダプタが添付されているモデルの場合、詳しい使いかたについては『「メモリースティック」を使ってみよう』をご覧ください。

マジックゲート メモリースティック アダプタやSDメモリーカードアダプタが添付されていないモデルの場合、「メモリースティック」や「SDメモリーカード」を使用するには、別売のアダプタが必要です。

型名	名称	
PC-VP-WU08	マジックゲート メモリースティック	アダプタ
PC-VP-WU09	SDメモリーカードアダプタ	

インナーシートホルダーについて(LC800J/84DFの場合)

LC800J/84DFでは、メディア用ポケットに、あらかじめ「インナーシートホルダー」 が取り付けられています。

別売のマジックゲート メモリースティック アダプタやSDメモリーカードアダプ タを使用する場合は、次ページのようにしてインナーシートホルダーを取り外して ください。



1 メディア用ポケットイジェクトスイッチを本体背面側にスライドさせる



1 インナーシートホルダーをパソコンのメディア用ポケットに奥までしっかり 差し込む

P C **カー**ド

PCカードとPCカードスロットを使う

PCカードについて

PCカードには、メモリカードやモデムカード、SCSIインターフェイス対応機器をつ なげるためのSCSIカードなどいくつかの種類があり、用途も幅広く使われていま す。PCカードを使うことで、パソコンの機能を拡張したり、さまざまな周辺機器を接 続することができます。このパソコンではPC Card Standard準拠のPCカードが 使用できます。

PCカードスロットについて

- ・TYPE IかTYPE のPCカードを手前と奥のスロットに1枚ずつ2枚まで使用できます。
- ・CardBus対応のPCカードは、ソケット1(スロット0)またはソケット2(スロット1) の両方で同時に使うことができます。
- ・TYPE のPCカードを使うことはできません。



ワイヤレスLANモデルをお使いの場合、奥側がソケット 2 スロット0) 手前側がソケット3 スロット1) となります。

PCカードの取り扱いについて

PCカードは精密にできています。PCカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ・高温多湿あるいは低温の場所に放置しないでください。
- ・濡らさないでください。
- ・重いものを乗せたり、ねじ曲げたりしないでください。
- ・ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。
- ・PCカードの端子部分に金属などを差し込まないでください。

4

PCカードを使用するときの注意

- ・PC Card Standardに準拠していないPCカードは使用できません。対応してい ないPCカードを無理に押し込むと、故障の原因となります。
- ・ATAカードをセットしていると、カードをセットしていないときよりもスタンバイ状態または休止状態になるまでに時間がかかります。
- マルチファンクションカードとATAカードを同時にセットして使用するときは、手前のスロット(スロット1)にマルチファンクションカードを、奥のスロット(スロット 0)にATAカードをセットしてください。
- ・CardBus対応PCカードのドライバをインストールしているときに、「例外エラー」 が発生する場合があります。この場合、Windowsを再起動すると、正常にインス トールを完了することがあります。

PCカードのセットのしかたと取り出しかた



PCカードをセットする / 取り出すときの注意

- ・PCカードには表と裏があり、スロットに差し込む方向も決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。
- ・スタンバイ状態または休止状態のときは、PCカードをセットしたり、取り出したり しないでください。パソコンの機器構成が変更されると、データが消失してしま うことがあります。
- アプリケーションを使用中は、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。

1 PCカードの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして、水平に静かに差し込む



PCカードを取り出す

PCカードを取り出すときは、必ず次の手順で取り出してください。

- 1 インジケータ領域 タスクトレイ)にある 「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。
- 2 取り外したいPCカードを選択し、「停止」ボタンをクリックする
- **3**「0K」ボタンをクリックする 安全に取り外せるという内容のメッセージが表示されます。
- 4「OK」ボタンをクリックする
- 5 閉じる」ボタンをクリックする
 - 「ハードウェアの取り外し」画面が閉じます。

6 本体のPCカードイジェクトボタンを押す イジェクトボタンが手前にとび出します。



7 もう一度、イジェクトボタンをカチッと音がするまで押す PCカードが少しとび出します。



8 PCカードを水平に静かに引き抜く



上記の手順以外の方法でPCカードを抜きとった場合は、「予期しないPCカードの 取り外し」画面が表示される場合があります。「OK」ボタンをクリックして、画面を 閉じてください。

PCカードの割り込みレベルを設定する

PCカードによっては、割り込みレベルの設定がパソコンの他の設定と重なってしまう場合があります。PART6の「割り込みレベルとDMAチャネル(p.233)やPCカードのマニュアルをご覧になり、割り込みレベルが重なっていないか確認してください。割り込みレベルが重なる場合は、重ならないように設定を変更してください。

6 参照

割り込みレベルの設定を変更する「リソースの競合について(p.168)

メモリ

メモリを増設する(LC800J/84DFのみ)

別売の増設RAMボードを取り付けてメモリを増やすことで、より多くのアプリケーションを同時に起動したり、大きなデータをより高速に扱うことができるようになります。

▼ メモ メモリスロットのもう片方に別売の128Mバイトの増設RAMボードを取り付ける ことで最大256Mバイトまでメモリを増設することができます。

このパソコンでは、次の増設RAMボードが使用できます。

型名	メモリ容量
PK-UG-M024	64Mバイト
PK-UG-M025	128Mバイト

増設RAMボードを取り扱うときの注意

⚠注意

増設RAMボードの取り付け/取り外しをするときは、本機の電源を切った あと、電源コードとバッテリパックを取り外してください。電源コードやバッ テリパックが取り付けられたまま増設RAMボードの取り付け/取り外しを すると、感電の原因となります。

- ・増設RAMボードは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態で増設RAM ボードを扱うと破損する原因となります。増設RAMボードに触れる前に、アルミ サッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
- ・ 増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、 故障の原因となります。
- ・ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
- ・増設RAMボードを間違った向きで無理に取り付けようとすると、パソコンのコネクタ部や増設RAMボードが故障する原因となります。取り付け方向に注意してください。

感電注意

増設RAMボードの取り付けかたと取り外しかた

増設RAMボードを取り付ける

- 1 パソコンを使用中の場合は、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で▼を クリックして「終了」を選び、「OK」ボタンをクリックして電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタをパソコ ンから取り外す
- 3 液晶ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返す
- **4** バッテリパックを取り外す(p.61)
- 5 図のネジをプラスドライバで取り外す



6 メモリスロットのカバーを取り外す



7 増設RAMボードの切り欠き部分をコネクタの突起部に合わせ、コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで挿入する 増設RAMボードを奥まで挿入できているときは、端子部分(金色)のほとんどが、 本体のコネクタに差し込まれた状態になります。

↓ チェック
増設RAMボードの表と裏が逆の場合は、増設RAMボードの切り欠きとコネ
クタの突起部の位置が合わず、挿入することができませんので、よく確認して
ください。



実物はイラストと多少異なる場合があります



チェック 挿入するときに、コネクタが固いことがありますが、奥までしっかり押し込んで ください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクタを破損するおそれ があります。

8 カチッと音がする位置まで増設RAMボードをコネクタに強く倒し込む



9 増設RAMボードがコネクタにしっかりロックされたことを確認する 正しくロックされている場合は、増設RAMボードが水平で、端子の金色の部分が 少し(1mm程度)見える状態です。





10 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本体底面に取り付ける

11 バッテリパックとACアダプタを取り付ける

メモリ増設後は、次の「増設したメモリ(RAM)の確認」にしたがって、正しく増設で きたかどうか確認してください。

増設したメモリ(RAM)の確認

X---

増設したメモリがパソコンに正しく認識されているかどうかを確認します。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- **2**「全般」タブで右下に表示されている「×××MBのRAM」の数値を確認する ×××MBがこのパソコンの総メモリ容量です。

システムの状態によっては、増設したメモリ分より容量が少なく表示される 場合がありますが故障ではありません。

メモリ容量が増えていない場合は、次のことを確認してください。

- ・増設RAMボードが正しく取り付けられているか
- ・このパソコンで使用できる増設RAMボードを取り付けているか

4

ハードディスクの空き容量を確認する

このパソコンで休止状態の機能 p.68 を使用する場合は、次の手順1~4の操作を行って設定を確認してください。増設したメモリ容量分、ハードディスクの空き容量が必要になります。

1 パソコンの電源を入れる

チェック パソコンの記動直後にメッヤージが表示されますが、動作上問題ありません。

- 2「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする 「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
- 3 「休止状態」タブをクリックする
- 4「休止のためのディスク領域」欄で、「ディスクの空き領域」の値が「休止状態にするために必要なディスク領域」の値よりも大きいことを確認する



- **1**「増設RAMボードを取り付ける(p.195)の手順1~6にしたがって、メモリスロットのカバーを取り外す
- **2** メモリスロットのコネクタの両端部分を左右に押し広げる 増設RAMボードが図のようにおきあがります。



3 そのまま増設RAMボードを斜めに引き抜く



4 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本体底面に取り付ける

5 バッテリパックを取り付ける
IEEE1394コネクタ

IEEE1394とは

IEEE1394は、IEEE(米国電気電子技術者協会)で標準化された規格の一つで、 パソコンと周辺機器のデータのやりとりを高速に行うことができるインターフェイ スです。転送速度が早いので、動画などの容量の大きいデータもスムーズに転送 することができます。

IEEE1394に対応している周辺機器には、デジタルビデオカメラやデジタルビデ オデッキなどがあります。

IEEE1394対応機器を接続する

接続する前に

- ・このパソコンと、IEEE1394コネクタを持っている周辺機器を接続するときは、別 売のケーブルが必要です。このパソコンのIEEE1394コネクタは、4ピンのコネ クタです。ケーブルを購入する際には、接続するパソコンや機器側のコネクタの 形状も確認しておいてください。
- ・周辺機器によっては、IEEE1394に対応した端子のことを別の名称(DV端子など)で呼んでいる場合もあります。

このパソコンのIEEE1394コネクタ

このパソコンには、IEEE1394コネクタが2つあります。 同時に2種類のIEEE1394対応機器をパソコンに接続することができます。



4

IEEE1394コネクタに接続する

IEEE1394⊐ネクタ

1本体左側面のIEEE1394コネクタにIEEE1394ケーブルのプラグを接続する

どちらのコネクタに接続してもかまいません。

- チェック 接続するときは、プラグの向きに注意してください。間違った向きで無理に差し込もうとすると、本体側のコネクタやケーブルのプラグの故障または破損の 原因となります。
- 2 ケーブルのもう一方のプラグを周辺機器に接続する 周辺機器との接続については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

IEEE1394コネクタから機器を取り外す

IEEE1394対応機器は、パソコンの電源を入れたままでも取り外すことができます。

チェック

IEEE1394対応機器によっては、機器を接続するとインジケータ領域 タスクトレイ ハングが表示されます。このような場合は、次の手順で取り外しを行ってください。正しい手順で取り外しを行わないとパソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1 インジケータ領域 タスクトレイ)にある をダブルクリックする 「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。

- 2 取り外したい機器名をクリックして「停止」ボタンをクリックする 機器名が表示されていない場合は、手順5へ進んでください。
- 3 「ハードウェア デバイスの停止」画面で取り外したい機器名をクリックして 「OK」ボタンをクリックする 安全に取り外すことができるという内容のメッセージが表示されます。
- 4 OK ボタンをクリックする
- 5 閉じる」ボタンをクリックして「ハードウェアの取り外し」画面を閉じる
- 6 取り外す機器のプラグを、本体のIEEE1394コネクタから取り外す

IEEE1394コネクタでファイルを転送する

このパソコンのIEEE1394コネクタと別のパソコンのIEEE1394コネクタとを別売のIEEE1394接続ケーブルで接続すると、パソコン間でのファイルの転送ができるようになります。

チェック

IEEE1394接続ケーブルは、接続先のコネクタ形状に合わせたケーブルを使用してください。

接続にはホームネットワークの設定が必要です。

ホームネットワークの設定をするには、「ホーム ネットワーク ウィザード を使いま す。「スタート」ボタン 「プログラム」、「アクセサリ」、「通信」、「ホーム ネット ワーク ウィザード をクリックして表示された画面にしたがって設定を行ってくだ さい。

USB対応機器

USBとは

USBとはUniversal Serial Busの頭文字をとったもので、コネクタの形状が統一 されており、127台までの機器を接続することができます。また、電源を切らずにプ ラグの抜き差しが可能で、プラグ&プレイ機能にも対応しています。 USBコネクタはUSBポートと呼ぶこともあります。 現在利用できる主なUSB対応機器として、次のようなものがあります。

- ・マウス
- ・プリンタ ・イメージスキャナ
- ・デジタルカメラ

XŦ

- ・キーボード
- ・テンキーボード
- 携帯電話
- PHS端末
- ISDNターミナルアダプタ
 USBポートバー

など

・USB対応機器の、このパソコンでの動作確認情報については、各機器に添付 のマニュアルをご覧いただくか、各機器の発売元にお問い合わせください。な お、NEC製のUSB機器の情報は、NECのホームページ「121ware.com(ワン トゥワンウェア ドット コム)をご覧ください。

http://121ware.com/

・携帯電話やPHS端末を接続するには、携帯電話接続ケーブルまたはPHS接続 ケーブルが必要です。

USBコネクタに接続する

接続する前に

機器によっては、接続する前や接続したあとに、ドライバのインストールや各種ス イッチなどの設定が必要な場合がありますので、接続するUSB対応機器のマ ニュアルを読んで、接続する前に設定が必要な場合は、設定をしてください。また、 ドライバなどインストールに必要なCD-ROMやフロッピーディスクが添付されて いれば用意しておいてください。

- ・USB対応機器は、パソコンの電源を入れたままの状態でも接続できますので、 接続前に電源を切る必要はありません。
- ・別売のUSBマウスなどで、接続してすぐ使うことができるものがあります。ただし、いくつかの機能が制限される可能性がありますので、必ず添付のマニュアルをよく読んでください。

このパソコンのUSBコネクタ

XE

このパソコンには、USBコネクタが4つあります。



USB対応機器を接続するときの注意

- ・コントロールパネルの「システム」アイコンをダブルクリックすると表示される「デ バイスマネージャ」の画面にある「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」また ば Universal Serial Bus Controller」の記述は削除しないでください。
- ・USB対応機器の抜き差しを行うときは、3秒以上の間隔をおいて行ってください。
- ・USBコネクタにプラグをすばやく差したり斜めに差したりすると、信号が読みと れずに不明なデバイスとして認識されることがありますので、その場合はプラグ をUSBコネクタから抜いて、もう一度正しく接続しなおしてください。
- ・はじめてUSB対応機器を接続したときに、画面に何も表示されない場合は、 USBコネクタにプラグを正しく差し込めていない可能性があります。いったんプ ラグを抜き、もう一度差し込んでみてください。 なお、USB対応機器は一度設定をすれば、次回からはプラグを差し込むだけで、 すぐに機器が使用可能になります。このとき画面には何も表示されませんが、故 障ではありません。
- ・スタンバイ状態中、スタンバイ状態へ移行中、スタンバイ状態から復帰中、休止 状態中、休止状態へ移行中、休止状態から復帰中のときは、USBコネクタにプ ラグを抜き差ししないでください。

・USBハブ経由でUSB対応機器を使用するときは、USBハブをパソコンに接続 してからUSB対応機器を接続するようにしてください。USBハブにUSB対応機 器を接続した状態でUSBハブをパソコンに接続すると、USB対応機器が正常 に認識されないことがあります。

USBコネクタにプラグを差し込む

1 パソコン本体のUSBコネクタにプラグを差し込む どのコネクタに接続してもかまいません。



2 接続したUSB対応機器がパソコンに正しく認識されたかどうかを確認する 確認する方法は、機器の種類によって異なります。機器によっては、接続後さらに 別の設定作業が必要になる場合があります。詳しくは、各USB対応機器に添付の マニュアルなどをご覧ください。

- ・別売のUSBマウスを接続したときに、NXパッドでの操作を無効に設定しておくことができます。無効に設定しておくことにより、NXパッドでの誤操作を防ぐことができます。USBマウスを接続したときにNXパッドを無効にするには、BIOSセットアップメニューの「詳細」メニューで「NXパッド」を「使用しない」に設定してください(p.216)。
- ・このパソコンではUSBハブを内蔵しており、ポート2、3、4はハブを経由します。ハ ブの接続数に制限のあるオプションのUSB対応機器をポート2、3、4に接続して 正常に動作しない場合はポート1に接続してください。

周辺機器を使う

USBコネクタから機器を取り外す

USB対応機器は、パソコンの電源を入れたままでも取り外すことができます。

チェック USB対応機器によっては、機器を接続するとインジケータ領域、タスクトレイ)に が表示されます。このような場合は、次の手順で取り外しを行ってください。正しい手順で取り外しを行わないとパソコンが正常に動作しなくなることがあります。

- 1 インジケータ領域 タスクトレイ)にある をダブルクリックする 「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。
- 2 取り外したい機器名をクリックして「停止」ボタンをクリックする 機器名が表示されていない場合は、手順5へ進んでください。
- 3「ハードウェア デバイスの停止」画面で取り外したい機器名をクリックして「OK」ボタンをクリックする 安全に取り外すことができるという内容のメッセージが表示されます。
- 4「OK」ボタンをクリックする
- 5 「閉じる」ボタンをクリックして「ハードウェアの取り外し」画面を閉じる
- 6 取り外す機器のプラグを、本体のUSBコネクタから取り外す

NXパッドとUSBマウスを同時に使用する

NXパッドと別売のUSBマウスを同時に使用する場合は、次の手順にしたがって 設定を行ってください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「マウス」の左の王をクリックする
- **3**「NX PAD」をクリックし「プロパティ」ボタンをクリックする 「NX PADのプロパティ」画面が表示されます。
- **4**「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。
- 5「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」の○をクリックして○にし、「次へ」ボタンをクリックする

- 6「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするド ライバを選択する」の○をクリックして○にし、「次へ」ボタンをクリックす る
- 7 「モデル」欄から「標準PS/2ポートマウス」をクリックし、「次へ」ボタンをク リックする

チェック

- ・「モデル」欄に「標準PS/2ポートマウス」が表示されていない場合は、「すべてのハードウェアを表示」の©をクリックして ©にして「製造元」欄から「(標準マウス)」を選択し、「モデル」欄から「標準PS/2ポートマウス」を選択して ください。
- ・「ドライバ更新の警告」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリック してください。
- **8**「次へ」ボタンをクリックする 必要なファイルがコピーされます。
- 9「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました。」 と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする 「システム設定の変更」画面が表示されます。

チェック ポインタが動かなくなった場合は、Enter を押してください。

10「はい」ボタンをクリックする Windowsが再起動します

再起動後にUSBマウスを接続してください。 以上で設定は終了です。

- **X** X Z -

別売のUSBマウスを接続したときに、NXパッドでの操作を無効に設定しておく ことができます。無効に設定しておくことにより、NXパッドでの誤操作を防ぐこ とができます。USBマウスを接続したときにNXパッドを無効にするには、BIOS セットアップメニューの「詳細」メニューで、「NXパッド」を「使用しない」に設定し てください(p.216)。

4

USBポートバーを使用してさまざまな周辺機器を使う

USBポートバー(PK-UP012S/PK-UP012NS/PK-UP012US)を使うと、シリアル インターフェイスやパラレルインターフェイスの周辺機器を使うことができます。

シリアルインターフェイスの機器について

シリアルインターフェイスの機器を接続できるコネクタのことを一般的にシリアルポートと呼びます。

シリアルポートは、Windowsでは、COM1やCOM2などと呼びます。

シリアルポートには、外付けモデムやターミナルアダプタなどを接続することができます。

また、ほかのパソコンとケーブルで接続してデータ転送することもできます。

パラレルインターフェイスの機器について

パラレルインターフェイスの機器を接続できるコネクタのことを一般的にパラレルポートと呼びます。 パラレルポートは、Windowsでは、プリンタポートやLPT1などと呼びます。

パラレルポートには、おもにプリンタなどを接続することができます。 また、ほかのパソコンとケーブルで接続してデータ転送することもできます。



このパソコンのヘッドホン / オーディオ / 光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力 端子には、やデジタル入力を持ったオーディオ機器を接続することができます。



デジタル入力を持ったオーディオ機器を接続する場合、市販の光デジタルケー ブルを使用します。パソコン本体側の端子は光ミニ端子です。



- ・機器によっては、デジタル入力端子が光デジタルではない場合があります。この ような場合、別途、変換ユニットが必要になる場合があります。
- ・このパソコンの光デジタル出力のサンプリングレートは48KHzです。デジタル 入力のあるオーディオ機器を接続する場合、そのオーディオ機器が48KHzのサ ンプリングレートに対応している必要があります。オーディオ機器のマニュアル やカタログで確認するか、販売店、メーカーにお問い合わせください。



BIOSセットアップメニュー

セキュリティや省電力など、パソコンの使用環境の設定について説明します。設定方法を間違えると正しく動作しなくなってしまうので、十分注意してください。 また、必要がある場合以外は設定値を変更しないでください。

BIOS セットアップメニュ-

BIOSセットアップメニューを使ってできること

BIOSセットアップメニューは、パソコンの使用環境を設定するためのものです。 BIOSセットアップメニューを使うと次のような設定ができます。

- ・現在の日付と時間の設定
- ・BIOSセットアップメニューで使用する言語の選択
- ・ハードウェア環境の確認と変更
- ・セキュリティの設定
- ・起動デバイスの起動順位の設定

BIOSセットアップメニューを使う

BIOSセットアップメニューの起動とメイン画面

1 パソコンの電源を入れて「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押し続ける

チェック

BIOSセットアップメニューが表示されない場合は、いったん電源を切り、再度 電源を入れなおし、「NEC」のロゴ表示中に、キャップスロックキーランプ (<u>(</u>)、スクロールロックキーランプ(<u>(</u>)、ニューメリックロックキーランプ(<u>(</u>)) が同時に点灯したらすぐに【F2】を押してください。

次のようなメイン画面が表示されます。画面上では「PhoenixBIOSセットアップ ユーティリティ」と表示されます。

	I	PhoenixBIOSセットアップ	パユ − ティリ・	77	
メイン	詳細	セキュリティ	起動	終了	
システム	時刻:	[hh:mm:ss]	-		項目ヘルプ
システム 言語: ト 内蔵HDE 内蔵CD	日付:): /DVD:	[yy/mm/dd [日本語(JF [XXXXMB] [CD/DVD]])]		<tab>キー、<shift-t ab>キー、<enter>キー は、項目を選択します。</enter></shift-t </tab>
システム 拡張メモ CPUタイ CPU速度 BIOSパー	メモリ: リ: プ 【 ージョン:	XXXKB XXXXXKB XXX XXXXXXX M XXXXXXX M XXXXXXX	Hz X–XXXX/XX	xxx	
F1 ヘルフ Esc 終了	パ ↑↓項目の ←→ メニ	の選択 F5/F6 ユーの選択 Enter▶	値の変更 ・サブメニュー	ーの選択	F9 デフォルトの設定 F10 保存して終了

BIOSセットアップメニューの基本操作

- ・操作はキーボードで行います。
- ・【 】 】でメニューを選び、【 】 】で設定項目を選びます。
- ・設定内容の値は【F5】【F6】で変更します。

BIOSセットアップメニューを終了する

変更を保存して終了する

- 【F10】を押す セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
 終了を中止したいときは【Esc】を押してください。
- 2「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す 設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。



メニューバーから終了する

【 】 『でメニューバーの「終了」を選ぶと、以下のメニューが表示されます。

変更を保存して終了する

変更内容を保存してBIOSセットアップメニューを終了します。

変更を保存せずに終了する

設定値を保存せずにBIOSセットアップメニューを終了します。設定の変更を行った場合も、すべて無効にして終了します。

デフォルト値をロードする

すべての設定項目にデフォルト値を書き込みます。これによりBIOSセットアップ メニューの設定値は購入時の状態に戻ります。

変更を取り消す

すべての設定項目に対して変更前の値を読み込みます。BIOSセットアップメ ニューは終了しません。 変更を保存する

変更値を保存します。BIOSセットアップメニューは終了しません。

バッテリリフレッシュ

バッテリリフレッシュはバッテリの機能を回復させるための機能です。バッテリリフレッシュの詳しい手順については、PART1「バッテリ」の「バッテリリフレッシュ (p.58)をご覧ください。

購入時の値に戻す

- キーボードの【F9】を押す セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- **2**「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す デフォルト値を読み込みます。
- 3 キーボードの【F10】を押す セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- 4「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す 設定の変更を保存して終了します。

メニューバーの「終了」で「デフォルト値をロードする」を選んで購入時の値に戻 すこともできます。

設定項目一覧

ここでは、BIOSセットアップメニューでどのような設定ができるかを説明しています。 表中の反転部分は、購入時の設定です。

「メイン」メニューの設定

● チェック 内蔵HDDの設定を変更すると、内蔵ハードディスクが動作しなくなる場合があるので、通常は初期設定のまま使用してください。

	設定項目	設定値	説明
システム時刻(時: 分:秒)		-	現在の時刻を「時:分:秒(24時間形式) で設定します。
システム日付(年 / 月 / 日)		-	日付を「年 / 月 / 日 (西暦)で設定しま す。「言語」を「英語」に設定している場合 は、「月 / 日 / 年」で入力します。
言語		English(US) 日本語(JP) Francais(FR)	BIOSセットアップメニューで使用する言語 を設定します。標準では「日本語(JP)」に 設定されています。
内蔵HDD/内蔵 CD/DVD		-	現在接続されているIDEデバイスが表示されます。この項目にカーソルを合わせ 【Enter】を押すと設定画面が表示されます。 表示できるのは、内蔵HDD」の項目のみで す。【Esc】を押すとメイン画面に戻ります。
	タイプ	<mark>自動</mark> ユーザ CD/DVD なし	BIOSが自動的にシリンダ、ヘッド、セクタを 設定します。設定は変更しないでください。
	32ビット1/0	<u>使用しない</u> 使用する	32ビットIDEデータ転送を使用するかどう かを設定します。
システムメモリ		-	搭載されているシステムメモリ容量を表示 します。
拡張メモリ		-	搭載されている拡張メモリを表示します。
CPU タイプ		-	CPUタイプを表示します。
CPU速度		-	CPU速度を表示します。
BIOSバージョン		-	BIOSのバージョンを表示します。

「詳細」メニューの設定

設定項目	設定値	説明
起動時のNum-Lock	オン オフ	起動時にNum Lockをオンにするかを設定します。
NXパッド	使用する 使用しない	USBマウス接続時のNXパッドの動作について設定します。USBマウスを使用するときにNXパッドを無効にしたい場合は、「使用しない」に設定します。
LCDパネルの拡張 表示	オフ オン	LCDパネルの拡大表示を行うかどうかを 設定します。「オン」に設定すると、LCDパ ネルの最大表示サイズ以下の表示画面で は拡大されて表示されます。
セットアップ移行画 面表示	非表示 表 示	「表示」に設定すると、セットアップの移行画 面に関するメッセージが表示されます。
ビデオメモリサイズ	4 M B 8 M B	AGPビデオデバイスが使用するビデオメ モリサイズを設定します。
ハイバネーション警 告表示	表示 非表示	「表示」に設定すると、ハイバネーションの 警告に関するメッセージが表示されます。 このパソコンでは「非表示」で使用してくだ さい。
セットアップ情報画 面	使用しない 使用する	起動時にシステム設定状況を表示します。
サイレントブート	自己診断画面 回回回面 非表示	ブート時の画面を設定します。
USBレガシー機能	使用しない 使用する	「使用する」に設定するとUSBレガシー機 能が有効になります。「使用しない」に設定 すると、フロッピーディスクドライブからの起 動ができなくなります。
ワイヤレスデバイス	使用しない 使用する	FMトランスミッダ(ワイヤレスオーディオ)/ ワイヤレスLAN/Bluetooth™機能のオン /オズ電波を出す/出さないを切り替え ます。
Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジの設定	バッテリ 目動 使用しない	「自動」に設定すると、AC電源でコンピュー タ使用時に自動的に最高性能で動作しま す。「バッテリ」に設定すると、常にバッテリ 最適性能で動作します。「使用しない」に 設定すると、Intel® SpeedStep™テクノロ ジは使用できません。

: BIOSセットアップメニューを起動する場合は、電源を入れた後、1秒おきに【F2】を押すことを何度かくりかえしてください。

「セキュリティ」メニューの設定

スーパバイザパスワード設定

スーパバイザパスワードの設定または変更を行います。 【Enter】を押すとパスワード設定の画面が表示されるので設定を行ってください。

台参照

パスワードの設定 PART1の「セキュリティ機能(p.73)

ユーザパスワード設定

ユーザパスワードの設定または変更を行います。

スーパバイザパスワードを設定していないとユーザパスワードは設定できません。 【Enter】を押すとパスワード設定の画面が表示されるので設定を行ってください。

● 参照 パスワードの設定 PART1の「セキュリティ機能(p.73)

設定項目	設定値	説明
起動時の	使用しない	システム起動時にパスワード入力を行うか
パスワード	使用する	どうかを設定します。
ハードディスク起動	通常動作	ウイルス感染防止のため、ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかどうかを
セクタ	書込み禁止	設定します。

:スーパバイザパスワードを設定していないと「起動時のパスワード」は設定できません。

「起動」メニューの設定

Networkブート(LAN内蔵モデルのみ)

ネットワークからの起動が必要な場合、「使用する」に設定します。 通常は「使用しない」でご使用ください。

起動順位

起動するデバイスが優先順にしたがってリスト表示されます。 パソコンを起動するときには、表示順にOSを検索し、もしOSが存在しないなど起 動に失敗した場合は、次に表示されているデバイスからパソコンを起動します。

・起動デバイスの表示と順位の変更

デバイス名の左に+の表示があるデバイスにカーソルを合わせて【Enter を押すと展開表示されます。

起動するデバイスを変更するには【 】 を使用して変更したいデバイスにカー ソルを合わせます。このキーと【Shiftを同時に押すとリストの上側に移動し、 こ。 を押すとリストの下側に移動します。

なお、ニューメリックロックキーランプ(1)が点灯しているときには前面に【+】 【-】の刻印のあるキーでもリストの上下にカーソルを移動させることができます。



付録

ここでは、このパソコンの機能に関連した補足情報 を説明しています。

パソコンのお手入れ

用意するもの

汚れが軽いとき やわらかい素材の乾いたきれいな布

汚れがひどいとき

水かぬるま湯を含ませ堅くしぼったきれいな布



OA機器用クリーニングキットも汚れを拭き取るのに便利です。OA機器用クリーニングキットについてはご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにお問い合わせください。

6 参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』または「サポートセンタ」-「NECのサービス&サポート」

パソコンのお手入れをはじめる前に



お手入れの前には、必ず本機や本機の周辺機器の電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてください。

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電することがあります。

∧注意

パソコンのお手入れをするときは、次のことに注意してください。

- ・水やぬるま湯は、絶対にパソコンに直接かけないでください。パソコンの傷みや 故障の原因になります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わない でください。パソコンの傷みや故障の原因になります。

お手入れのしかた

液晶ディスプレイ

やわらかい素材の乾いたきれいな布で拭いてください。水やぬるま湯、揮発性の 有機溶剤、化学ぞうきんは使わないでください。

本体 / NXパッド / キーボード

やわらかい素材の乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水か ぬるま湯を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。

キーボードのキーのすきまにゴミが入ったときは、専用のクリーナーなどでゴミを とってください。ゴミがとれないときは、ご購入元、NECフィールディングの各支店、 営業所に問い合わせてください。

6 参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』または「サポートセンタ」-「NECのサービス&サポート」

フロッピーディスクドライブ

クリーニングディスク(別売)を使ってフロッピーディスクドライブをクリーニングします。ひと月に一回を目安にクリーニングしてください。

電源コード

電源コードのプラグを長時間にわたってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取るようにしてください。

Windows 2000 Professionalを使う

Windows 2000 Professionalを使うための手順



このパソコンにインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは Windows 2000 Professionalでは使用できません。

このパソコンで別売のWindows 2000 Professionalを使う場合の手順については、添付の「アプリケーションCD-ROM Vol.2」をCD-R/RW with DVD-ROM ドライブにセットして下記のファイルをご覧ください。

セットアップ手順 E:¥Win2K¥Setup.txt

セットアップ時の注意事項

E:¥Win2K¥Readme.txt



EはCD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブを表しています。実際と異なる場合は読み替えてください。

チェック

- ・セットアップ中、ファイルを見ることができなくなる場合がありますので、印刷して ご利用になることをおすすめします。
- ・ワイヤレスLANモデルのワイヤレスLAN機能をWindows 2000 Professional で使用する場合は、『ワイヤレスLAN(無線LAN)について』のPART6の 「Windows 2000で使用する」をご覧になり、ドライバをインストールしてください。
- ・「メモリースティック」や「SDメモリーカード」は、Windows 2000 Professionalで は使用できません。

機能一覧

本体

_					
型	名		LC900J/84DB LC900J/84DH	LC800J/84DH LC800J/84DF	
型	型番		PC-LC900J84DB PC-LC900J84DH	PC - LC800J84DH PC - LC800J84DF	
CPU			モバイル インテル [®] Pentium [®] プロセッサ900MHz (インテル [®] SpeedStep [™] テクノロジ搭載)	モバイル インテル® Pentium® プロセッサ800MHz (インテル®SpeedStep™ テクノロジ搭載)	
内	蔵キャッシ	ュメモリ	32Kバイト		
セク	カンドキャッ	シュメモリ			
ᆂ	ROM		512KバイH(BIOSほか)		
IJ	メインR A	М	LC800J/84DFの場合 :標準128M/ 上記以外のモデルの場合:標準256M/	バイト(システムバス100MHz) バイト(システムバス100MHz)	
		最大	256Mバイ (LC800J/84DFでは別売の ^は けた場合)	曽設RAMボード(128Mバイト)を2枚取り付	
	ビデオR	AM	4/8M/バイト		
表	表示素子	1	バックライト付14.1型TFTカラー液晶ディスプレイ(XGA)		
示機	グラフィッ	ゥ	Trident Cyber BLADE i1標準搭載 (ビデオアクセラレーション機能対応)		
能	アクセラレータ		640×480ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 800×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 1024×768ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 1280×1024ドット(26万色中256色/65536色) ² 1600×1200ドット(26万色中256色/65536色) ²		
	別売のC	RTディス	640×480ドット(26万色中256色 / 6553	6色/1677万色)	
	プレイ接続	続時	800×600ドット(26万色中256色 / 65536色 / 1677万色)		
			1024×/00FツF(20刀巴中250巴/05530巴/16//刀巴) 1280×1024ドッH(26万色中256色/65536色)		
			1600×1200ドット(26万色中256色 / 65	536色)	
サ	サウンドラ	チップ	ADI社製 AD1886搭載		
ウンド	PCM録音·再生機能		内蔵、ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8KHz/11.025KHz/ 16KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)、全二重化対応		
機能	MIDI音源	衰機能	内蔵 拡張WAVE Table音源 WAVE Table音源最大64音])		
	スピーカ	・マイク	ステレオスピーカ・マイクロホン内蔵		
	サラウント	2	3Dポジショナルサウンド		
	DolbyHeadphone機能		サポート		

型	名	LC900J/84DB LC900J/84DH	LC800J/84DH LC800J/84DF	
型	番	PC-LC900J84DB PC-LC900J84DH	PC-LC800J84DH PC-LC800J84DF	
通信機	モデム	モデム内蔵(データ転送速度 最大56Kbp データ圧縮V.42bis/MNP5)	s(V.90)エラー訂正V.42/MNP4	
能能	FAX	内蔵(データ転送速度 最大14.4Kbps()	/.17 JFAX制御クラス1)	
	LAN	LC900J/84DBの場合:ワイヤレスLANインターフェイス内蔵、LANカード添付 LC900J/84DHの場合:ワイヤレスLANインターフェイス内蔵 LC800Jの場合 :LAN内蔵 100BASE-TX/10BASE-T)		
	Bluetooth™機能	内蔵(LC900J/84DBのみ)	-	
入力装置	キーボード	本体との一体型、JIS標準配列(英数・か ションキー・Windowsキー・アプリケーション Ctrlキー付	な) Fnキー(ホットキー対応) 12ファンク ンキー・Num Lockキー・右Altキー・右	
	ポインティングデバイス	NXパッド標準装備(スクロールスライドス・	イッチ付)	
補	フロッピーディスクドライブ	外付3.5型USBフロッピーディスクドライフ	1×1	
助記憶	固定ディスクドライブ 3	LC800J/84DFの場合 :約20.0Gバイト 4 上記以外のモデルの場合 :約30.0Gバイト 4		
置	CD-R/RW with DVD-ROMドライブ ⁵	読み込み最大24倍速(CD-ROM)/8倍速 換え最大4倍速	& DVD-ROM)書き込み最大8倍速、書き	
インターフェイス		ディスプレイ(アナログRGBセパレート信号 ピン)×2、USB×4、ビデオ出力(S-Video	号出力、ミニD-SUB15ピン)、IEEE1394(4 5×1)	
	サウンド関連	ライン入力(ステレオ、ミニジャック) ヘッドホン出力/ライン出力(ステレオ、ミ PDIF)出力用(光ミニジャック)、マイク入; ライン入力インピーダンス10k 入力レ マイク入力インピーダンス2.2k 入力 ライン出力レベル1Vrms	ニジャック)/ 光デジタルオーディオ(S/ カ(モノラル、ミニジャック) ・ベル1Vrms、 レベル5mVrms(バイアス2.5V)	
FMトランスミッタ (ワイヤレスオーディオ)		内蔵(通信距離5.0m、周波数帯88.0~8	39.2MHz、0.2MHz刻み)	
PCカードスロット		TYPE ×2スロット PC Card Standard準拠、CardBus対応		
メディア用ポケット		LC900J、LC800J/84DHの場合: 「メモリースティック」用のマジックゲート メモリーカード」用のSDメモリーカードアタ LC800J/84DFの場合: インナーシートホルダー内蔵	メモリースティック アダプタおよび「SD 「プタ添付	
パワーマネージメント		自動または任意設定可能		
セキュリティ機能				
バ	ッテリ駆動時間 6	約1.4~2.1時間(最大約2.1~2.9時間)		
バッテリ充電時間 ⁶ (ON / OFF時)		標準約2.3/2.3時間 最大約2.4/2.4時	間)	

型名	LC900J/84DB LC900J/84DH	LC800J/84DH LC800J/84DF
型番	PC-LC900J84DB PC-LC900J84DH	PC-LC800J84DH PC-LC800J84DF
バッテリによる スタンバイ状態 保持時間 ⁶	バッテリによる 約2.5日(バッテリフル充電時) スタンバイ状態 保持時間 ⁶	
電源 ニッケル水素バッテリ DC9.6V、3,800mAh) リチウムイオンバッテリ DC 3,100mAh) ⁷ またはAC100V ± 10%、50/60Hz(ACアダプタ経由 [®])		Ah 、 リチウムイオンバッテリ DC14.4V、)/60Hz(ACアダプタ経由 [®])
消費電力	消費電力 約23W(内蔵オプション最大接続時 約60W)	
温湿度条件	温湿度条件 5~35、20~80% (ただし、結露しないこと)	
外形寸法	▶形寸法 317(₩)×279(D)×32(H)mm(突起部含まず)	
質量 ⁶ 約3.0kg		

1:液晶ディスプレイは消耗品です。液晶ディスプレイでは、明るさのムラや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではあり ません。また、輝度の調節具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細な斑点が現れることが ありますが、故障ではありません。

2:バーチャルスクリーン表示。

3:固定ディスク容量は、16パイトを10億パイトで計算した場合の数値です。0Sから認識できる容量は、実際の値より少なく表示 されることがあります。

4 : LC800J/84DFの場合、Windowsのシステムからは約18.5Gバイトと認識されます。

上記以外のモデルの場合、Windowsのシステムからは約27.9Gバイトと認識されます。

5 : Orange Book Part2(CD-R)およびPart3(CD-RW)に準拠。

6:時間や質量は、ご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。

7:バッテリパックは消耗品です。

8:ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用(日本仕様)です。

9:18~25、45~75%での使用を推奨。

LaVie Gシリーズ

の項目の仕様は、ご使用のモデルによって異なります。

_				
型	名	LG10JS/8	LG80JS/8	
C F	νU	モバイル インテル® Pentium® プロセッサ1.0GHz (インテル®SpeedStep™ テクノロジ搭載)	モバイル インテル® Pentium® プロセッサ800MHz (インテル®SpeedStep™テクノロジ搭載)	
内	蔵キャッシュメモリ	32Kバイト		
セ	カンドキャッシュメモリ	256KバイH(CPU内蔵)		
소	ROM	512KバイH(BIOSほか)		
IJ	メインRAM	128Mバイト/256Mバイト		
	最大	256Mバイト(128Mバイトの増設RAMボー	ドを2枚取り付けた場合)	
	ビデオRAM	4 / 8Mバイト		
表	表示素子 1	バックライト付14.1型TFTカラー液晶ディスプレイ(XGA)		
	グラフィック	Trident Cyber BLADE i1標準搭載(ビ	デオアクセラレーション機能対応)	
伐能	アクセラレータ	640×480ドッ代 26万色中256色 / 65536色 / 1677万色) 800×600ドッ代 26万色中256色 / 65536色 / 1677万色) 1024×768ドッ代 26万色中256色 / 65536色 / 1677万色) 1280×1024ドッ代 26万色中256色 / 65536色) ² 1600×1200ドッ代 26万色中256色 / 65536色) ²		
	別売のCRTディス プレイ接続時	640×480ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 800×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 1024×768ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 1280×1024ドット(26万色中256色/65536色) 1600×1200ドット(26万色中256色/65536色)		
ų	サウンドチップ	ADI社製 AD1886搭載		
ワンド	PCM録音·再生機能	内蔵、ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8KHz/11.025KHz/ 16KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz) 全二重化対応		
機能	MIDI音源機能	内蔵(拡張WAVE Table音源(WAVE Table音源最大64音])		
	スピーカ・マイク	ステレオスピーカ・マイクロホン内蔵		
	サラウンド	3Dポジショナルサウンド		
	DolbyHeadphone機能	サポート		
通信	モデム	モデム内蔵(データ転送速度 最大56kbps(V.90)エラー訂正V.42/MNP4 データ圧縮V.42bis/MNP5)		
懱	携帯電話 / PHS 接続ケープル	なし / ケーブル添付 携帯電話:9.6Kbpsデータ通信 / 9.6Kb cdmaOne:14.4Kbpsデータ通信 / 64Kb PHS(NTTドコモ / アステル):32Kデータ PHS(DDIポケット):32Kデータ通信 / 64	ps・28.8Kbpsパケット通信(DoPa) ppsパケット通信(PacketOne) 通信 / 64Kデータ通信(PIAFS2.0) Kデータ通信(PIAFS2.1)	
	FAX	内蔵(データ転送速度 最大14.4Kbps()	/.17 JFAX制御クラス1)	
	LAN	ワイヤレスLANインターフェイス内蔵/LAN内蔵(100BASE TX/10BASE T)/なし		
	Bluetooth™機能	内蔵 / なし		

型	名	LG10JS/8	LG80JS/8	
入力装置	キーボード	本体との一体型、JIS標準配列(英数・か ションキー・Windowsキー・アプリケーション Ctrlキー付	な) Fnキー(ホットキー対応) 12ファンク ンキー・Num Lockキー・右Altキー・右	
_	ポインティングデバイス	NXパッド標準装備 スクロールスライドス・	イッチ付)	
補	フロッピーディスクドライブ	外付3.5型USBフロッピーディスクドライン	1×1	
前記	固定ディスクドライブ 3	内蔵(約20Gバイト/約30Gバイト)		
怎 表 置	CD-R/RW with DVD-ROMドライブ 4	読み込み最大24倍速(CD-ROM)/8倍速 き換え最大4倍速	★ DVD-ROM)書き込み最大8倍速、書	
个	ノターフェイス 	ディスプレイ(アナログRGBセパレート信号 (4ピン)×2、USB×4、ビデオ出力(S-Vio	号出力、ミニD-SUB15ピン)、IEEE1394 deo×1)	
	サウンド関連	ライン入力(ステレオ、ミニジャック) ヘッドホン出力/ライン出力(ステレオ、ミ PDIF)出力用(光ミニジャック)マイク入; ライン入力インピーダンス10k 入力レ マイク入力インピーダンス2.2k 入力 ライン出力レベル1Vrms	ニジャック) / 光デジタルオーディオ(S/ カ(モノラル、ミニジャック) ・ベル1Vrms、 レベル5mVrms(バイアス2.5V)	
FM (ワ	トランスミッタ イヤレスオーディオ)	内蔵 通信距離5.0m、周波数帯88.0~89.2MHz、0.2MHz刻み)		
PCカードスロット		TYPE ×2スロット PC Card Standard準拠、CardBus対応		
メディア用ポケット		「メモリースティック」用のマジックゲート メモリースティック アダプタ、「SDメモリーカード」用のSDメモリーカードアダプタを選択可能		
パ	ワーマネージメント	自動または任意設定可能		
セキュリティ機能		ユーザパスワード機能、スーパバイザパスワード機能、盗難防止用ロック(別売の盗 難防止用ケーブルを使用)		
バ	ッテリ駆動時間⁵	約1.4~2.1時間 最大約2.1~2.9時間)		
		標準約2.3/2.3時間(最大約2.4/2.4時間)		
バッテリによる スタンバイ状態 保持時間 ⁵		約2.5日(パッテリフル充電時)		
 電源		ニッケル水素バッテリ DC9.6V、3,800m 3,100mAh) ⁶ またはAC100V±10%、50	Ah)/ リチウムイオンバッテリ DC14.4V、)/60Hz(ACアダプタ経由 ⁷)	
消費電力		約23W(内蔵オプション最大接続時約	160W)	
温	湿度条件	5~35、20~80% €ただし、結露しな	いこと)	
外形寸法		317(W)×279(D)×32(H)mm(突起部含まず)		
質量 5		約3.0kg		

- 1: 液晶ディスプレイは消耗品です。液晶ディスプレイでは、明るさのムラや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありま せん。また、輝度の調節具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細な斑点が現れることがあ りますが、故障ではありません。
- 2: パーチャルスクリーン表示。 3: 固定ディスク容量は、16パイトを10億パイトで計算した場合の数値です。0Sから認識できる容量は、実際の値より少なく表示さ れることがあります。20Gバイトハードディスクドライブ搭載モデルの場合、Windowsのシステムからは約18.5Gバイトと認識され ます。

30Gバイトハードディスクドライブ搭載モデルの場合、Windowsのシステムからは約27.9Gバイトと認識されます。

- 4: Orange Book Part2(CD-R)およびPart3(CD-RW)に準拠。
- 5:時間や質量は、ご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。
- 6: バッテリパックは消耗品です。
- 7: ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用(日本仕様)です。
- 8:18~25、45~75%での使用を推奨。

内蔵FAXモデム

機能概要

項目	規格
CPU I/F	PCIローカルバスインターフェイス
NCU部	・ダイヤルパルス送出機能
	・リンガ検出機能
モデムチップセット部	・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット
	V.90
	V.34
	V.32bis
	V.32、V.22DIS、V.22、V.21 V.42LAPMおよびMNP2-4エラー訂正
	V.42bisおよびMNP5データ圧縮
	・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度
	V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2
	・HayesATコマンドセット準拠
	ATコマンド
	Sレジスタ
	・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン
	・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択
	・フロー制御およびスピード・バッファリング
	・パラレル非同期データ
	・自動ダイヤルおよび自動アンサー
	・トーンおよびパルスダイヤリング
	(DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)

FAX機能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	TCM:14400/12000
	QAM:9600/7200bps
	DPSK:4800/2400bps
	FSK:300bps
送信レベル	-9~-15dBm/-15dBm
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

:回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

データモデム機能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送受信 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/
	14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps 1
	受信 56000/54666/52000/50666/49333/48000/46666/45333/
	44000/42666/41333/40000/38666/37333/36000/34666/33333/
	32000/30667/29333/28000bps 1
通信規格	ITU-T V.90/V.34/V.32bis/V.32/V.22bis/V.22/V.21
変調方式	PCM: 56000/54667/52000/50667/49333/46667/45333/
	42666/41333/40000/38667/37333/36000/34667/
	33333/32000/30667/29333/28000
	TCM:48000/33600/31200/28800/26400/24000/21600/
	19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400bps
	QAM: 9600/4800/2400/1200bps
	DPSK:1200bps
	FSK:1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM)
	MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis
	MNP class5
送信レベル	-9~-15dBm(出荷時-15dBm)
受信レベル	-10 ~ -40dBm
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 ²

1:回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。

2: ATコマンドについては、「サポートセンタ」、「ハードウェア情報」、「ATコマンド一覧 をご 覧ください。

NCU機能

項目	規格	
適用回線	加入電話回線	
ダイヤル形式	パルスダイヤル(10/20PPS)	
	トーンダイヤル(DTMF)	
NCU形式	AA(自動発信/自動着信型)	
制御コマンド	HayesATコマンド準拠	
	EIA-578拡張ATコマンドAT(class 1)	

携帯電話 / PHS 接続機能

携帯電話 / PHS 接続機能は、携帯電話 / PHS 接続ケーブルが添付の場合、または別売の携帯電話 / PHS 接続ケーブルを別途購入された場合のみ使用できます。

個別仕様

種類	項目	規格
PHS(NTTドコ モ / アステル) 接続ケーブル	適用回線	移動電話回線(PHS後位16芯)
	通信速度	PIAFS 32Kデータ通信: 29.2Kbps(実効値)
		PIAFS 64Kデータ通信: 58.4Kbps(実効値)
PHS(DD I ポケッ ト)接続ケーブル	適用回線	移動電話回線(PHS後位12芯)
	通信速度	PIAFS 32Kデータ通信: 29.2Kbps(実効値)
		PIAFS 64Kデータ通信: 58.4Kbps(実効値)
携帯電話 (DoPa/PDC) 接続ケーブル	適用回線	移動電話回線(PDC5式携帯電話端末後位16芯)
	通信速度	9.6Kbps(データ通信)9.6Kbps(パケット通信) 28.8Kbps(パケット通信)
cdmaOne 接続ケーブル	適用回線	移動電話回線(CDMA方式携帯電話端末後位18芯)
	通信速度	14.4Kbps(データ通信), 64Kbps(パケット通信)

共通仕様

項目	規格
制御コマンド	ATコマンド
網制御機能	A A

:ATコマンドについては、「サポートセンタ」-「ハードウェア情報」-「ATコマンドー覧」をご覧ください。

内蔵LAN機能

LAN機能は、	LAN内蔵モラ	『ルのみの機能	もです	٢.
---------	---------	---------	-----	----

項目	規 格 概 要
準拠規格	ISO 8802-3, IEEE802.3, IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX使用時:100Mbps
	10BASE-T使用時:10Mbps
伝送路	100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5
	10BASE - T使用時 : UTPカテゴリ3、4、5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大1024台 / ネットワーク
ステーション間距離 ネットワーク経路長	100BASE-TX:最大約200m / ステーション間 10BASE-T :最大約500m / ステーション間 最大100m / セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式

:リピータの台数など、条件によって異なります。

「FMトランスミッタ(ワイヤレスオーディオ)

ハードウェア仕様

項目	規格
送信周波数	7チャンネル(88.0/88.2/88.4/88.6/88.8/89.0/89.2)
変調方式	FMステレオ変調
消費電流	最大30mA
FM電波到達距離	5 m
送信出力レベル	3mの距離において、500 µ V/m以下の電界強度(電波法微弱電波 無線局規定範囲内)



割り込みレベルとDMAチャネルについて

パソコンで使用できる周辺機器は、すべて「リソース」というものを使用していま す。リソースには、大きく分けて「割り込みレベル(IRQ)」「DMAチャネル」などがあ ります。

これらのリソースは、それぞれの機器ごとに違う設定をしなければなりません。1つの リソースが複数の機器に割り当てられている状態(リソースの競合)では、機器が正 常に使用できないばかりか、システム全体の動作も不安定になってしまいます。

割り込みレベル

割り込みレベル(IRQ)は、複数の機器から同時にCPUにアクセスしたときに、どのような順序で処理していくかを決めるものです。このパソコンでは、購入時には次のように割り当てられています。

IRQ	インターフェイス	IRQ	インターフェイス
0	システムタイマ	9	ACPI用システム制御割り込み
1	キーボード	10	IEEE1394
2	割り込みコントローラ		内蔵LANインターフェイス ¹
3	USBホストコントローラ		ワイヤレスLAN ²
4	(空き)		CardBusコントローラ
5	サウンド		PCIステアリングホルダー
	アクセラレータ	11	(空き)
	PCIステアリングホルダー	12	NXパッド
	IEEE1394	13	数値データプロセッサ
	内蔵FAXモデム	14	IDEコントローラ(内蔵ハードディスク)
6	(空き)	15	IDEコントローラ(内蔵CD-R/RW
7	(空き)		with DVD-ROMドライブ)
8	システムクロック		

1:LAN内蔵モデルのみ。

2:ワイヤレスLANモデルのみ。

DMAチャネル

DMAチャネルは、CPUを経由せずに周辺機器とメモリとのデータのやり取りを制御する機能のことです。このパソコンでは、購入時には次のように割り当てられています。

DMA	インターフェイス
	デフォルト
#0	(空き)
#1	(空き)
#2	(空き)
#3	(空き)
#4	DMAコントローラ

補足情報

サウンド機能について

音楽CDを利用する

音楽CDを再生する

Windows Meでは、Windows Media Playerを使って音楽CDを再生することが できます。また、Windows Media Playerには、インターネットでCDのデータの検 索をしたり、音楽CD再生中に視覚エフェクトを表示させる機能もあります。

6 参照

音楽CDの再生について Windows Media Playerのヘルプ

このパソコンでは、音楽CDをデジタルで再生したり、アナログで再生することができます。購入時は、デジタルで再生するように設定されています。

チェック

音楽CDをデジタル再生で再生しているときに、ほかのアプリケーションを使用す ると、音楽CDの再生音が音飛びする場合があります。その場合は、ほかのアプリ ケーションを終了するか、音楽CDの再生方法をデジタル再生からアナログ再生 に変更してください。

音楽CDの再生方法を変更するには「音楽CDの再生方法の変更(p.236)

音楽CDをハードディスクにコピーする

Windows Media Playerの「CDオーディオ」の「音楽のコピー」で、音楽CDをハー ドディスクにコピーすることができます。

6 参照

音楽CDのハードディスクへのコピーについて Windows Media Playerのヘルプ このパソコンでは、ハードディスクに音楽CDをデジタルでコピーしたり、アナログ でコピーすることができます。

参照

音楽CDのハードディスクへのコピー方法を変更するには 「音楽CDからのコピー方 法の変更(p.237) 音楽CDの再生方法の変更

次の手順で、音楽CDの再生方法をデジタル再生、またはアナログ再生のどちらかに設定することができます。

Windows Media Playerの場合

- **1**「スタート」ボタン 「プログラム」「Windows Media Player」をクリック する Windows Media Playerが記動します。
- 2 メニューバーの「ツール」「オプション」をクリックする
- 3「CDオーディオ」タブをクリックし、「再生の設定」欄の「デジタル再生」を設定したい再生方法にあわせて選択する
 - ・デジタル再生にする場合
 「デジタル再生」を
 - ・アナログ再生にする場合
 「デジタル再生」を
- 4「0K」ボタンをクリックする
- 5 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」が表示されます。
- 6 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 7「CD-ROM」の左の をクリックし、表示されたデバイス名をダブルクリックする CD-ROMデバイスのプロパティが表示されます。
- 8 「 プロパティ」タブをクリックする
- 9「デジタルCD再生」欄の「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」を設定したい再生方法にあわせて選択する

 - ・アナログ再生にする場合

 「にします。

10「OK」ボタンをクリックする

設定した再生方法によって、音楽CDの音量の調整方法が変わります。
その他のプレイヤーの場合

- **1**「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」が表示されます。
- **2**「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 3「CD-ROM」の左の ●をクリックし、表示されたデバイス名をダブルクリックする CD-ROMデバイスのプロパティが表示されます。
- 4 「 プロパティ」タブをクリックする
- 5「デジタルCD再生」欄の「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」を設定したい再生方法にあわせて選択する

 - 「にします。
- 6 OK 」ボタンをクリックする

Windows Media Player以外のプレイヤーを使用する場合の音楽CDの音量の 調整は、設定した再生方法にかかわらず「CD Player」の項目で行います。

一参照

音楽CDの再生音量の調整 「音楽CDの音量を調整する(p.239)

音楽CDからのコピー方法の変更

次の手順で、音楽CDからのコピー方法を設定することができます。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」「Windows Media Player」をクリック する

Windows Media Playerが起動します。

2 メニューバーの「ツール」「オプション」をクリックする

6

付録

- 3「CDオーディオ」タブをクリックし、「コピーの設定」欄の「デジタルコピー処理」を設定したいコピー方法にあわせて選択する
 - ・デジタルでコピーしたい場合
 「デジタルコピー処理」を「します。
 ・アナログでコピーしたい場合
 - 「 デジタルコピー処理」を一にします。
- 4「OK」ボタンをクリックする
- 5 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」が表示されます。
- **6**「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- **7**「CD-ROM」の左の王をクリックし、表示されたデバイス名をダブルクリックする CD-ROMデバイスのプロパティが表示されます。
- 8 「プロパティ」タブをクリックする
- 9「デジタルCD再生」欄の「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」を設定したい再生方法にあわせて選択する

 - ・アナログ再生にする場合
 □にします。
- 10「OK」ボタンをクリックする

設定した再生方法によって、音楽CDの音量の調整方法が変わります。

音楽CDの音量を調整する

♥ チェック Windowsを再起動すると、再起動前にボリュームコントロールで調整した音量が 調整前の音量に戻っている場合があります。この場合は、再度音量を調整してくだ さい。

再生音量を調整する

「Volume Control」画面で音楽CDの再生音量の調整をすることができます。音楽CDの再生音量の調整方法は、音楽CDの再生方法によって異なります。 購入時の状態では、音楽CDはデジタル再生するように設定されています。



音楽CDの再生方法を変更する 「音楽CDの再生方法の変更(p.236)

- 「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「エンターテイメント」 「ボリュームコントロール」をクリックする 「Volume Control」画面が表示されます。
- 2 音楽CDの再生方法に応じて、「Volume Control」画面の以下の項目の音 量つまみを上下にドラッグして音量を調整する
 - ・デジタル再生に設定している場合
 「Volume Control」または「Wave」
 - ・アナログ再生に設定している場合
 「Volume Control」または「CD Player」

チェック

- Windows Media Player以外のプレーヤーを使用する場合は、再生方法にか かわらず、「Volume Control」または「CD Player」で音量を調整してください。
- 「Volume Control」はスピーカから出力されるすべての音量を調整する項目です。音楽CDの再生音量のみを調整したい場合は「Wave」または「CD Player」で調整してください。

録音音量を調整する

次の手順で、音楽CDからの録音音量を調整できます。

1「Volume Control」画面のメニューバーの「オプション」「プロパティ」を クリックする

- **2**「音量の調整」欄で「録音」を選択し、「表示するコントロール」欄で「Wave Out Mix」にチェックを付けて「OK」ボタンをクリックする 「Recording Control」画面が表示されます。
- **3**「Wave Out Mix」の「選択」にチェックを付ける
- 4 「Wave Out Mix」の音量調整つまみを上下にドラックして録音音量を調整 する

購入時、音楽CDからの録音はデジタル録音に設定されています。「Recording Control」の「CD Player」は、音楽CDからアナログで録音する場合の音量を調整 する項目です。デジタル録音に設定しているときに「CD Player」を設定しても録 音することはできません。

「CD Player」での録音は、音楽CDからの録音をアナログ録音に設定にすることで可能になります。次の手順で、音楽CDからの録音をアナログ録音に設定できます。

音楽CDからの録音方法を変更する

チェック

- **1**「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」が表示されます。
- 2「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 3「CD-ROM」の左の をクリックし、表示されたデバイス名をダブルクリックする CD-ROMデバイスのプロパティが表示されます。
- 4 「 プロパティ」タブをクリックする
- 5「デジタルCD再生」欄の「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」が

 ♪
 になっている場合はクリックして
- 6「OK」ボタンをクリックする
- **7**「0K」ボタンをクリックする
- 8「音楽CDの再生方法の変更(p.236)の手順にしたがって、音楽CDの再 生方法をアナログ再生に変更する



索引

英字

ADSL 110
BIOSセットアップメニュー212
Bluetooth™機能109
CATVインターネット107
CD-R/RW with DVD-ROMドライブ 2,37
CD/DVDアクセスランプ6
CD/DVDプレーヤボタン 2, 114
CDの再生 43, 117
CDプレイモード 43, 116
CRTディスプレイ180
DCコネクタ 3
DirectCD
DMAチャネル234
DolbyHeadphone
DVDit!
DVD VIDEOディスクの再生 43, 120
DVD形式のビデオデータ132
Easy CD Creator 44, 119
FAT32ファイルシステム29
【FMトランスミッタ】ボタン 11
FMトランスミッタ
(ワイヤレスオーディオ) 83, 232
【Fn】(エフエヌキー) 13, 15
IEEE1394コネクタ3, 164, 201
Intel® SpeedStep™ テクノロジ 63,70
iモード機能付き電話との連携101
Jet-Audio Player 43, 117, 120
LAN 104, 232
LAN用モジュラーコネクタ 3, 105
LCDインジケータ 115
MACアドレス107
M D 117
MP3117
M P E G133
MS-IME
NXパッド 2, 19, 178

あ行

イルミネーション・エンプレム™2,7
インターネット設定切替ツール91
【インターネット】ボタン9
インナーシートホルダー186
映像の再生120
映像の編集124
液晶ディスプレイ 2, 50
オーディオ電源スイッチ 115
オーディオ入力端子 3, 164
お手入れ220
オリジナルCDの作成 119
オリジナルMDの作成 117
音楽の再生114
音量調節つまみ 3, 78

か行

解像度5
外部CRT用コネクタ 3, 165, 18
外部ディスプレイ180
外部マイクロホン端子 3, 16
画面表示の調整5
キーボード 2, 13, 1

キーボードの設定16
輝度50
起動順位の設定218
キャップスロックキーランプ 6
休止状態 63, 68
休止状態から復帰 70
共有プリンタ175
クリックボタン19
携快電話4N100
携帯電話 / PHS 接続機能 92, 231
携帯電話接続ケーブル92
携帯電話連携機能100
コントロールパネル iv

さ行

サウンド機能 78, 235
サスペンド 63, 65
サポートセンタ iv
周辺機器 164, 167
省電力機能63
スーパバイザパスワード 74, 217
スクロールロックキーランプ6
スクロールスライドスイッチ 19, 20
スタンバイ状態 63, 65
スタンバイ状態から復帰66
スナップショット
スピーカ 2
スリープ状態63
セキュリティ機能73
増設RAMボード166,194

た行

ダイヤル設定	94
タップ	19
ダブルタップ	19
ディスプレイの切り替え1	82
ディスプレイの設定 1	85
デバイスドライバ1	69

デュアルディスプレイ機能184
テレビ182
電源スイッチ 2
電源ランプ 5
添付ソフトの使い方 №
電話回線用モジュラーコネクタ 3,88
盗難防止用ロック 3,77
ドライバ169
ドラッグ20

な行

内蔵マイクロホン			. 2
日本語入力			18
ニューメリックロックキーランプ			. 6

は行

バーチャルスクリーン53
ハードディスク
ハードディスクアクセスランプ6
ハードディスク起動セクタ
ハイハネーション 63, 68
パスワード73
バックアップ25
バッテリ54
バッテリアンロック 4, 61
バッテリ残量の確認56
バッテリ充電ランプ 5
バッテリの充電54
バッテリパック 4, 54
バッテリパックの交換 59
バッテリリフレッシュ58
パッド19
ビープ音の設定81
光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力機能 81
非常時ディスク取り出し穴 37, 42
表示色51
表示ランプ 2, 3, 5

索引

ま行

マイクの感度 80
マウス
マジックゲート メモリースティック アダプタ186
メディア用ポケット
メディア用ポケット イジェクトスイッチ
メール着信ランプ6
【メール】ボタン10
メモリ
「メモリースティック」165, 186
メモリスロット 4, 166, 196
メモリ容量の確認198
モデム 88, 229

や行

ユーザパスワード		 74,	217
ユニバーサル管理	アドレス	 	107

6行

リソースの競合16	8
領域の確保2	6
レジューム6	3

わ行

ワイヤレスLAN10	8
ワイヤレスオーディオ 83, 23	2
ワイヤレスランプ	6
割り込みレベル 193, 23	3
ワンタッチスタートボタン2,	9
ワンタッチスタートボタンの設定1	1







初版 2001年7月 NEC P 853-810028-166-A

